

令和6年度

宇堂口高度浄水施設建設工事

設計図面

九戸村

宇堂口高度浄水施設建設工事

設計図面目録

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	土木工事					M-09	宇堂口浄水場設備配管 アイソメ図(3)	NON
C-01	施工位置図	1:10,000	S-01	構造設計標準仕様	NON	M-10	宇堂口浄水場設備配管 アイソメ図(4)	NON
C-02	浄水場一般平面図	1:250	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	NON	M-11	宇堂口浄水場設備配管 アイソメ図(5)	NON
C-03	X基線横断面図(1)	1:100	S-03	鉄骨構造標準図	NON	M-12	場内配管平面図	1:100
C-04	X基線横断面図(2)	1:100	S-04	宇堂口浄水場 ポーリング柱状図, 調査位置図	1:500	M-13	取水井 機器据付平面図・断面図	1:30
C-05	X基線横断面図(3)	1:100	S-05	宇堂口浄水場 基礎伏図・詳細図	1:50, 1:20	M-14	取水井 機器撤去平面図・断面図	1:30
C-06	Y基線横断面図(1)	1:100	S-06	宇堂口浄水場 地盤改良図	1:100, 1:50	M-15	発電機室 機器据付平面図・断面図	1:30
C-07	Y基線横断面図(2)	1:100	S-07	宇堂口浄水場 小屋伏図	1:50	M-16	発電機室 機器撤去平面図・断面図	1:30
C-08	場内整備図	1:100	S-08	宇堂口浄水場 軸組図-1	1:50			
C-09	立入防護柵標準図	1:20	S-09	宇堂口浄水場 軸組図-2	1:50			
C-10	門扉標準図	1:20	S-10	宇堂口浄水場 軸組図-3	1:50		電気計装設備工事	
C-11	場内配管平面詳細図, 標準掘削断面図	1:100, 1:20	S-11	宇堂口浄水場 軸組詳細図	1:50	E-01	計装フローシート	NON
			S-12	宇堂口浄水場 仕口詳細図(1)	1:10	E-02	場内配線図	1:100
			S-13	宇堂口浄水場 仕口詳細図(2)	1:10	E-03	浄水棟機器据付平面図	1:40
	建築工事		S-14	宇堂口浄水場 仕口詳細図(3)	1:10	E-04	浄水棟機器据付断面図	1:40
A-01	建築工事特記仕様書 1	NON				E-05	浄水棟電気配線図	1:40
A-02	建築工事特記仕様書 2	NON				E-06	浄水棟照明配線図	1:40
A-03	建築工事特記仕様書 3	NON		機械設備工事		E-07	単線結線図	NON
A-04	建築工事特記仕様書 4	NON	M-01	宇堂口浄水場 浄水フローシート	NON	E-08	盤外形図	1:10
A-05	設計概要・仕上表	NON	M-02	宇堂口浄水場 機器据付平面図	1:30	E-09	発電機室据付図	1:30
A-06	案内図	1:5,000	M-03	宇堂口浄水場 機器据付断面図	1:30	E-10	発電機室撤去図	1:30
A-07	配置図	1:250	M-04	宇堂口浄水場 膜ろ過ユニット外形図	1:15	E-11	発電機室電気配線図	1:30
A-08	1階平面図	1:50	M-05	宇堂口浄水場 膜処理設備制御盤外形図	1:10	E-12	ポンプ井据付図	1:30
A-09	立面図	1:50	M-06	宇堂口浄水場 架台詳細図	1:10	E-13	ポンプ井撤去図	1:30
A-10	断面図	1:50	M-07	宇堂口浄水場設備配管 アイソメ図(1)	NON	E-14	ポンプ井電気配線図	1:30
			M-08	宇堂口浄水場設備配管 アイソメ図(2)	NON	E-15	ケーブル配線表	NON

※縮尺表示は、A1サイズの場合。

施工位置図
S=1:10,000

九戸村浄水場
Q=1295m³/日
清水井 (RC)
2.5x1.0xH1.5
WL=378.80m
普通沈殿池
1.2.6x3.2x3.4x2池
WL=378.40m
緩速ろ過池
A=14.0x8.7x3池
(専用2池、予備1池)
WL=376.90m
5層濾度 4m/日
高圧配水池 (RC)
V=6.8x5.0xH=3.1x2池
=210.2m³
HWL=373.50m
LWL=370.40m

平内川水源 (浅層地下水)
浅井戸 (RC)
Q=245m³/日
D=2.5m H=5.00m
NWL=347.00m
PWL=346.00m
送水ポンプ
常用1台 予備1台

第2接合井 (RC)
V=4.7x3.5xH=2.5x2池
=82.3m³
HWL=410.50m
LWL=408.00m

第1接合井 (RC)
HWL=454.80m
LWL=454.10m

地京第1-1水源 (湧水)
集水井 (RC)
Q=146m³/日
HWL=545.80m
LWL=545.00m

平内川水源 (表流水)
取水堰堤 (RC)
Q=800m³/日
HWL=448.40m
LWL=448.10m

合流井 (RC)
HWL=522.80m
LWL=522.00m

地京第1-2水源 (湧水)
集水井 (RC)
Q=104m³/日
HWL=538.00m
LWL=537.20m

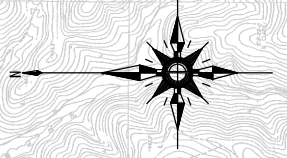
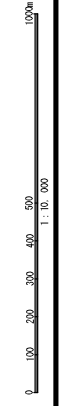
宇室口配水池 (RC)
V=4.15x4.15xH=3.0x2池
=103.3m³
HWL=410.00m
LWL=407.00m

宇室口水源 (浅層地下水)
浅井戸 (RC)
Q=287m³/日
D=4.0m H=7.8m
NWL=380.59m
PWL=377.70m
取水ポンプ
φ40x0.199m/min
x14.0m x1.5kW
常用1台 予備1台
自家発電装置 16kVA
宇室口浄水場
膜ろ過装置
Q=250m³/日
5.0m²/本 x 2本 x 2系列
V=2.0m³/日
常用1台 予備1台

瀬月内水源 (浅層地下水)
浅井戸 (RC)
Q=85m³/日
D=3.0m H=7.5m
NWL=394.27m
PWL=392.97m
送水ポンプ
φ40x0.059m/min
x7.8.0m x3.7kW
常用1台 予備1台
自家発電装置 20kVA

上戸田配水池 (RC)
V=4.0x3.4xH=2.5x2池
=68.0m³
HWL=460.00m
LWL=457.50m

工事名	宇室口高度浄水施設建設工事		
図面名称	施工位置図		
縮尺	S=1:10,000	図面番号	C-01
事業者	九戸村		



浄水場一般平面図

S=1:250

宇堂口浄水場

- ・計画給水量：Q=227m³/日
- ・浄水棟：平屋建軽量鉄骨構造16.5m×8.3m×H4.3m
(緩ろ過方式(UF膜)ユニット形式、原水槽、浄水池、送水ポンプ、各種盤、薬注設備他)

既設取水井・電気室

- ・取水ポンプ更新
- ・非常用発電機更新

座標面積求積表

地番	宇堂口浄水場			
測点	X	Y	X-X	Y(Y-X)
P1	13522.076	51626.104	-24.758	-1278206.598832
P2	13470.519	51543.609	-38.052	-1061337.409668
P3	13484.076	51527.342	-8.754	-502597.693668
P4	13469.765	51511.841	-43.026	-4276822.110866
P5	13401.000	51543.568	-61.112	-2634546.391184
P6	13418.652	51580.496	-0.103	-5312.791088
P7	13400.897	51593.064	-39.984	-2062897.070976
P8	13378.668	51623.194	-14.714	-759583.676516
P9	13386.183	51641.423	22.996	1187547.313108
P10	13401.664	51660.724	55.604	2872545.677496
P11	13441.787	51638.129	102.613	5298743.331677
P12	13504.277	51637.070	80.291	4145991.987370
			積面積	23522.566053
			面積	11761.2830265
			地積	11761 m ²

基準点座標リスト

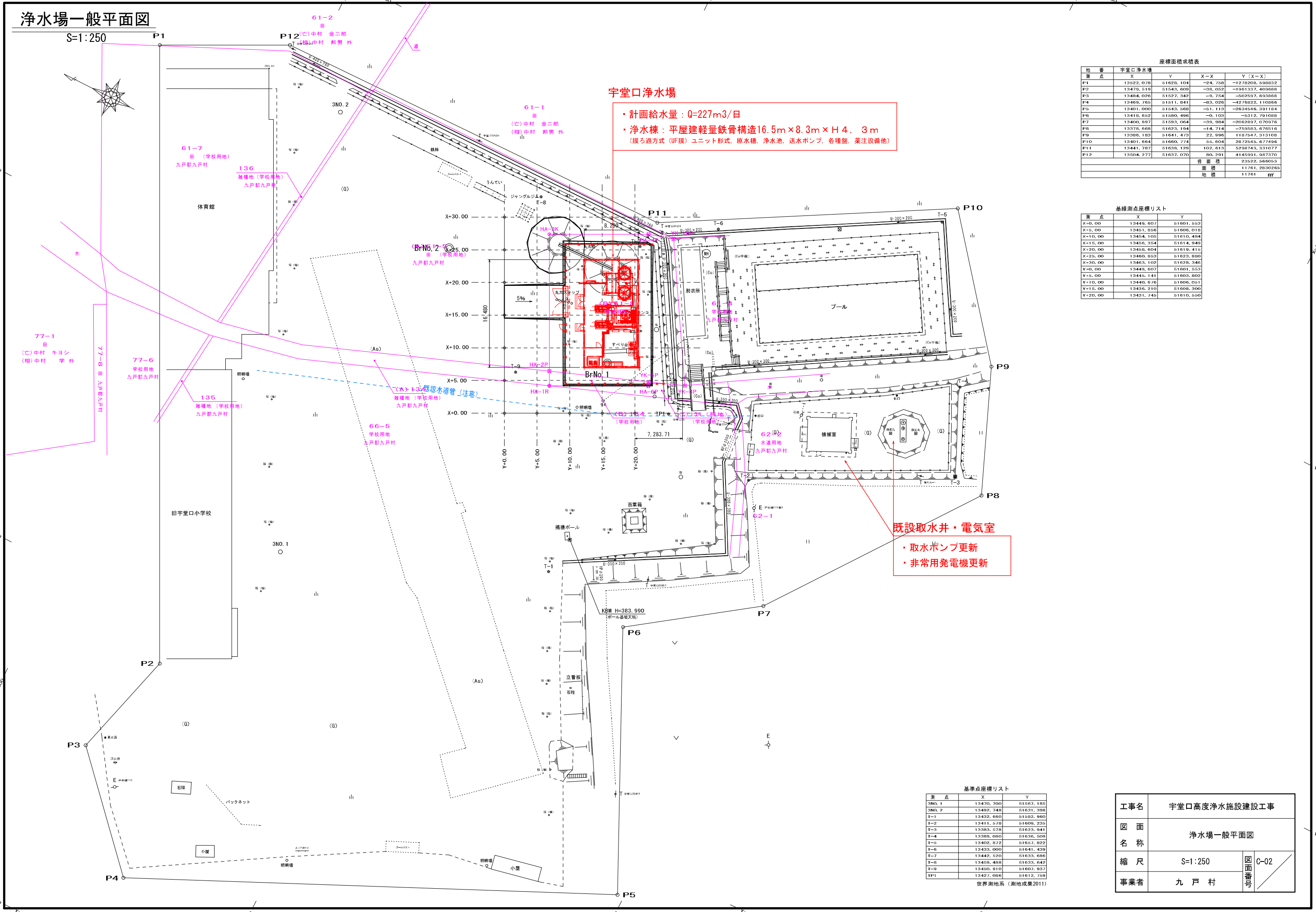
測点	X	Y
X+0.00	13449.607	51601.553
X+5.00	13451.856	51606.018
X+10.00	13454.105	51610.484
X+15.00	13456.354	51614.949
X+20.00	13458.604	51619.415
X+25.00	13460.853	51623.880
X+30.00	13463.102	51628.346
Y+0.00	13449.607	51601.553
Y+5.00	13445.141	51603.802
Y+10.00	13440.676	51606.051
Y+15.00	13436.210	51608.300
Y+20.00	13431.745	51610.549

基準点座標リスト

測点	X	Y
3NO.1	13470.700	51567.185
3NO.2	13492.748	51631.398
T-1	13432.680	51592.960
T-2	13411.578	51609.235
T-3	13383.578	51623.941
T-4	13380.080	51636.509
T-5	13402.872	51657.822
T-6	13433.000	51641.439
T-7	13442.520	51633.686
T-8	13459.488	51633.642
T-9	13450.910	51607.937
IT-1	13427.086	51612.759

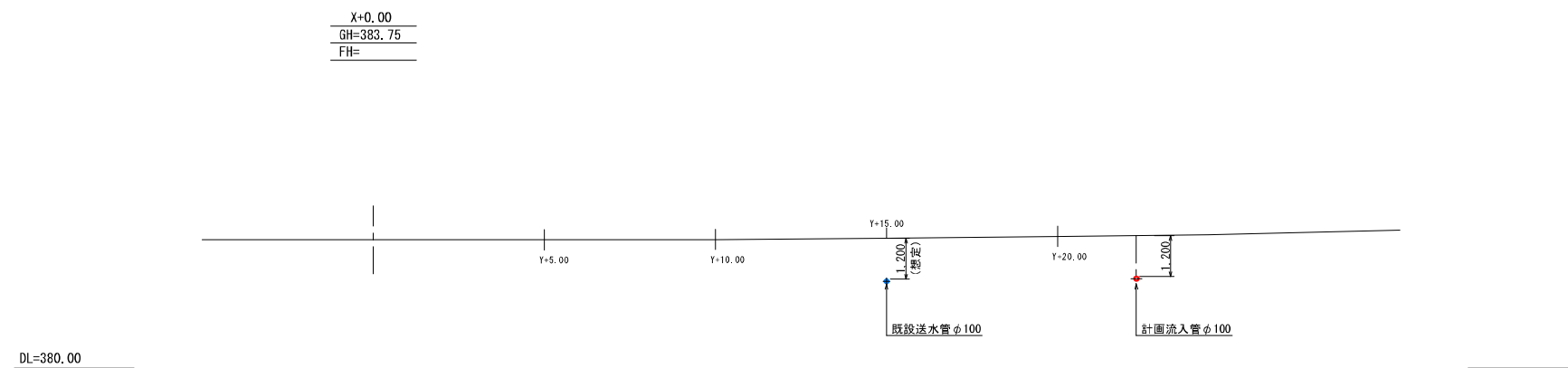
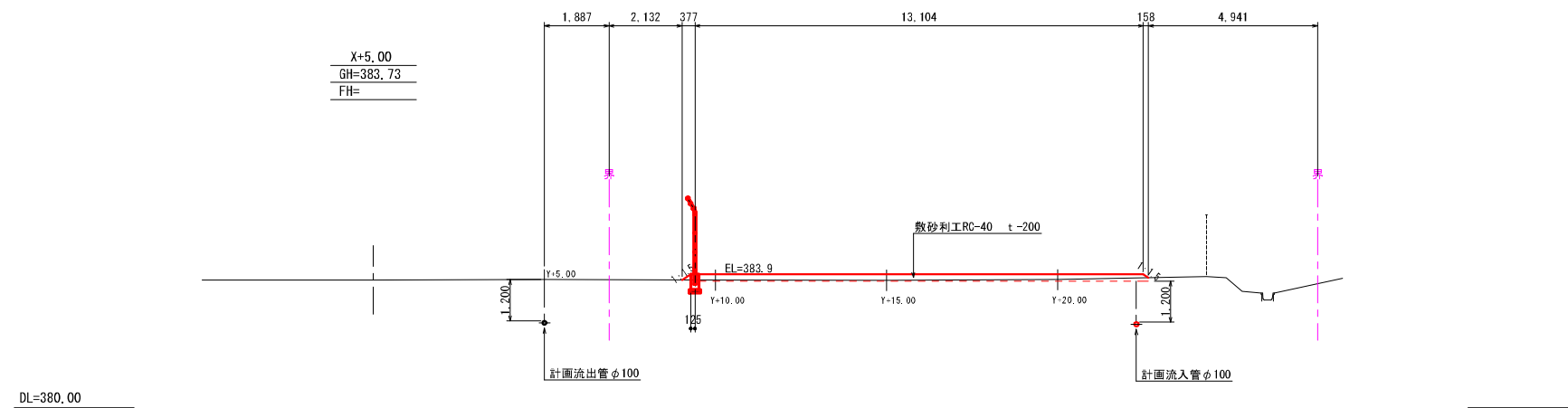
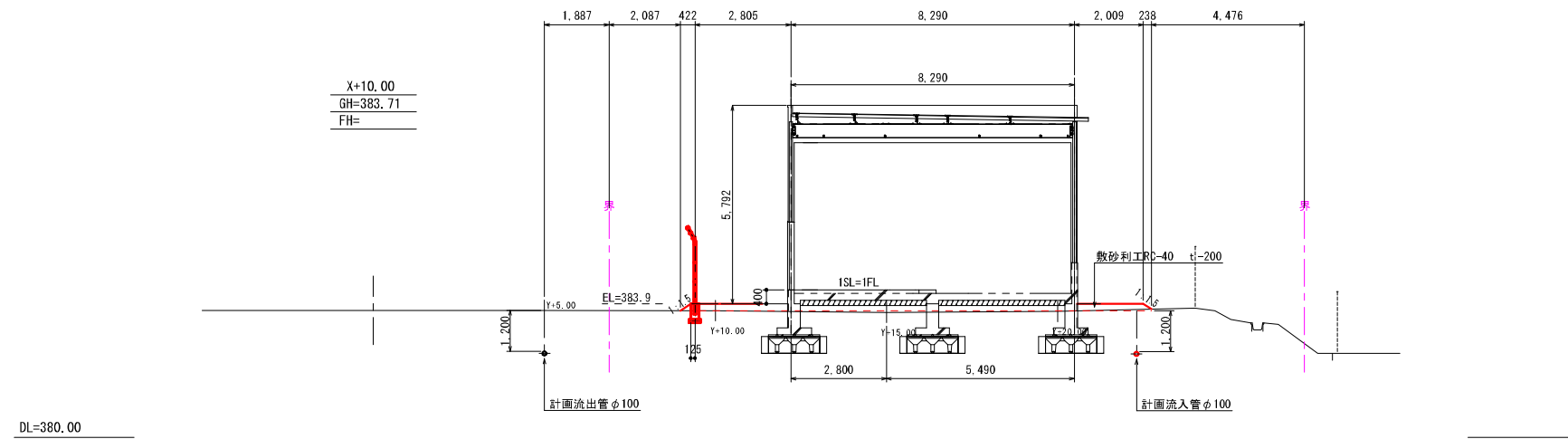
世界測地系(測地成果2011)

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	浄水場一般平面図		
縮尺	S=1:250	図面番号	C-02
事業者	九戸村		



X基線横断図(2)

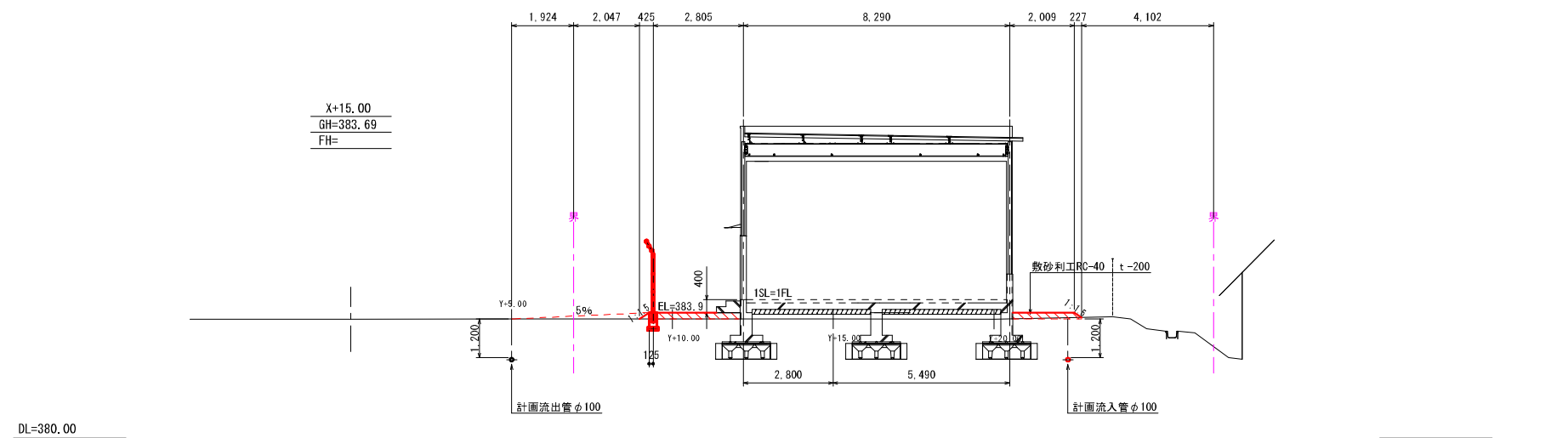
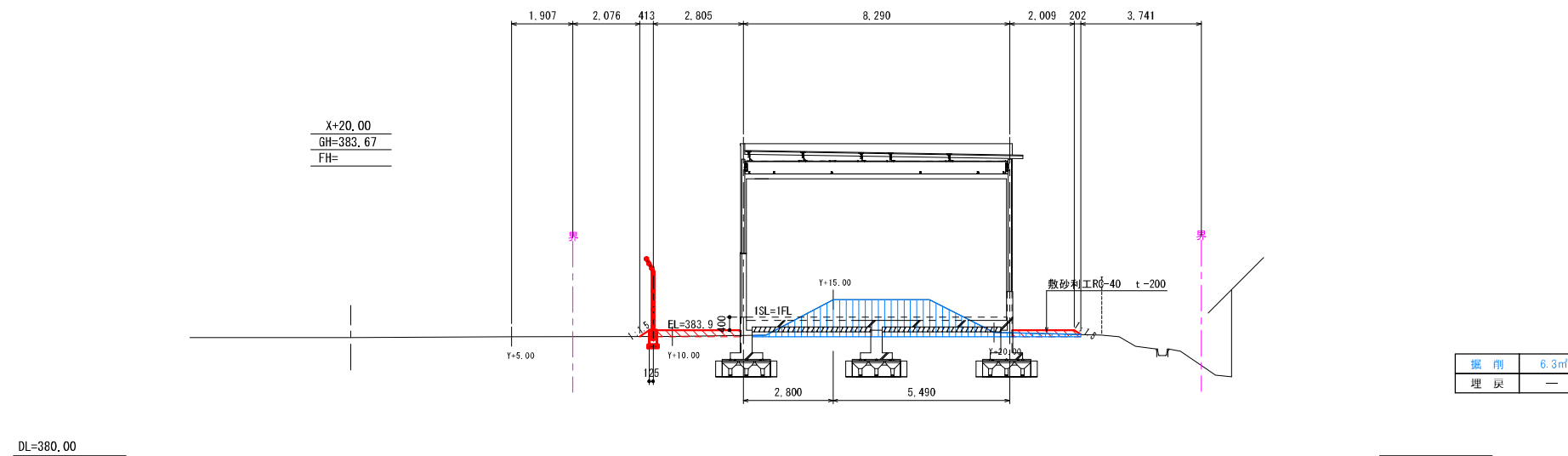
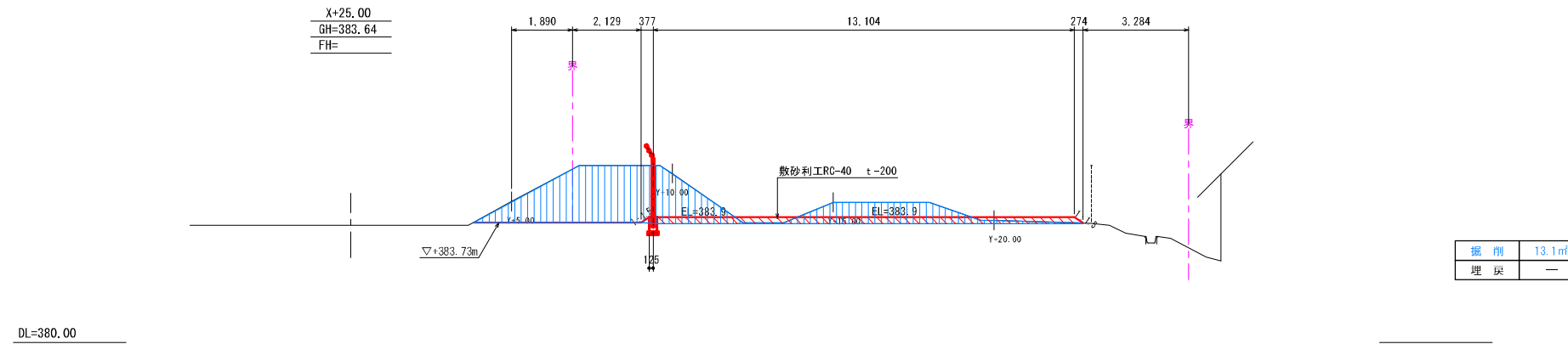
S=1:100



X+0.00~X+10.00			
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	X基線横断図(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	C-03
事業者	九戸村		

X基線横断面図(2)

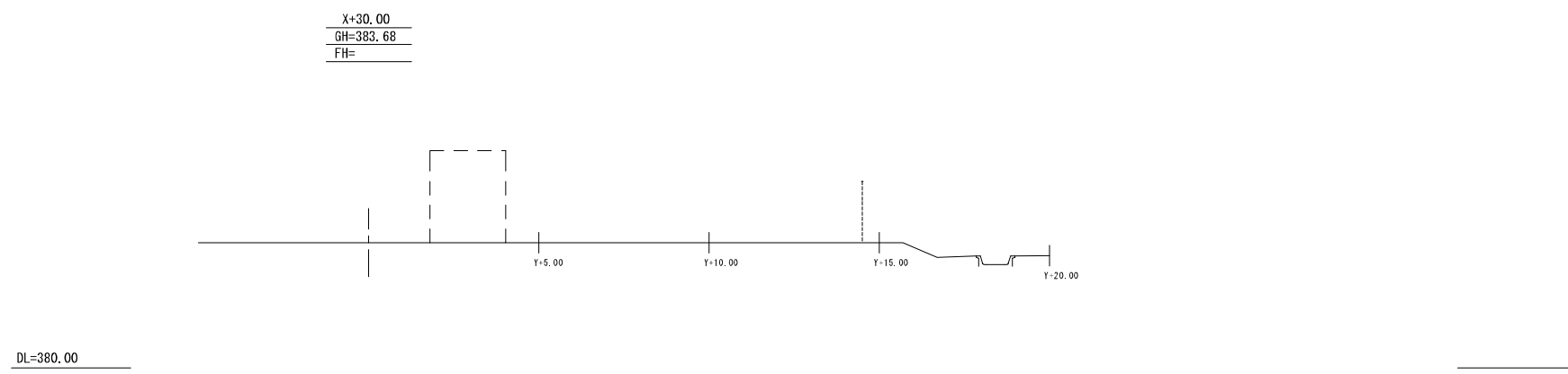
S=1:100



X+15.00~X+25.00	
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事
図面名称	X基線横断面図(2)
縮尺	S=1:100
事業者	九戸村
図面番号	C-04

X基線横断面(3)

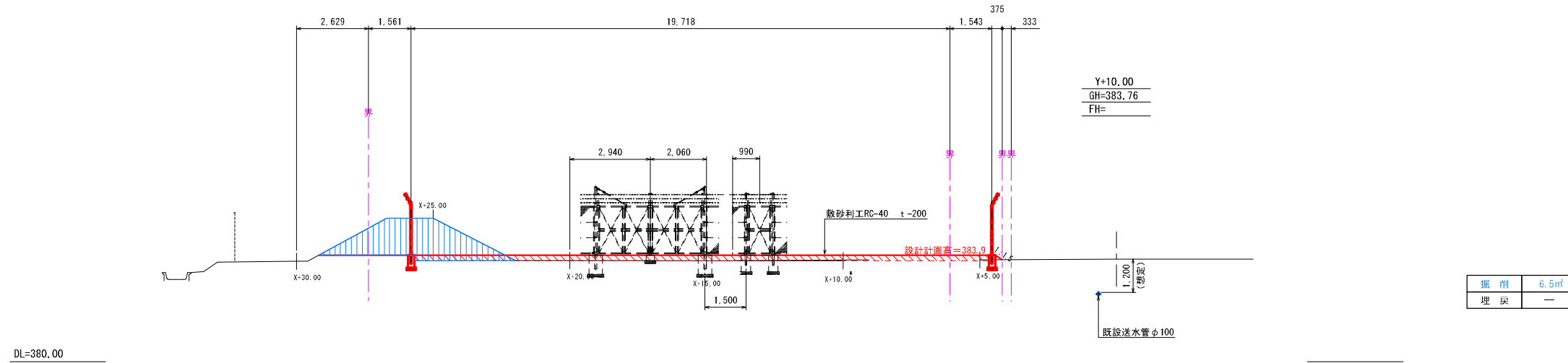
S=1:100



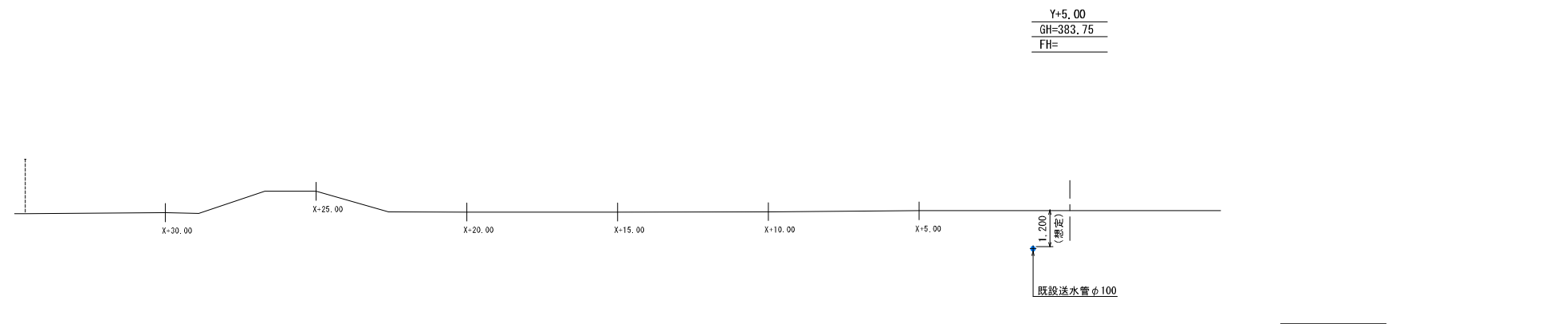
X+30.00	
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事
図面名称	X基線横断面(3)
縮尺	S=1:100
事業者	九戸村
図面番号	C-05

Y基線横断面(1)

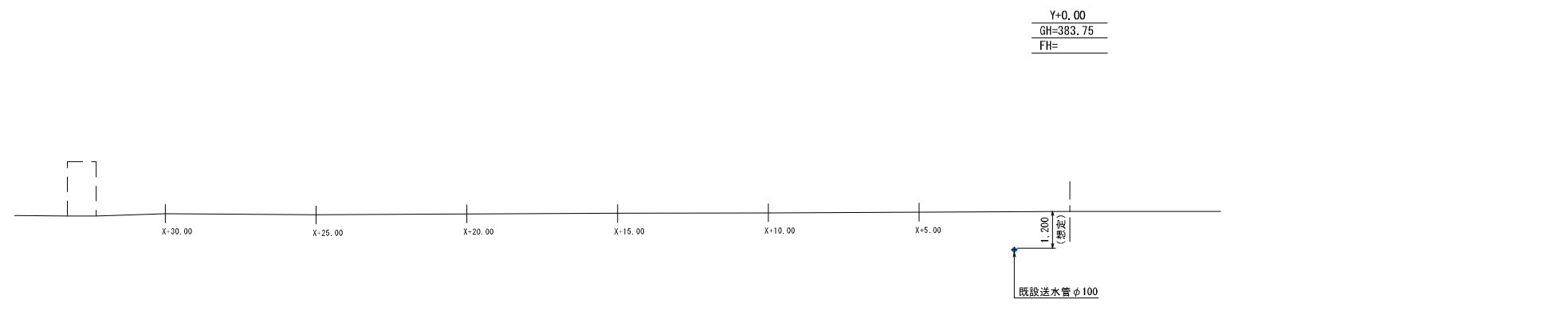
S=1:100



DL=380.00



DL=380.00

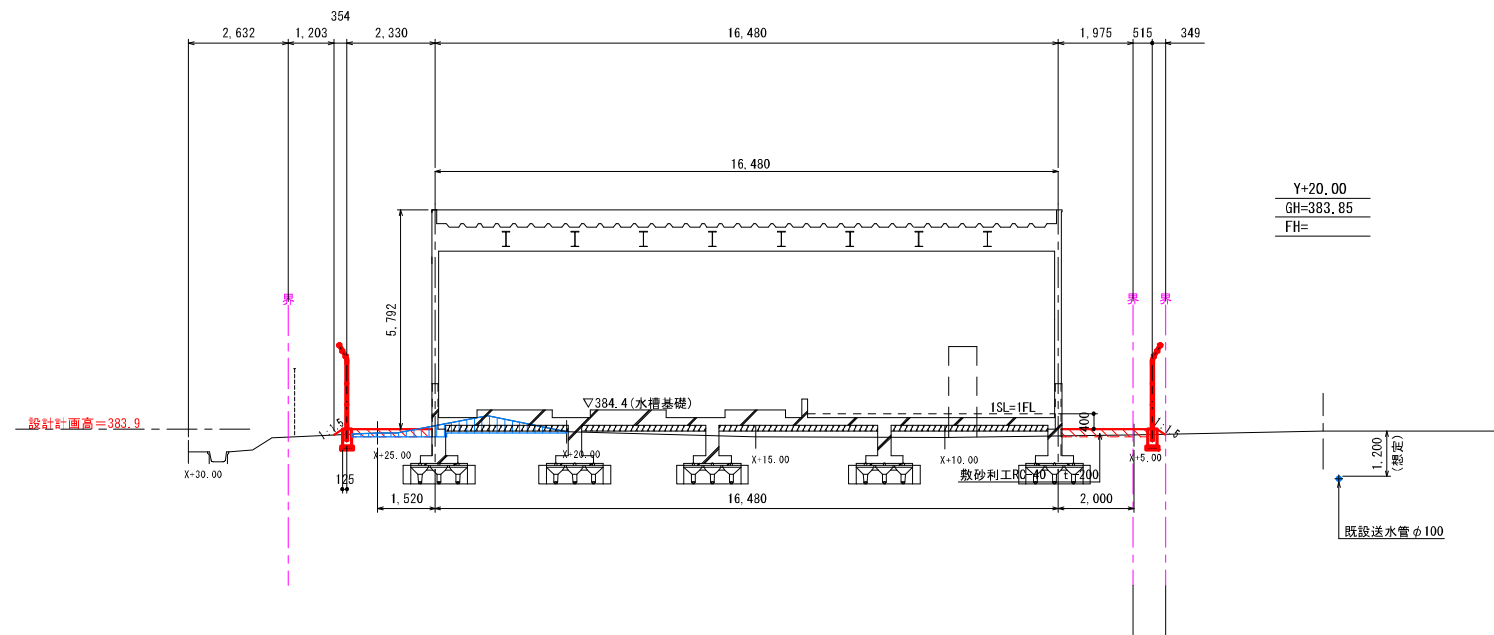


DL=380.00

Y+0.00~Y+10.00			
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	Y基線横断面(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	C-06
事業者	九戸村		

Y基線横断面(2)

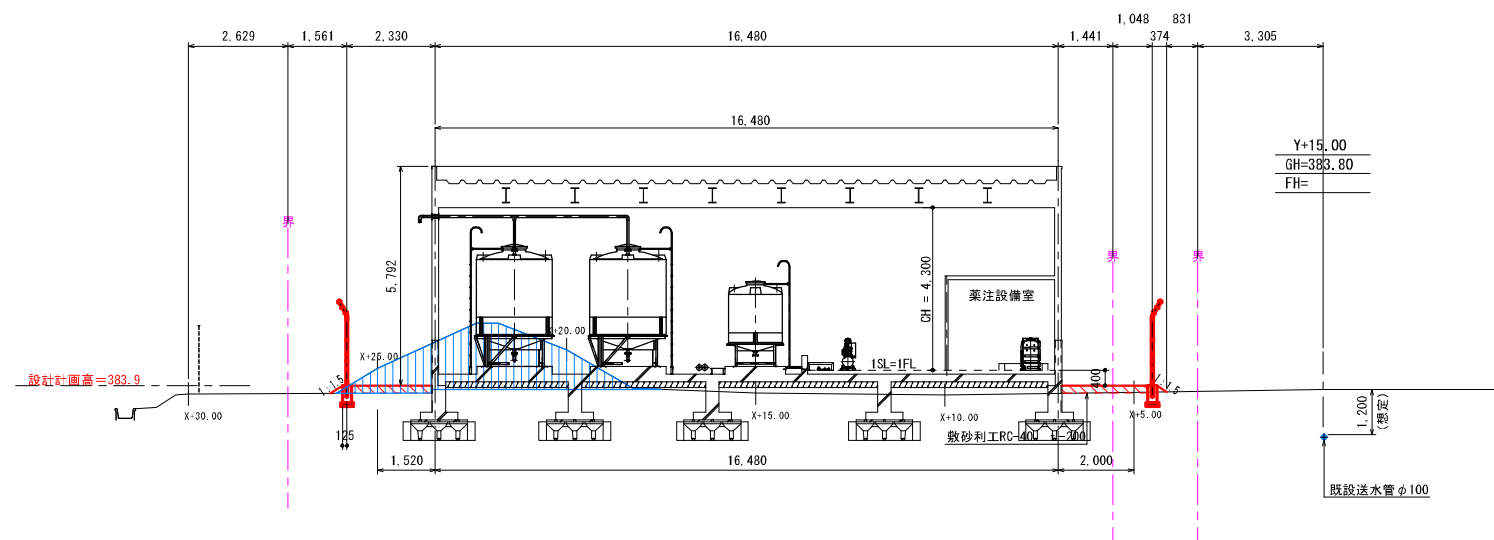
S=1:100



Y+20.00
GH=383.85
FH=

掘削	1.3m ³
埋戻	—

DL=380.00



Y+15.00
GH=383.80
FH=

掘削	8.0m ³
埋戻	—

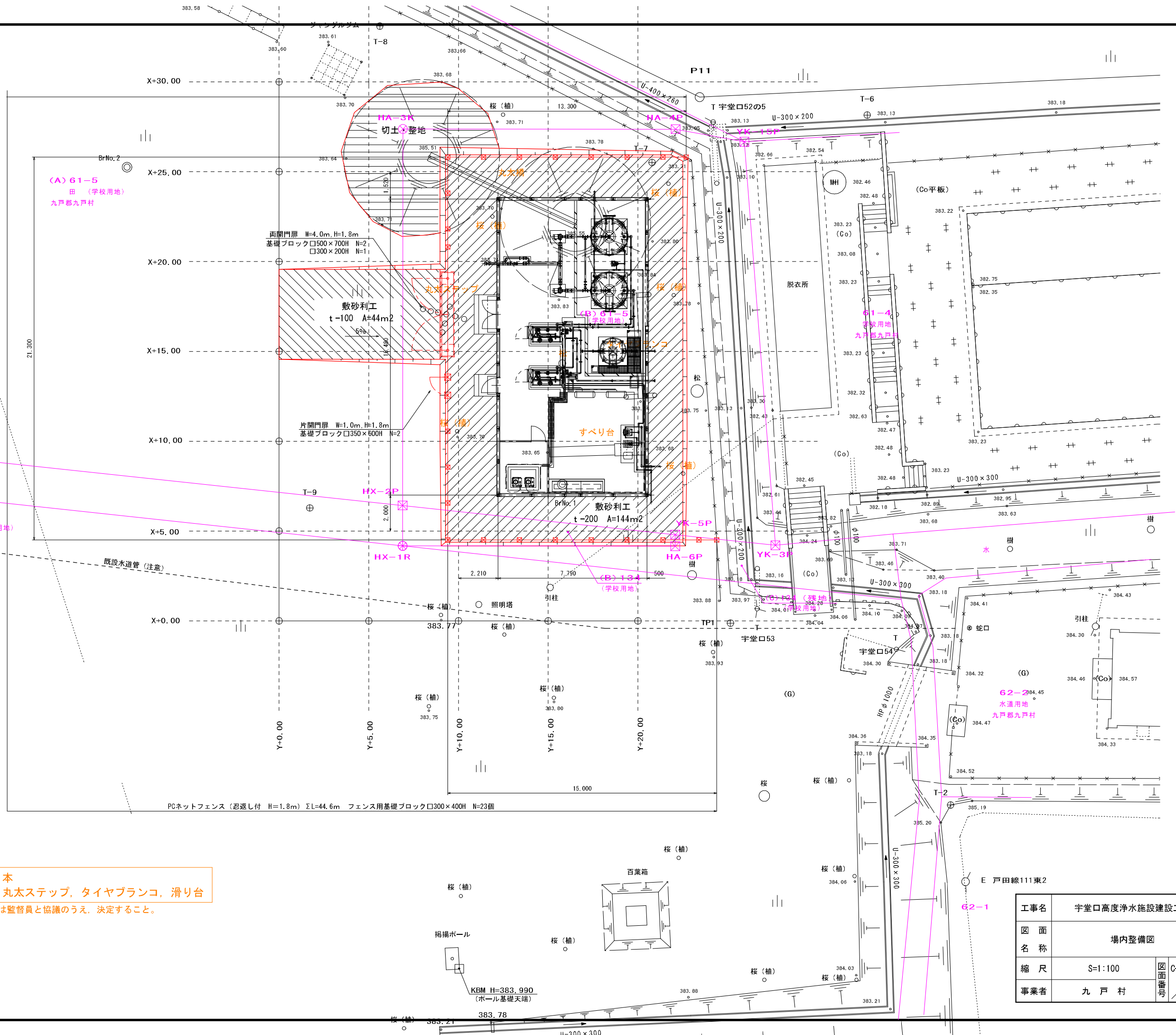
DL=380.00

Y+15.00~Y+20.00

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	Y基線横断面(2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	C-07
事業者	九戸村		

場内整備図

S=1:100



植栽工---桜5本, 松1本
 遊具撤去---丸太橋, 丸太ステップ, タイヤブランコ, 滑り台
 記) 樹木の植栽位置については監督員と協議のうえ, 決定すること。

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	場内整備図		
縮尺	S=1:100	図面番号	C-08
事業者	九戸村		

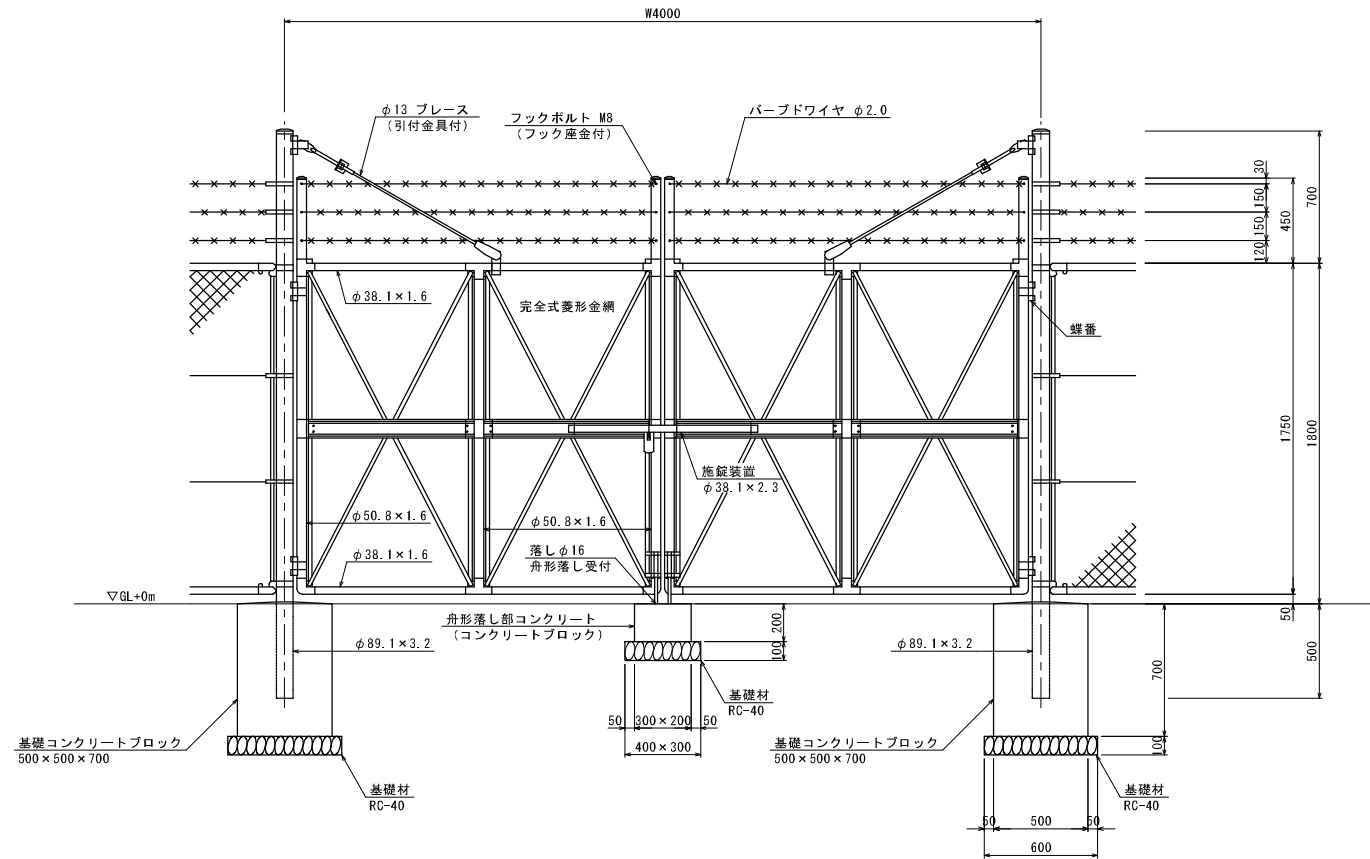
門扉標準図

S=1:20

両開き門扉

H=1.80m (直忍付き) S=1:20 (A1)
1:40 (A3)

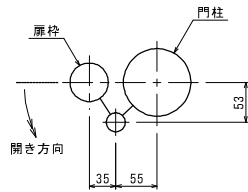
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装は金網類及びバーブドワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は施錠側180°開き、施錠側落としとする。

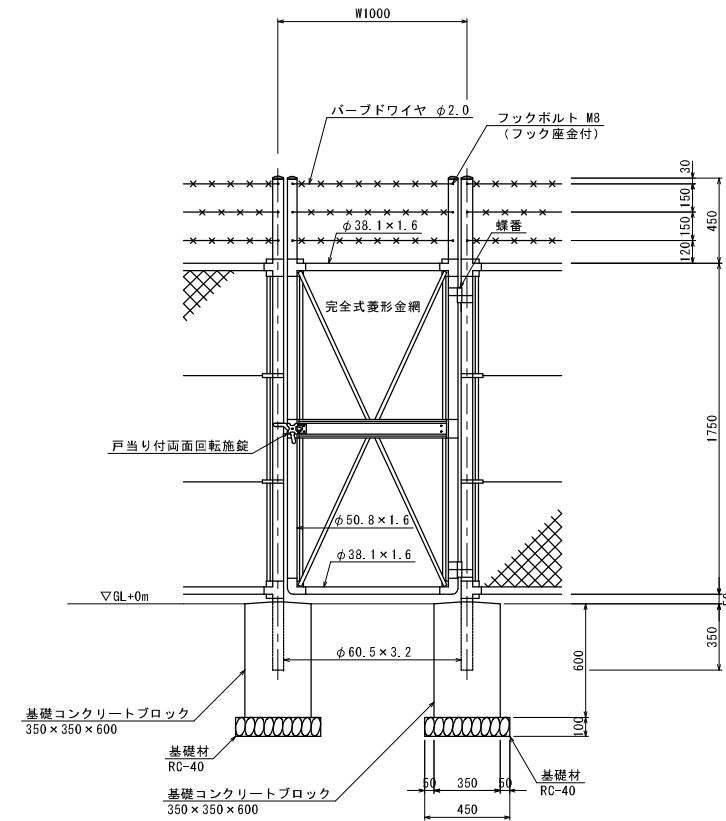
門柱・扉枠位置関係図
S=1:5 (A1) 1:10 (A3)



片開き門扉

H=1.80m (直忍付き) S=1:20 (A1)
1:40 (A3)

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

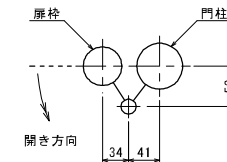


設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装は金網類及びバーブドワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は片側180°開きとする。

⚠注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物(兼用フェンス、壁など)を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要です。

門柱・扉枠位置関係図
S=1:5 (A1) 1:10 (A3)

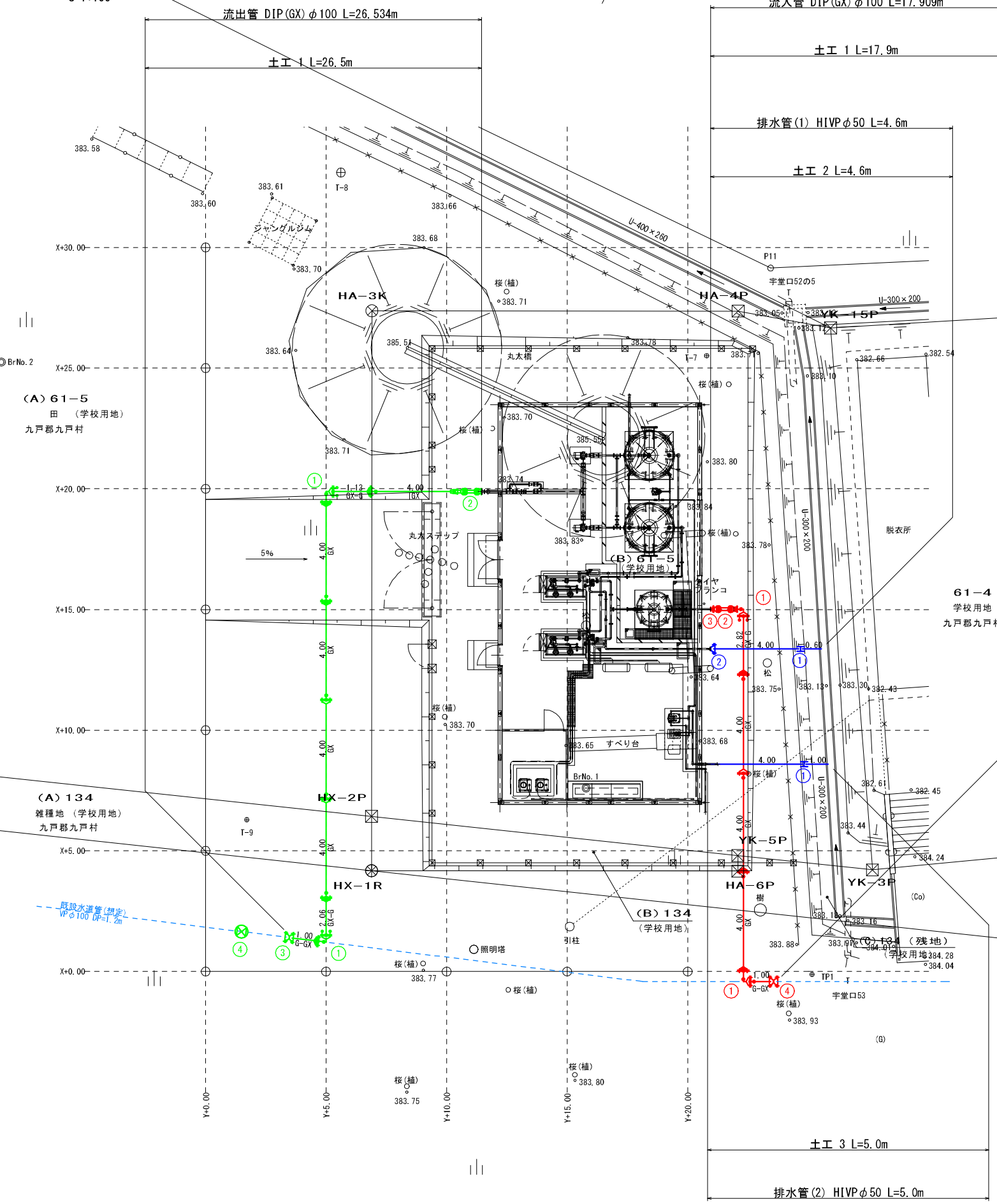


工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	門扉標準図		
縮尺	S=1:20	図面番号	C-10
事業者	九戸村		

場内配管平面詳細図, 標準掘削断面図

場内配管平面詳細図

S=1:100



配管材料リスト

流入管

番号	名称	形状寸法	数量	備考
	DIP (GX形S種)直管	φ100 4,000mm	3	計 12,000mm
	DIP (GX形S種)甲切管	φ100	1	計 2,820mm
	DIP (GX形S種)乙切管	φ100	1	計 1,000mm
	異形管接合材料	φ100	2	
	G-Link	φ100	1	
	ライナ	φ100	3	
	フランジ接合材	φ100 GF 10K SUS304# 1/2	1	
	フランジ接合材	φ50 RF 10K SUS304# 1/2	1	
①	GX形90° 曲管	φ100	2	
②	GX形伸縮可とう管	φ100 GF×GX-U 7.5K (H=200mm)	1	タイロッド付
③	NCP両フランジレジューサ	φ100×50 RF 7.5K - RF 10K	1	フランジタイプ
④	VCジョイント	φ100	1	

流出管

番号	名称	形状寸法	数量	備考
	DIP (GX形S種)直管	φ100 4,000mm	5	計 20,000mm
	DIP (GX形S種)甲切管	φ100	3	計 4,190mm
	G-Link	φ100	2	
	ライナ	φ100	6	
	フランジ接合材	φ100 GF 7.5K SUS304# 1/2	1	
①	GX形90° 曲管	φ100	2	
②	GX形伸縮可とう管	φ100 GF×GX-S 7.5K (H=200mm)	1	タイロッド付
③	VCジョイント	φ100	1	
④	不排水簡易仕切弁	φ100 (VP用)	1	

排水管(1)

番号	名称	形状寸法	数量	備考
	HIVP直管	φ50 4,000mm	1	計 4,000mm
	HIVP切管	φ50	1	計 600mm
	フランジ接合材	φ50 GF 10K SUS304# 1/2	1	
①	HIVP-TSソケット	φ50	1	
②	MFジョイント	φ50 GF 10K	1	

排水管(2)

番号	名称	形状寸法	数量	備考
	HIVP直管	φ50 4,000mm	1	計 4,000mm
	HIVP切管	φ50	1	計 1,000mm
①	HIVP-TSソケット	φ50	1	

標準掘削断面図

S=1:20

① 場内(未舗装)

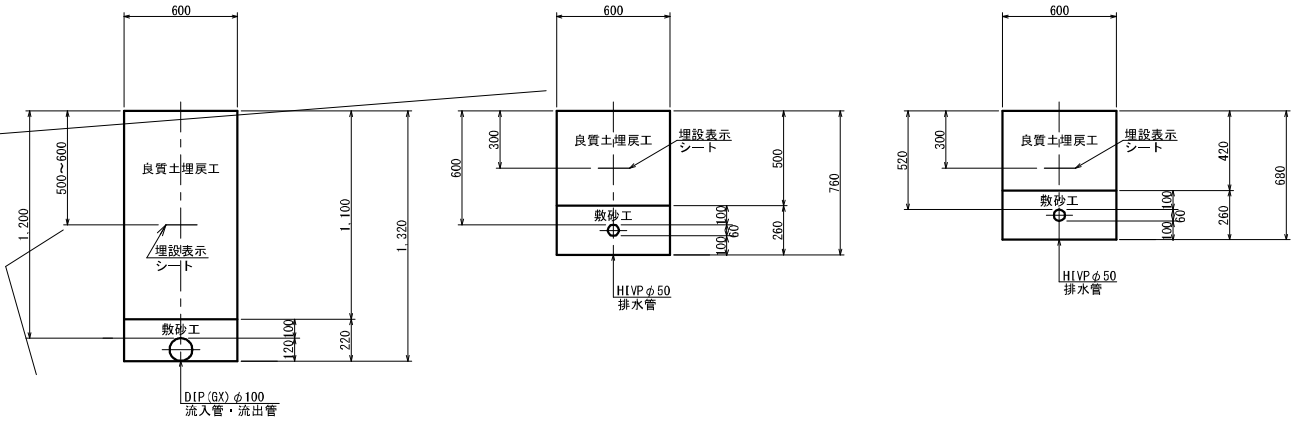
② 場内(未舗装)

③ 場内(未舗装)

一次復旧断面

一次復旧断面

一次復旧断面



凡 例	
—	流入管φ100
—	流出管φ100
—	排水管φ100
---	既設配水管φ100
---	用地境界線

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	場内配管平面詳細図, 標準掘削断面図	
縮尺	図示	図面番号 C-11
事業者	九戸村	

仕様書

I 工事概要

Table with 2 columns: Item (e.g., 1. 工事場所, 2. 敷地面積), Value (e.g., 岩手県九戸郡九戸村戸田第3地削 地内, m²).

4. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち...の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

Table with 2 columns: Item (e.g., 2 仮設工事, 3 土工事), Value (e.g., 工事範囲すべて).

○ 週休2日工事
○ 週休2日工事(発注者指定型) ・ 週休2日工事(受注者希望型) ・ 週休2日交替工事(発注者指定型) ・ 週休2日工事の対象ではない。
週休2日工事は、4週8休(現場開所率または休日率が28.5%以上)であることを求める。

週休2日工事 指示の例
この工事は、発注者が発注した週休2日工事です。
建設現場の働き方改革を推進するため、土曜・日曜、祝日の休工に取り組みます。

週休2日交替制工事 指示の例
この工事は、発注者が発注した週休2日交替制工事です。
建設現場の働き方改革を推進するため、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保に取り組んでいます。

II 建築工事仕様 (構造関係を除く)

- 1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標仕」という。)による。
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は、ともに適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) ○印は「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(グリーン購入法)」の特記調達品目を示す。

Main specification table with columns: Chapter (e.g., ① 一般共通事項), Item (e.g., ① ① ② ③), and Remarks (e.g., 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版), ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩).

- ⑩ 技能士
11 化学物質の濃度測定
⑫ 完成時の提出図書
⑬ 完成写真
⑭ 設備工事との取合い
⑮ 設計GL
⑯ 仮設工事
⑰ 土工事
⑱ 地業工事
⑲ 鉄筋工事
⑳ コンクリート工事
㉑ 鉄骨工事

Table with columns: Item (e.g., ⑩ 技能士), Value (e.g., (1.5.2), (1.5.9), (1.7.1~3) (表1.7.1)), and Remarks (e.g., 技能検定作業, 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、報告する。)

- 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
9 防水工事

Table with columns: Item (e.g., 1 補強コンクリートブロック造), Value (e.g., ブロックの種類 ※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16-W (8.2.2)), and Remarks (e.g., 各部の配筋 ※図示, ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩).

Table with 4 columns: Item (e.g., 工事名, 図面名称, 縮尺, 事業者), Value (e.g., 宇堂口高度浄水施設建設工事, 建築工事特記仕様書 1, S=NON SCALE, 九戸村, A-01).

10 石工 工事	1 石材	天然石 (10.2.1) (表10.2.1.2) 施工箇所 種類 産地・名称 厚さ(mm) 表面仕上げの種類 テラゾ (10.2.1) (表10.2.2) 種石の種類 ※大理石 表面仕上げ ※本磨き 形状・寸法 ※図示	12 土工 工事	1 木材 ◯	表面仕上げの程度 現場搬入時の木材の含水率 保存処理木材 間伐材等 構造材及び地下材の品質の基準 造作材の材質の品質の基準 代用材等を使用しない箇所	13 屋根及び 土工 工事	1 長尺金属板葺 屋根葺形式 ・横葺 ・心木なし瓦葺 ・立平葺 屋根葺工法 ※図示 下葺材料 ※アスファルトルーフィング940	13 左 工 工事	1 モルタル塗り 防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。(JIS A 1404による試験) 混合割合 セメント重量の5%以下	(15.2.2) (表15.2.2) 安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。(JIS R 5201の試験9)	
	2 壁の石張り工法	外壁石張り工法 ・外壁湿式工法(※流し筋工法) ・乾式工法 石裏面処理 裏打ち処理 ドレンパイプ		(10.3.2.3) (10.5.2.3)	2 集成材等 ◯		集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種		②折板葺 形式 ○はげ補め形 ・かん合形	(13.3.2.3) (表13.2.1) (13.3.2.3) (表13.2.1) 耐火性能 ※30分 耐火性能 () 時間 ・なし	②床コンクリート 直均し仕上げ
11 タイル 工事	2 床及び階段の石張り	床石張りの表面処理 階段石張りの表面処理 屋内のフックス掛け	(10.6.2) (10.6.3) (10.1.5)	3 接着剤	※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂(以下「ユリア樹脂等」という)又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種	14 金属 工事	③とい 鋼管製といの防露巻き ※行う(施工箇所 ※標仕13.5.4による) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種 といの埋め口 ※あり(図示) ・なし	③とい ステンレスの表面 仕上げ	(15.4.2) (表15.4.1) (15.5.2) (表15.5.1)	3 セルフレベリング材 塗り	・せっこう系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による 図示) ・セメント系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による 図示)
	3 あと張り工法	壁タイル張りの工法 内装タイル ※壁タイル接着剤張り 外装タイル ※密着張り 内装タイル以外のユニットタイル 躯体表面の処理 躯体表面の処理方法 MR工法を行う場合は、せき板面にMR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上り面凹凸状態とする。 目荒し工法(高圧水洗)を行う場合は、水圧50N/mm ² 以上、かつ、2.5分/m ² とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。	(11.3.3) (表11.3.2) (11.3.3) (表11.3.2) (11.3.3) (表11.3.3) (6.9.3、4) (15.2.4)	4 防露、防蟻処理	防露処理 ※行う(※標仕12.2.8(C)による 図示) 防蟻処理 ※行う(※図示) 防露、防蟻処理剤の種類及び品質 表面処理用木材保存剤(防露・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。	(12.2.8) (12.2.8) (12.2.8)	④軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外(※19形・25形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 野縁の間隔 耐風圧性を考慮した補強 天井のふところ3mを超える場合の補強 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う(補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示)	④軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 ※標仕表14.5.1による 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示	(14.2.1) (表14.2.1) (14.2.2) (表14.2.1) (14.2.3) (表14.2.2) (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.3) (14.4.4) (表14.4.4) (14.5.1) (表14.5.1) (14.5.1) (表14.5.1) (14.6.2) (表14.2.1)	4 仕上塗材仕上げ 仕上塗材の種類、仕上げの形状等 ・薄付け仕上塗材 ・複層仕上塗材	(15.5.2) (表15.5.1)
12 タイル 工事	4 型枠先付け工法	型枠先付けの種類 ※タイルシート法 ・目地掘法 ・機木法	(11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)	5 床張り用合板及びその他の合板 ◯	合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種	⑤軽量鉄骨天井下地 スタッド、ランナーの種類 ※標仕表14.5.1による 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示	⑤軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 ※標仕表14.5.1による 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示	⑤軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外(※19形・25形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 野縁の間隔 耐風圧性を考慮した補強 天井のふところ3mを超える場合の補強 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う(補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示)	(14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2) (14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2) (14.6.2) (表14.2.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2)	5 ロックウール吹付け ロックウールのホルムアルデヒド放散量 接着剤のホルムアルデヒド放散量 吹付け厚さ(mm) ※図示	(15.7.2) (表15.7.2) (15.7.3) (表15.7.3)
	5 型枠先付け工法	型枠先付けの種類 ※タイルシート法 ・目地掘法 ・機木法	(11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)			⑥金属成形板張り 形状 ・スパンドレル形 ・パネル形	⑥金属成形板張り 形状 ・スパンドレル形 ・パネル形	⑥金属成形板張り 形状 ・スパンドレル形 ・パネル形	(14.6.2) (表14.2.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2)	5 ロックウール吹付け ロックウールのホルムアルデヒド放散量 接着剤のホルムアルデヒド放散量 吹付け厚さ(mm) ※図示	(15.7.2) (表15.7.2) (15.7.3) (表15.7.3)

1 木材 ◯	表面仕上げの程度 現場搬入時の木材の含水率 保存処理木材 間伐材等 構造材及び地下材の品質の基準 造作材の材質の品質の基準 代用材等を使用しない箇所	(12.1.4) (表12.1.1) (12.2.1) (表12.2.1) (12.2.1) (表12.2.1) (12.2.1) (表12.2.2) (12.2.1) (表12.2.2) (12.2.1) (表12.2.3)
2 集成材等 ◯	集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種	(12.2.2)
	構造用集成材 施工箇所 品名 強度等級 材面の品質 接着性能 樹種名 寸法(mm) 間伐材等の適用	(12.2.2)
	構造用単板積層材 施工箇所 接着性能 曲げ性能 樹種名 寸法(mm) 間伐材等の適用	(12.2.2)
	造作用集成材 施工箇所 樹種名 見付け材面の品質 寸法(mm) 間伐材等の適用	(12.2.2)
	化粧り造作用集成材 施工箇所 心材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 寸法(mm) 間伐材等の適用	(12.2.2)
	単板積層材 施工箇所 表面の品質 防虫処理 寸法(mm) 間伐材等の適用	(12.2.2)
3 接着剤	※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂(以下「ユリア樹脂等」という)又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種	(12.2.6)
4 防露、防蟻処理	防露処理 ※行う(※標仕12.2.8(C)による 図示) 防蟻処理 ※行う(※図示) 防露、防蟻処理剤の種類及び品質 表面処理用木材保存剤(防露・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。	(12.2.8) (12.2.8) (12.2.8)
5 床張り用合板及びその他の合板 ◯	合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種	(12.2.3)
	普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 防蟻処理 防露処理 防蟻処理	(12.2.3) (19.7.2)
	天然木化粧合板 施工箇所 厚さ(mm) 化粧板の樹種名 接着の程度 防虫処理 その他の処理	(19.7.2)
	特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ(mm) 化粧加工の方法 表面性能 加工面 接着の程度 防虫処理 その他の処理	(19.7.2)
	間伐材等：間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。	

1 長尺金属板葺 屋根葺形式 ・横葺 ・心木なし瓦葺 ・立平葺 屋根葺工法 ※図示 下葺材料 ※アスファルトルーフィング940	(13.2.3) (表13.2.1)
②折板葺 形式 ○はげ補め形 ・かん合形	(13.3.2.3) (表13.2.1) (13.3.2.3) (表13.2.1) 耐火性能 ※30分 耐火性能 () 時間 ・なし
③とい 鋼管製といの防露巻き ※行う(施工箇所 ※標仕13.5.4による) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種 といの埋め口 ※あり(図示) ・なし	(13.5.2) (表13.5.1) (13.5.2) (表13.5.1) (13.5.2.3) (表13.5.3.4)
③とい ステンレスの表面 仕上げ	(14.2.1) (表14.2.1)
③とい アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理	(14.2.2) (表14.2.1)
③とい 鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.3) (表14.2.2)
④軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外(※19形・25形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 野縁の間隔 耐風圧性を考慮した補強 天井のふところ3mを超える場合の補強 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う(補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示)	(14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.3) (14.4.4) (表14.4.4) (14.4.4) (表14.4.4)
④軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 ※標仕表14.5.1による 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示	(14.5.3) (表14.5.1) (14.5.1) (表14.5.1)
⑥金属成形板張り 形状 ・スパンドレル形 ・パネル形	(14.6.2) (表14.2.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2)
⑦アルミニウム製柱木 種類 最小呼称肉厚(mm) 表面処理 固定間隔 備考	(14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) (14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2)
⑧手すり及びタラップ 種類 材料の種類 表面処理	(14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2) (14.2.1) (14.3.2.3) (表14.2.2)

1 モルタル塗り 防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。(JIS A 1404による試験) 混合割合 セメント重量の5%以下	(15.2.2) (表15.2.2) 安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。(JIS R 5201の試験9)
②床コンクリート 直均し仕上げ	既製目地材 ※適用しない・適用する 既目地 ※設ける(工法 ※押し目地)
3 セルフレベリング材 塗り	・せっこう系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による 図示) ・セメント系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による 図示)
4 仕上塗材仕上げ 仕上塗材の種類、仕上げの形状等 ・薄付け仕上塗材 ・複層仕上塗材	(15.5.2) (表15.5.1) (15.5.2) (表15.5.1) (15.5.2) (表15.5.1)
5 ロックウール吹付け ロックウールのホルムアルデヒド放散量 接着剤のホルムアルデヒド放散量 吹付け厚さ(mm) ※図示	(15.7.2) (表15.7.2) (15.7.3) (表15.7.3)

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	建築工事特記仕様書 2		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	A-02
事業者	九戸村		

⑩ 建具工事	1 見本の製作等	・特殊な建具の仮組 (建具符号:) (16.1.4)		
	2 防犯建物部品	・適用する (適用箇所は建具表による) (16.1.6)		
	③アルミニウム製建具	性能等級等 (16.2.2) (表16.2.1)		
		外部に面する建具		
		種別 耐風圧性 気密性 水密性 径見込み (mm) 施工箇所		
		○A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示		
		○B種 S-5		
		○C種 S-6 A-4 W-5 100		
		防音ドアセット、防音サッシ	・適用する 遮音性の等級 ()	
		断熱ドアセット、断熱サッシ	・適用する 断熱性の等級 ()	
		耐震ドアセット	・適用する 面内変形追随性の等級 ()	
		表面処理 (16.2.4) (表14.2.1)		
		外部に面する建具	※B-1種 ○B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ○ステンカラー ・色は工事中に指定する)	
	屋内建具	※C-1種 ○C-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)		
4 銅製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.3.2) (表16.3.1)			
	外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による (16.3.2) (表16.2.1)			
	開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合の銅板類の厚さ ※図示 (16.3.4)			
5 銅製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.4.2)			
	開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合の銅板類の厚さ ※図示 (16.4.4)			
6 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.3.2) (表16.3.1)			
	外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による (16.3.2) (表16.2.1)			
	ステンレス銅板 (16.5.3)			
	施工箇所 銅板の種類 (JIS G 4305)			
	屋外 ※SUS304 又は SUS430J1L			
	屋内 ※SUS430 ・SUS304 又は SUS430J1L			
	表面仕上げ ※HL ・鏡面 (16.5.4)			
	曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強あり) (16.5.5)			
7 木製建具	かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () (16.6.2)			
	ふすまの上張り (表16.6.3)			
	※新鳥の子又はビニル紙程度 (挿入等の表面は除く) ・鳥の子 (表16.6.9)			
	ふすまの縁の仕上げ (表16.6.9)			
	・塗り縁 ・生地縁 (・素地 ・ウレタンクリアー塗装)			
	建物内部の木製建具に使用する表面材 (合板) 及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (16.6.2)			
⑧建具用金物	鍵 (16.7.4)			
	マスターキー ※製作する ・製作しない (16.7.4)			
	鍵箱 (16.7.4)			
	市販品			
	形式 ○30組用 ・60組用 ・120組用			
	シリンダー錠はテンブルキーとする			
9 自動ドア開閉装置	(16.8.2.3) (表16.8.1~3)			
	ドアの種類 センサーの種類			
	※スライディングドア	・マットスイッチ ※光線 (反射) スイッチ		
	種類	・SSLD-1 ・SSLD-2	・熱線スイッチ	
	・DSL-1 ・DSL-2	・音波スイッチ	・電波スイッチ	
	・スイングドア	・タッチスイッチ	・押しボタンスイッチ	
	種類	・SMD-1 ・SMD-2	・ペダルスイッチ	
	・多機能便所スイッチ			
	・凍結防止措置 (適用箇所は建具表による) (16.8.3)			
10 自閉式上吊り引戸装置	材質 ※ステンレス鋼板 (SUS304, SUS430J1L, SUS430)、アルミニウム製等防錆性能を有するもの (16.9.2)			
	性能 ※標仕16.9.1による (16.9.3) (表16.9.1)			
	・製造所標準仕様による			
11 重量シャッター	(16.10.2)			
	シャッターの種類			
	・一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²		
	・外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²		
	・屋内用防火シャッター			
	・屋内用防煙シャッター			
	開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 (16.10.2) (表16.10.1)			
	危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) (16.10.2)			
	一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16.10.2)			
12 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) (16.11.2) (表16.11.1)			
	スラット 材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯) (16.11.3)			
	又はJIS G 3318 (塗装溶融亜鉛めっきアルミニウム合金めっき鋼板及び銅帯) ・銅板			
	形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.11.4)			
	ガイドレール等 ※銅板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) (表16.11.2)			
	耐風圧強度 () N/m ²			
13 オーバーヘッドドア	(16.12.2.3)			
	セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質			
	※スチールタイプ	※バランスタイプ	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304, SUS430J1L)
			・パーチカル形	
	耐風圧性能 () Pa (16.12.2)			

⑪ ガラス	板ガラスの種類、厚さ等は建具表による (16.13.2)			
	・ガラスブロック (16.13.5)			
	表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 防・耐火性能			
	・正方形	・145×145	・95	※クリア ・熱線反射 ※なし
	・長方形			・乳白色 ・カラー () ・あり
	ガラス留め材 (16.13.2) (表9.9.1)			
	建具の種類 材種			
	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット (FIX部はシーリング材)		
	銅製及び銅製軽量	※シーリング材		
	ステンレス製	※シーリング材		
	防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。			
	板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)			
	標仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 JASS 17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。			
ガラス用フィルム (内張り用)				
用途による区分 記号				
・ガラス飛散防止フィルム	※GS-A・B			
・日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・SG-A/GS-A・B ・SG-B/GS-A・B			
・ガラス貫通防止フィルム	※SF-A			
・日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・SG-A/SF-A ・SG-B/SF-A			
品質 JIS A 5759による				
17 カーテンウォール工事	1 メタルカーテンウォール (17.2.2)			
	カーテンウォール材料の種類			
	種類 規格等			
	※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による		
	カーテンウォール方式			
	・方立方式			
	・バックマリアン方式 (・単純2辺支持構法 ・SSG構法)			
	・スパンドレル方式			
	・パネル方式			
	・小型パネル組合せ方式 (・ノックダウン方式 ・ユニット方式)			
	シーリング材及びガラス取付け材料 (9.6.2) (17.2.2) (表9.6.1)			
	下記以外は標仕9.6.1による			
	被覆体の組合せ シーリング材の種類			
	記号 主成分による区分 耐久性による区分			
	金属 ガラス			
	石、タイル			
	ガラス ガラス			
	構造用ガスケット ※適用しない (17.2.2)			
	・適用する			
	施工箇所 ※図示			
	断熱材 ※適用しない (17.2.2)			
	・適用する			
	種類 () 厚さ () mm			
	施工箇所 ※図示			
	製品の寸法許容差 ※標仕17.2.1による (17.2.3) (表17.2.1)			
	・製作所標準製作規定寸法許容差による			
	アルミニウムの表面処理 (17.2.3) (表14.2.1)			
	種別 色彩等			
	・A-1種 ・B-1種 無着色			
	・A-2種 ・B-2種 ※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・色は工事中に指定する			
	・着色塗膜 塗装材料 () 焼付け方法 () コート () ベーク			
	耐風圧性 (17.1.3)			
	性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示第1458号に基づく計算値			
	に対して安全であること。			
	・正圧 () N/m ² 以上及び負圧 () N/m ² 以上に対して安全であること。			
	主要部材のたわみ			
	支点間距離 (h) たわみ量 状態			
	※± (1/150) ×h	※部材の破損、残留変形及び有害な変形が起こらないこと		
	※4m以下	・かつ、絶対量20mm以下		
	・4mを超える			
	耐震性 (17.1.3)			
	設計用震度 水平方向 (K _h) ※1.0			
	垂直方向 (K _v) ※0.5			
	建築物の構造種類 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態			
	鉄骨造	※± (1/100) ×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと	
	鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること	
	鉄骨鉄筋コンクリート造			
	水密性	・W-4 ・W-5	(17.1.3)	
	気密性	・A-3 ・A-4	(17.1.3)	
	耐火性	※適用しない	(17.1.3)	
	・適用する			
	() 時間			
	施工箇所 ※図示			
	耐温度差性 (°C) 60 70 90 (17.1.3)			
	遮音性 T-3 T-4 T-5 (17.1.3)			
	断熱性 H-2 H-3 H-4 H-5 (17.1.3)			
	映像調整 ※行わない ・行う (建具表による)			
	製作所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける			

2 PCカーテンウォール	コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)		
	※標仕17.3.2による		
	・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。		
	コンクリートの種類 設計基準強度 (F _c) 所要スランプ (cm)		
	鉄筋の種類 ※SD295A		
	取付け用金物の表面処理 (鉄筋の重粉めっき) 及び材質 (14.2.3) (表14.2.2)		
	金物種類及び部位 内部 外部		
	PC板打込み金物	※E種	※A種
	PC板打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
	二次ファスナー	※E種	※A種
	取付けボルト	※E種	※A種
	レベル調整ボルト	※E種	※A種
	上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による		
シーリング材料 (9.6.2) (17.3.2) (表9.6.1)			
下記以外は標仕9.6.1による			
施工箇所 記号 シーリング材の種類 耐久性による区分			
カーテンウォール板間目地			
耐火目地材	・適用する (17.3.2)		
	施工箇所 ※図示		
断熱材 ※適用しない			
・適用する			
種類 () 厚さ () mm			
施工箇所 ※図示			
製品の寸法許容差 ※標仕17.3.1による (17.3.3) (表17.3.1)			
・製作所標準製作規定寸法許容差による			
表面仕上げ () (17.3.3)			
耐火材料			
施工部位 種別 規格等			
・ファスナー部			
・取付けブラケット			
・パネル目地部			
・層間ふさぎ			
耐風圧性 (17.1.3)			
性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示第1458号に基づく計算値			
に対して安全であること。			
・正圧 () N/m ² 以上及び負圧 () N/m ² 以上に対して安全であること。			
耐震性 (17.1.3)			
設計用震度 水平方向 (K _h) ※1.0			
垂直方向 (K _v) ※0.5			
建築物の構造種類 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態			
鉄骨造	※± (1/100) ×h以上	※部材の破損、残留変形及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと	
鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること	
鉄骨鉄筋コンクリート造			

⑬ 塗装工事	①材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)	
		※規制対象外 ・第三種	
		建物内部に使用する塗料の材質 ・水性系	
		防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 (18.1.3)	
		・次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所:)	
	②素地ごしらえ	重粉めっき鋼面の素地ごしらえの種類 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)	
		種別 耐水性塗料塗りの場合 施工部位及び塗料種類	
		A種	耐水性塗料塗りの場合
		B種	A種、C種以外
		C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合及び銅製建具等
		せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種類 (18.2.7) (表18.2.7)	
		種別 ・A種 ・B種 (施工箇所:)	
	③錆止め塗料塗り	塗料種別 (表18.3.2)	
	鉄鋼面錆止め塗料	EP-G以外 ※A種 ()	
	重粉めっき鋼面錆止め塗料	EP-G以外 ※B種 ・B種	
4 耐水性塗料塗り	鉄鋼面上塗り塗料の等級 (18.7.2)		
	等級 塗料種類		
	・1級	ふっ素樹脂塗料	
	・2級	アクリルシリコン樹脂塗料	
	・3級	ポリウレタン樹脂塗料	
	重粉めっき鋼面上塗り塗料の等級 (18.7.3)		
	等級 塗料種類		
	・1級	ふっ素樹脂塗料	
	・2級	アクリルシリコン樹脂塗料	
	・3級	ポリウレタン樹脂塗料	
	コンクリート面及び押出成形セメント板面耐水性塗料塗りの種別 (18.7.4)		
	種別 塗料種類		
	・A種	ふっ素樹脂塗料	
	・B種	アクリルシリコン樹脂塗料	
	・C種	ポリウレタン樹脂塗料	
5 床用塗料塗り	材質 エポキシ樹脂系塗料 (※標準色) ()		
	仕上種別 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ		
	塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m ² 以上とする		
6 防塵用塗料塗り	材質 エポキシ系樹脂塗料 (※標準色) ()		
	仕上種別 コーティング (ローラーばけ塗り)		
	塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする。		

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	建築工事特記仕様書 3		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	A-03
事業者	九戸村		

設 計 概 要					外 部 仕 上 表					
工事名称	九戸村浄水施設配置計画	構 造	■軽量鉄骨造（ブレース構造） 平屋建		屋 根	ルーフテッキ： ■カラーカ'ルバ'リウム鋼板（ハセ'式）t=0.6 H=90 不燃認定番号：NM-8697	裏 面：	■ 発泡ホ'リエチレン t=4 □ 無機質断熱材 t=4		
工事場所	岩手県九戸郡九戸村 地内	耐火種別	■その他		軒裏・鼻隠し	軒 裏： ■ ルーフテ'ッキ表し（断熱材無し）	鼻隠し：	□ カラーカ'ルバ'リウム鋼板 t=0.5 H=300 ■無し		
用途地域	指定なし	基 礎	■鉄筋コンクリート造布基礎		外 壁	■ 窯業系サイディング張 t=18		下 地：	■鋼製下地 GW t=50 16kg品	
防火地域	□ 防火地域 □ 準防火地域 ■ 指定無し		■ 土間コンクリート（ベタ基礎スラブ）			建 具	一般部： ■ アルミ製片開戸		硝 子：	□ 透明t=5 □ 透明t=3 (上部) ■ 型板t=4 (上部) ■ アルミハ'ネルt=3 (フラット)
その他	-				■ アルミ製両開ドア		□ 透明t=5 □ 透明t=3 (上部) ■ 型板t=4 (上部) ■ アルミハ'ネルt=3 (フラット)			
	-			□ アルミ製引違窓 □はめ殺し窓			□ 透明t=3 ■ 型板t=4 □ 復層カ'ラス □ 強化カ'ラス			
地域建べい率	%			■ 軽量ハ'ランスシャッター（手動）		□ スチール製スラットt=0.5				
地域容積率	%		申請建物	既存建物	合計	外 腰	■ コンクリート打放仕上（補修程度） □ モルタル剛毛引仕上 □ 無し			
敷地面積	m ²	建築面積	136.61 m ²	m ²	136.61 m ²	樋	軒 樋：	■ 塩ビ'製角型（前高120） □ 塩ビ'製半丸型 □ 無し		
		延床面積	136.61 m ²	m ²	136.61 m ²		縦 樋：	■ 塩ビ'製カラーVU75φ □ 塩ビ'製カラーSU75φ □ 無し		
						ポーチ	■ コンクリート打放仕上（補修程度） □ 150角タイル貼り □ 100角タイル貼り			
						スロープ	□ 有り ■ 無し			

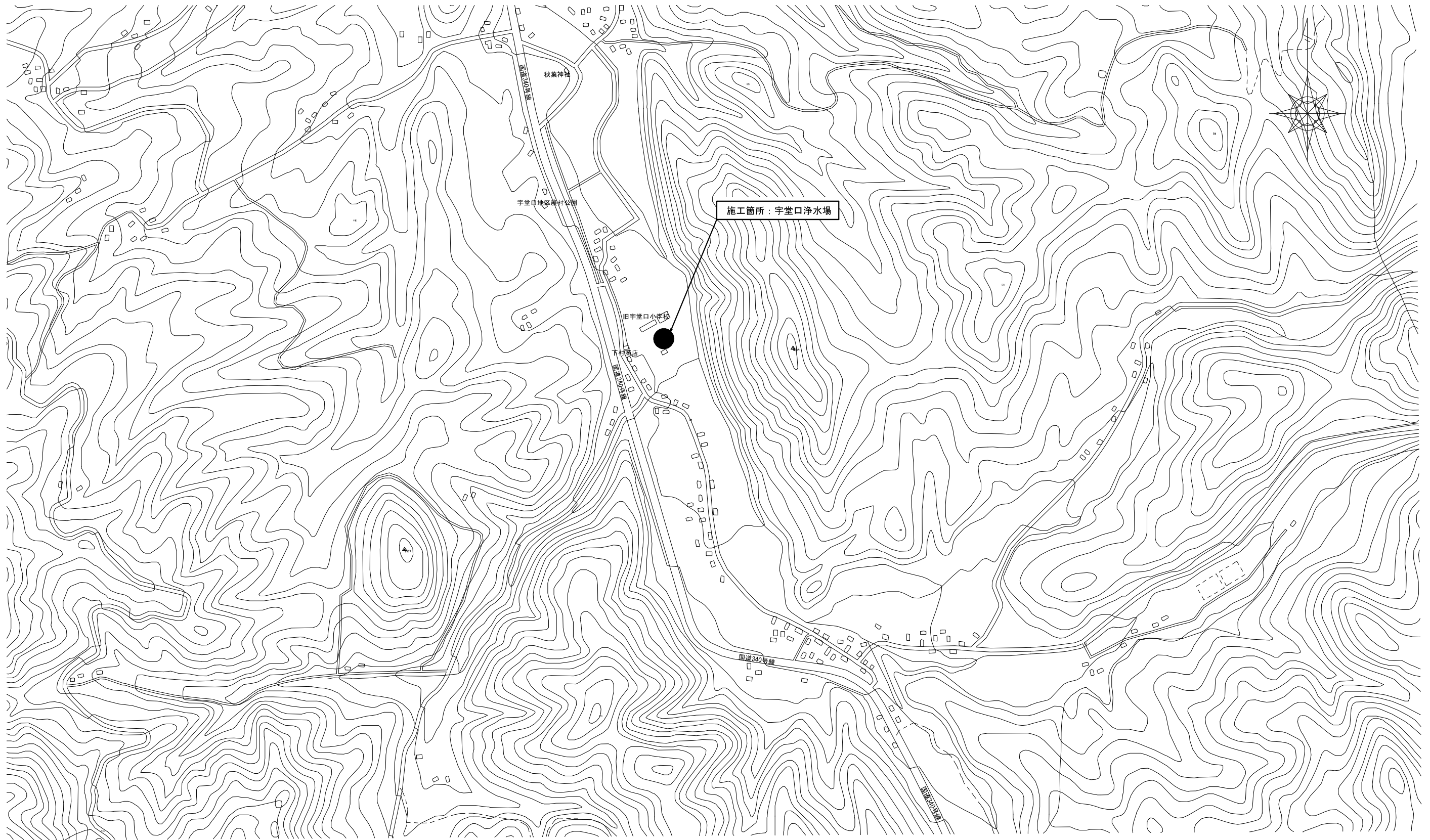
内 部 仕 上 表 凡例： ■印のついたものを適用する。

階	室 名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高さ	備考
1	浄水施設室	シンダーコンクリート（t=200）金ゴテ仕上（規制対象外） （一部、土間コンクリート金鏝仕上）	基礎立上り表し	ケイカル板 t=8表し（LGS下地） GW t=50 16kg品（規制対象外）	化粧石膏ボードGB-D t=9.5（LGS下地） GW t=100 16kg品（規制対象外）	塩ビ製	4,300	アルミ庇 W2,000×D500、W1,000×D500（アルフィン AF-76程度） 防液堤 FL+400 機械基礎 FL+100
	業注設備室	シンダーコンクリート（t=200）金ゴテ仕上（規制対象外）	基礎立上り表し	ケイカル板 t=8表し（LGS下地） GW t=50 16kg品（規制対象外）	化粧石膏ボードGB-D t=9.5（LGS下地） GW t=100 16kg品（規制対象外）	塩ビ製	4,300	アルミ庇 W1,000×D500（アルフィン AF-76程度）
	電気室	シンダーコンクリート（t=200）金ゴテ仕上	基礎立上り表し	ケイカル板 t=8表し（LGS下地） GW t=50 16kg品（規制対象外）	化粧石膏ボードGB-D t=9.5（LGS下地） GW t=100 16kg品（規制対象外）	塩ビ製	4,300	盤基礎 FL+100
階								
共通事項		防火認定番号	GB-R： 石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-9828 GB-R： 石膏ボードt=12.5 ⇒ NM-8619 GB-D： 化粧石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-9824 GB-D： 不燃化粧石膏ボードt=9.5 ⇒ NM-9639 GB-F： 強化石膏ボードt=12.5 ⇒ NM-8615	⇒	GB-S： 耐水石膏ボードt=9.5・12.5 ⇒ QM-9826 珪酸カルシウム板t=6 ⇒ NM-8576 ビニールクロス（防火2級品） ⇒ QM-9393~9439 不燃ビニールクロス ⇒ NM-1762~9951 GB-P： 吸音用あなき石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-9827	ホルムアルデヒド対策	内装仕上げは、全てF☆☆☆☆とする。 天井裏下地は、全てF☆☆☆☆とする。 壁紙接着材は、全てF☆☆☆☆とする。	
断熱材：天井裏グラスウール t=100 16kg品 ※クロルピリホスを添加した材料は使用しない。 ※石綿含有材料は使用しない。 ※使用する材料は建築基準法第37条の基準に適合するものとする。								

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図 面 名 称	設計概要・仕上表		
縮 尺	S=NON SCALE	図 面 番 号	A-05
事業者	九 戸 村		

案内図

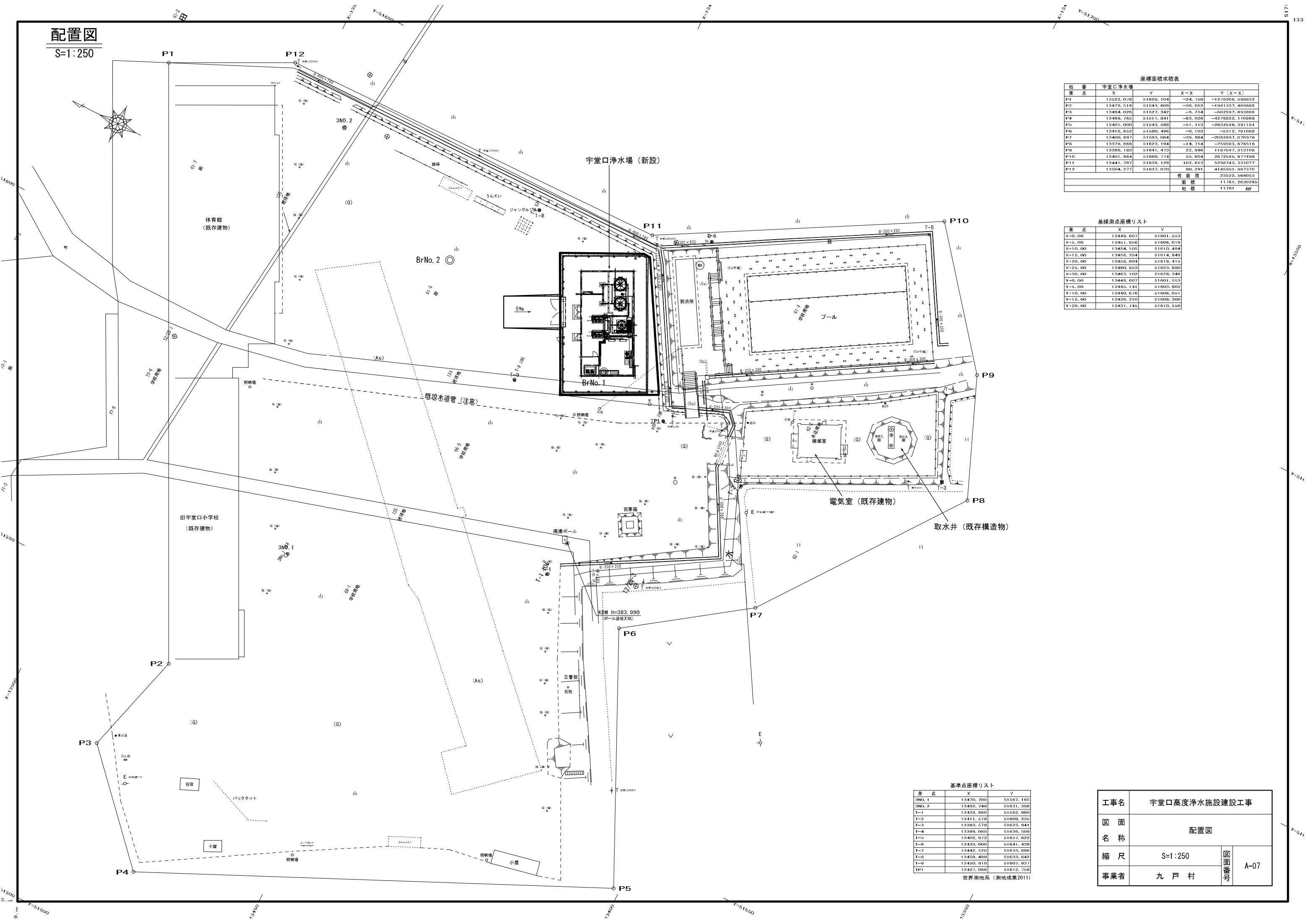
S=1:5,000



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	案内図		
縮尺	S=1:5,000	図面番号	A-06
事業者	九戸村		

配置図

S=1:250



座標面積表

地番	宇堂口浄水場	座標面積表		
測点	X	Y	X-Y	Y(X-Y)
P1	13522.078	51628.104	-24.758	-1278208.598832
P2	13479.519	51543.809	-38.052	-1061337.409968
P3	13484.076	51577.542	-8.754	-502597.693868
P4	13469.765	51511.841	-43.026	-4276822.110866
P5	13401.000	51543.568	-61.112	-2634546.391184
P6	13418.652	51580.496	-0.103	-5312.791688
P7	13400.897	51593.064	-39.984	-2062897.070976
P8	13378.668	51623.194	-14.714	-759583.676516
P9	13386.183	51641.473	22.996	1187547.313108
P10	13401.664	51660.774	55.604	2872545.677496
P11	13441.787	51638.129	102.613	5298743.331677
P12	13504.777	51637.070	80.291	4145991.987370
		積面積		23522.566053
		面積		11761.2830265
		地積		11761 m ²

基準測点座標リスト

測点	X	Y
X+0.00	13449.607	51601.553
X+5.00	13451.856	51606.018
X+10.00	13454.105	51610.484
X+15.00	13456.354	51614.949
X+20.00	13458.604	51619.415
X+25.00	13460.853	51623.880
X+30.00	13463.102	51628.346
Y+0.00	13449.607	51601.553
Y+5.00	13445.141	51603.802
Y+10.00	13440.676	51606.051
Y+15.00	13436.210	51608.300
Y+20.00	13431.745	51610.549

基準点座標リスト

測点	X	Y
3No. 1	13470.700	51567.185
3No. 2	13492.748	51631.398
T-1	13432.680	51592.960
T-2	13411.578	51609.235
T-3	13383.578	51623.941
T-4	13389.080	51636.509
T-5	13402.872	51657.822
T-6	13433.000	51641.439
T-7	13442.520	51633.686
T-8	13459.488	51633.642
T-9	13450.910	51607.937
T-11	13427.086	51612.759

世界測地系(測地成果2011)

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	配置図		
縮尺	S=1:250	図面番号	A-07
事業者	九戸村		

1階平面図

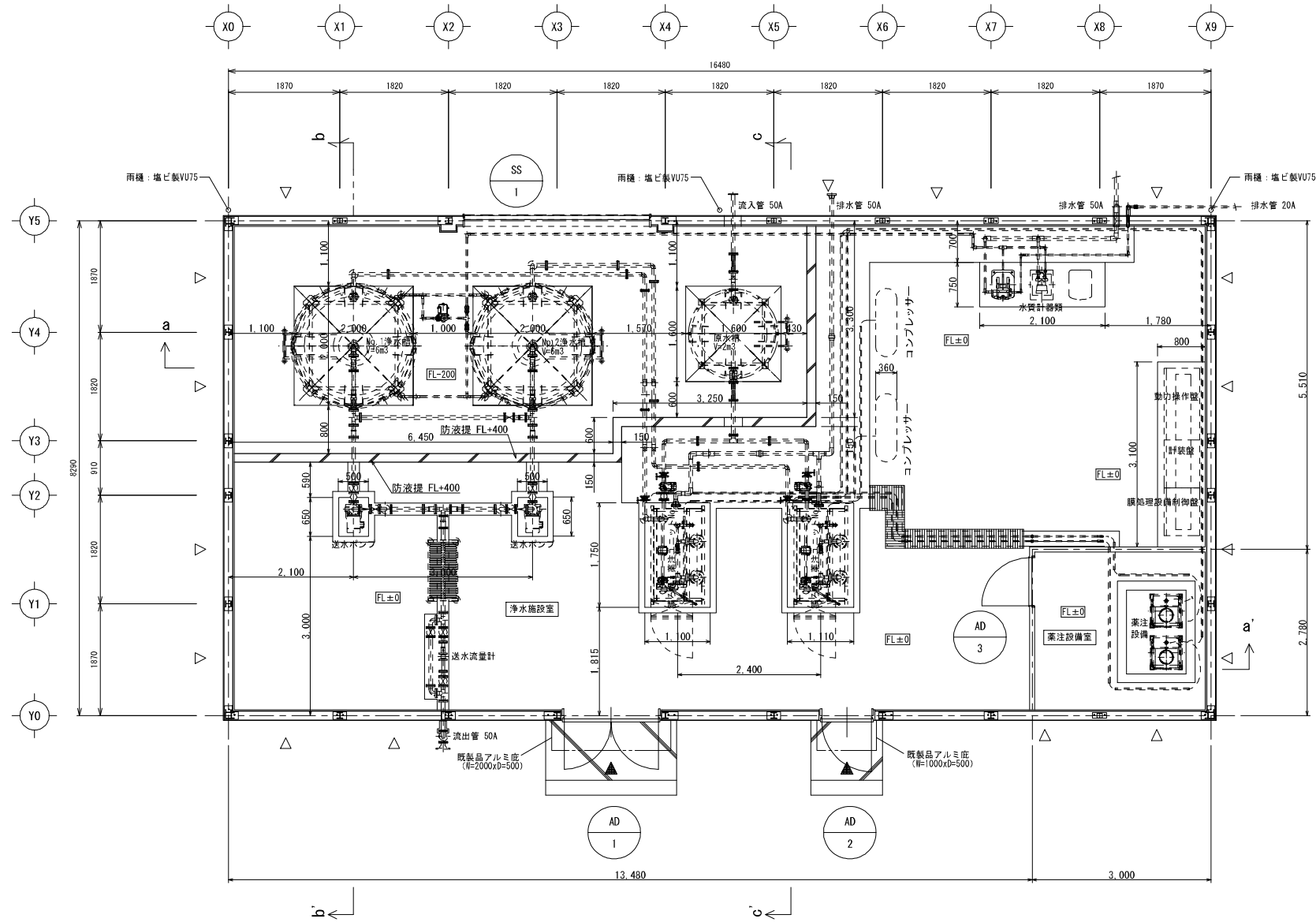
S=1:50

AD
1
両開ドア
W=1,620 * H=2,018
(W=1,548 * h=1,982)
腰下: 型板ガラス t=4
腰下: 7mmサンドパネル t=3

AD
2
片開ドア
W=868 * H=2,018
(W=796 * h=1,982)
腰下: 型板ガラス t=4
腰下: 7mmサンドパネル t=3

AD
3
片開ドア
W=800 * H=2,000
腰下: 型板ガラス t=4
腰下: 7mmサンドパネル t=3

SS
1
手動式軽量バランスシャッター
W=3,100 * H=3,300
スラット: カラー鋼板 t=0.8
三方枠付 (スチール製 W=175)

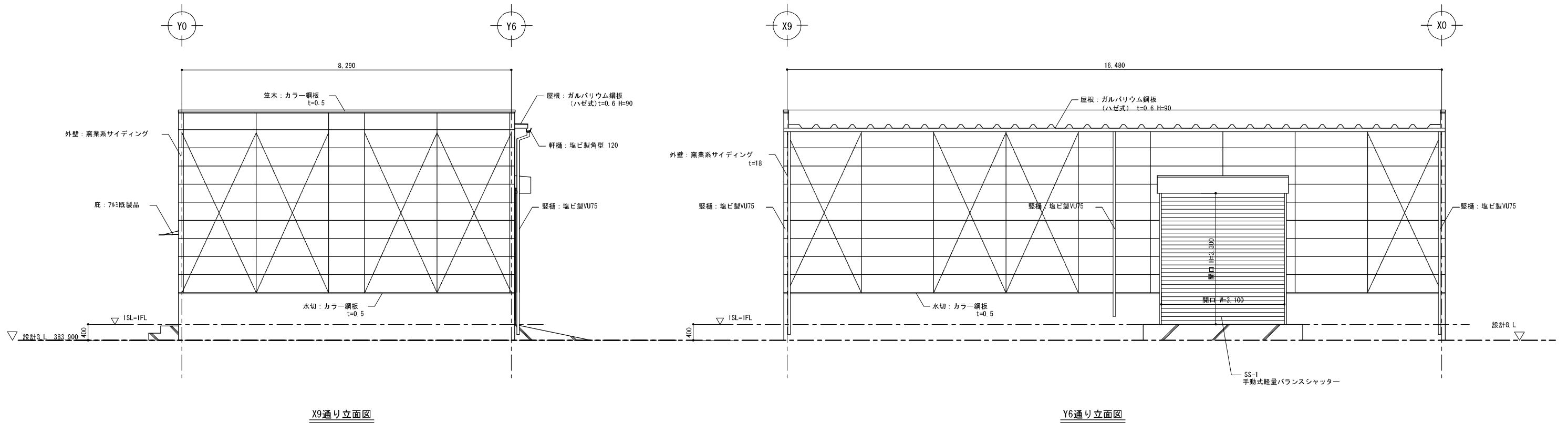
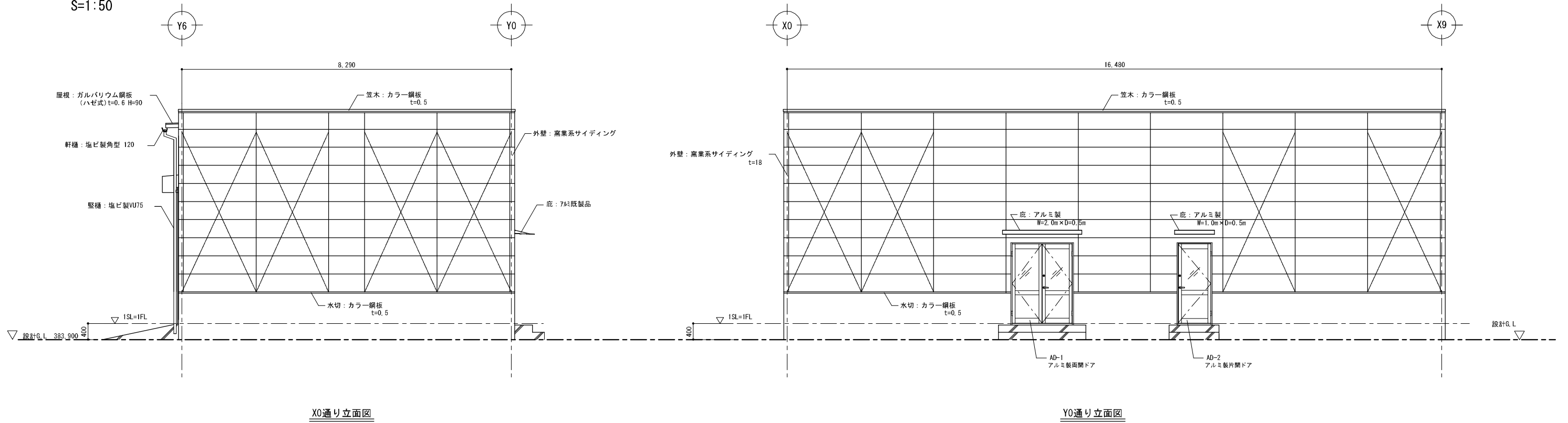


凡例	
△	: プレース取付位置 M20 (室内側)
▲	: 出入口

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	1階平面図		
縮尺	S=1:50	図面番号	A-08
事業者	九戸村		

立面図

S=1:50



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	立面図		
縮尺	S=1:50	図面番号	A-09
事業者	九戸村		

構造設計特記仕様

適用は 〇印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 宇堂口高度浄水施設建設工事
建築場所 岩手県九戸郡九戸村戸田第3地割地内
- (2) 工事種別 ■新築 □増築 □増改築 □改築
- (3) 構造種別 ■鉄骨造(S)
- (4) 階数
浄水場浄水棟 地上1階
地下-1階
- (5) 主要用途 浄水場
- (6) 屋上付属物 □
- (7) 特別な荷重
□エレベータ 人乗(マシンレス ローフ式 油圧式) □リフト kN □ホイスト kN
□倉庫積載床用 N/m²
- (8) 付帯工事 □
- (9) 増築計画 □有() □無
- (10) 構造計算ルート ■X方向ルート(1-1) ■Y方向ルート(1-1)
□X方向ルート(1-2) □Y方向ルート(1-2)
□X方向ルート(2) □Y方向ルート(2)
- (11) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■建築基準法
■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
□社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

2. 使用構造材料一覧表

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	構造体強度の補正係数 γ _{RC}	スランプ (mm)	コンクリートの圧縮強度の目標値 (N/mm ²)	空気量の目標値 (%)	単位水量の目標値 (kg/m ³)
捨コンクリート	■普通	18	0	15	(65)	(4.5)	(185)
土間コンクリート	■普通	24	0	15	65	4.5	185
基礎、基礎梁	■普通	24	*1	15	65	4.5	185
柱、梁、床、壁	■普通、□軽量	24	*1	15	65	4.5	185
シタコンクリート	■普通	18	0	15	65	4.5	185
押えコンクリート	□普通、□軽量						
細骨材の種類	■砂	■山砂	□人工	■最大寸法5mm以下			
粗骨材の種類	■砂利	■砕石	□人工	■最大寸法25mm以下			
水の区分	■水道水	□地下水	□工業用水				
混和材料の種類	■A E減水剤	□高性能A E減水剤	□				

*1 コンクリートの構造体強度補正值 (mSn) は、調査強度を定めるための基準とする材齢 (n日) における標準養生供試体の圧縮強度と、構造体コンクリート強度を設計基準強度以上とする材齢 (n日) におけるコア圧縮強度との差に関する補正值である。

セメントの種類	m日	n日	コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温(θ)とmSn θの範囲(°C)	mSn (N/mm ²)
普通ポルトランド・混合A種	28	91	8 ≤ θ	3
			0 ≤ θ < 8	6

[注] 暑中期における構造体強度補正值 δ_熱 は 6N/mm とする。

種類	径	使用箇所	継手工法	
			種別	備考
異形鉄筋	■SD295	D16以下	図示による	■重ね継手
	□SD295B			
	■SD345	D19		■ガス圧接継手
	□			
丸 鋼	□SR235			□特殊継手 ()
	□SWM-P □SWM-C	5.0, 6.0		
溶接金網 (JIS G 3551)	□SWM-R □SWM-I	CD5, CD6		

種類	使用箇所	現場溶接	備考
■SS400	形鋼・鋼板・ブレース	板材・ブレース	無 JISG3101
■STKR400	角形鋼管	梁・柱	無 JISG3446
■SWH400L	リップH形鋼	柱	無 JISG3353
■SNR400B	ブレース	ブレース	無 JISG1338
■STKN400W又は400B	ブレース	ブレース	無 JISG3475
■SSC400	軽量形鋼	梁・柱	無 JISG3350
■SN400B	ブレース	ブレース	無 JISG1336
□SN490B	ベースプレート	板材	無 JISG1336

- (4) ボルト ○使用箇所の詳細については別途図示とする。
- 高力ボルト (ボルト孔径はボルト軸径+2.0mmとする)
□F8T □S10T □認定品 □M16 □M20 □M22)
- 高力ボルトすべり係数試験 □要 □否
高力ボルト導入張力確認試験 □要 □否
- 普通ボルト<強度区分は別図による> (ボルト孔径はボルト軸径+1.0mmとする)
□M10 ■M12 ■M16 □M20
- アンカーボルト (ボルト孔径はボルト軸径+5.0mmとする)
□SS400又はSNR400B M () L = (mm) ダブルナット
■SNR490B M (16) L = (500 mm) ダブルナット
□SNR490B M () L = (mm) ダブルナット
□SNR490B M () L = (mm) ダブルナット

- (5) 屋根、床
□ALC板 厚 H=90 厚 □0.6 ■0.8
■折版 H=90 厚 □0.6 ■0.8
□デッキプレート 型式V50 厚 □1.2 □1.6 仕上げ □素地 □亜鉛めっき
□床パネル □H117 □H90
□
□

3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画
■有() ■敷地内 □近隣 □無 (調査計画 □有 □無)

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験掘(支持層の確認)			平板載荷試験			液状化判定	○	
スウェーデン式サウンディング(スクリーントライト貫入試験)			現場透水試験	○		PS検査		

- 注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。
- (2) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

深度	土質	N値	標準貫入試験						調査地盤
			10	20	30	40	50	60	
									○調査地盤
									○位置図
									○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
									○孔内水位 G L - m
									○近隣データの調査地盤と設計地盤とは約 mの距離がある
									○備考

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
■ベタ基礎 □布基礎 □独立基礎 試験堀 □有 □無
深さG L - m 支持層
長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □有 □無
- (2) 杭基礎 支持層—

杭種	材 料	施工法	備考
□RC □PRC	PRC (□I 種 □II 種 □III 種)	□打ち込み	
□PHC □H鋼	PHC (□A 種 □B 種 □C 種)	□埋込み(セメントミルク工法)	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □STKR400	□DM工法	規定第 号
□SC杭		□	年 月 日

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
試験杭 (□有 □無) (□打ち込み □載荷 □孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

- (3) 地盤改良
□砕石パイル 設計径φ L = m (基礎下)
設計基準強度 F_c = kN/m²
固化材添加量 kg/m³ (六価クロム低減型)
□土間コンクリート下地盤改良 厚さ
固化材添加量 kg/m³

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様書はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が36N/mm²以下に適用する。

- (1) コンクリート
■コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きJASS5 (2018年度版) による。
■耐久設計基準強度 ■短期 □標準 □長期 □超長期
■セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は、JASS5T-603Iによることとし、供試体は標準養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。標準養生供試体の代わりに現場水中養生供試体に、コア供試体の代わりに現場封かん養生供試体によることできる。
また、打ち込み量が150m をこえる場合は、150m ごとまたは、その端ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
■コンクリート打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにし、かつ、乾燥、震動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生しなければならない。ただし、コンクリート凝結及び硬化を促進するための特別な措置を講ずる場合においては、この限りでない。

- (2) 鉄筋
■鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は標準図に記載されている事項を除き、JASS5 (2018年度版) による。
■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
■D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
□ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所程度)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。 □無
外観検査 □有 □無、引張試験 □有 □無、超音波探傷試験 □有
検査方法
・外観検査
検査対象は、全圧接部とする。
・引張試験
試験片の採取数は1ロットに対して3本とする。
試験片を採取した箇所は、同種の鉄筋を圧接して継ぎ足す。ただし、D25以下の場合は工事監理者の承諾を受けて、重ね継ぎ手とすることができる。
・超音波探傷試験
試験の箇所数は1ロットに対し30箇所とし、ロットから無造作に抜き取る。

- 柱の帯筋 (H O O P) の加工方法は、□H型 (タガ型) □W型 (溶接型) □S型 (スパイラル型) とする。
■コンクリート及び鉄筋の試験は第三者試験機関で行うこと。
試験機関名 工事監理者の指示による。
代行業者名 工事監理者の指示による。
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

- (3) 型枠
■材料 合板厚 12mmを標準とする。
□施工 JASS5による。
■型枠存置期間

コンクリートの圧縮強度	コンクリートの温度	2	3	5	8
15℃以上					
5℃~15℃					
5℃未満					
コンクリートの圧縮強度		5.0 N/mm ²			

注) 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 工事監理者の承認を必要とするもの
□製作工場 □製作要領書 □工作図 □施工計画書
□認定または登録工場 (大臣認定 R グレード) 都登録
□材料規格証明書または試験成績書
□鋼材 □高力ボルト □
□社内検査表 □ □
(2) 工事監理者が行う検査項目
(□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
□製品検査 □ □
□建方検査 □ □
(3) 接合部の溶接は下記によること
■日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
□日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、IX、X、Y、Z」
□東京都アーク溶接工事管理基準 (建築構造設計指針第12章)
□鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)

(4) 接合部の検査
■溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社内	第三者	工事監理者	
■すみ肉溶接部	外観検査 (※)	100%	0%	0%	※平成12年建設省告示第1464号第二号による (目視及び計測)
□	外観検査 (※)	% 個	% 個	% 個	
第三者検査機関名		(知事登録 号)			

第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場予測値については原則として第三者検査機関による金査検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2) 知事が定めた事欠な不具合が発生した場合は、発注前に対応策を提案し事業者に報告すること

- 硬さ試験 □示温塗料
□高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。
(5) 防錆塗装
□錆止めペイント (JIS K5674 1種 2回塗り)
■粉体塗装 (メーカー仕様)
□錆止め上塗り兼用 合成樹脂調合ペイント (2回塗り) ※JIS K5674 1種相当
□浸透性変性エポキシ樹脂下塗塗料 (1回塗り) ※塩害地域
□耐融圧鉛めっき塗装 ※塩害地域

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
□設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
□床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
■建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
□屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□煙突の屋上突出の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
□給湯設備にあっては、平成12年建設省告示第1388号第5により、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
□法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
■構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状並びに手すり等は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
□各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
□

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	構造設計特記仕様		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	S-01
事業者	九戸村		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 C...中心線 ?...部材間の内法距離 h...部材間の内法高さ
 S.T...あばら筋 H.O.O.P...帯筋 S.H.O.O.P...補強帯筋 φ...直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形形状のキャップタイのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法(R)
	帯あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295 SD295B、SD345	16φ D16以下	3d以上
	上記以外の鉄	SR235、SD295 SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	4d以上 6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	直線定着の長さL2		フック付き定着の長さL2h	
	SD295 SD295B	SD345	SD295 SD295B	SD345
18	40d	40d	30d	30d
21	35d	35d	25d	25d
24~27	30d	35d	20d	25d

下端筋の定着の長さ

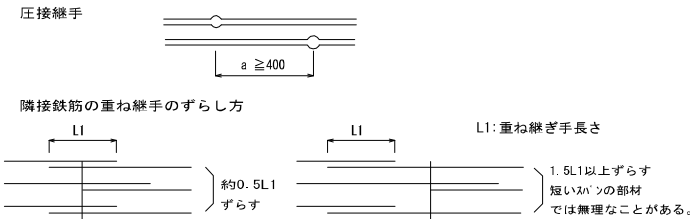
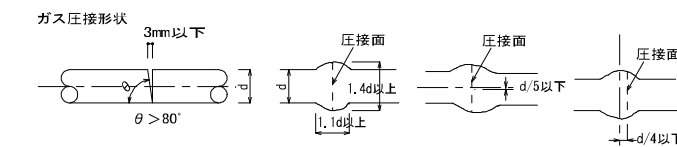
コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	鉄筋の種類	直線定着の長さL3		フック付き定着の長さL3h	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
18~60	SD295 SD295B SD345	20d	10dかつ 150mm以上	SD295 SD295B SD345	10d

異形鉄筋の重ね継手の長さ

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	直線定着の長さL1		フック付き定着の長さL1h	
	SD295 SD295B	SD345	SD295 SD295B	SD345
18	45d	50d	35d	35d
21	40d	45d	30d	30d
24~27	35d	40d	25d	30d

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の重ね継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

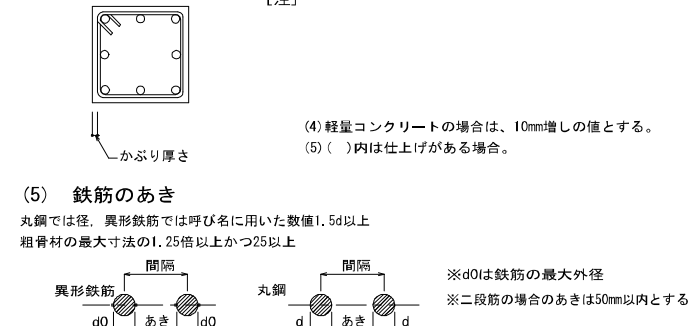


(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ	30	20
床スラブ	40	30 (20)
非耐力壁	40	30
柱	40	30
耐力壁	50	40 (30)
壁	50	40 ^d
柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 ^e
基礎・擁壁 (立上り部は除く)	70	60

※検査においては最小かぶり厚さを確認すること。

【注】
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) ()内は仕上げがある場合。

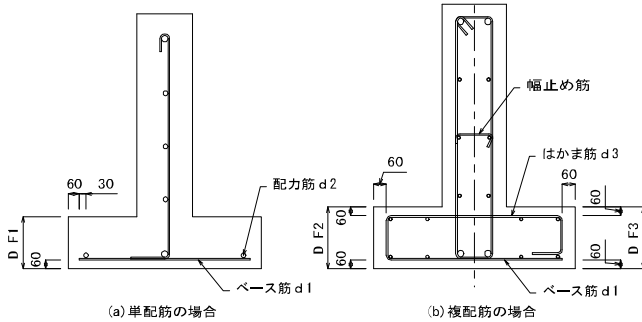


(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける)

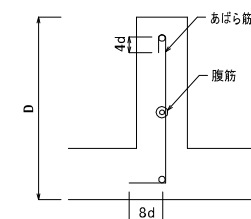
- 丸鋼
- あばら筋
- 帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱・梁 (基礎梁は除く) の出ずみ部分の鉄筋
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 基礎

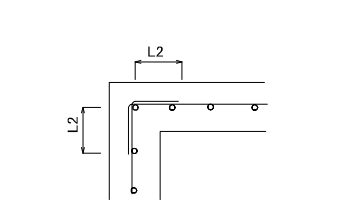
(1) 布基礎の形状及び配筋



(2) あばら筋の型



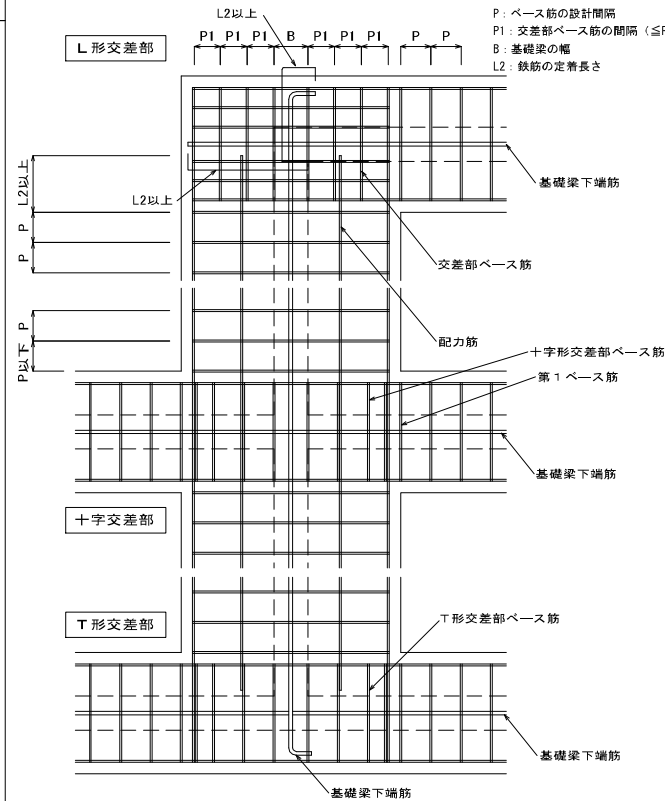
(3) L型交差部の主筋 (上端) の定着



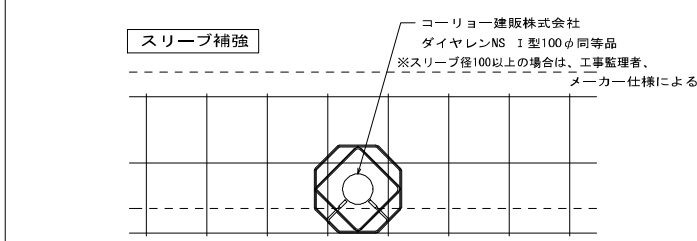
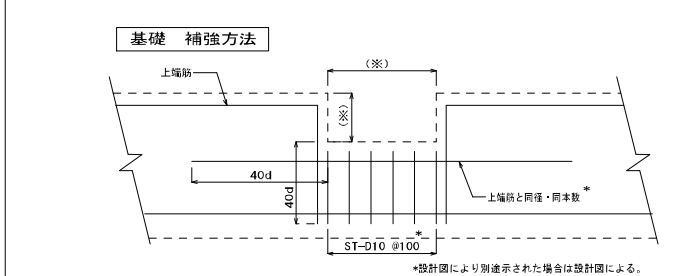
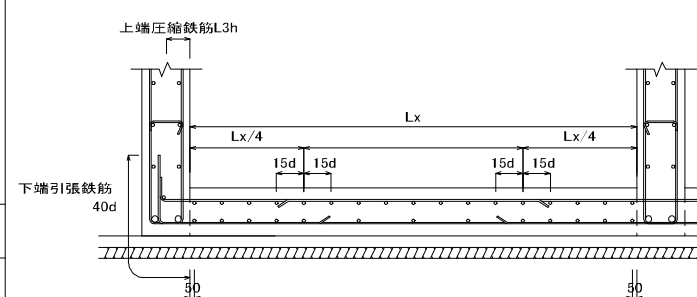
(4) 腹筋の本数

腹筋	D < 600	600 ≤ D < 900	900 ≤ D < 1200	1200 ≤ D
必要	不要	1-D10 1段	2-D10 2段	D10を@300以内

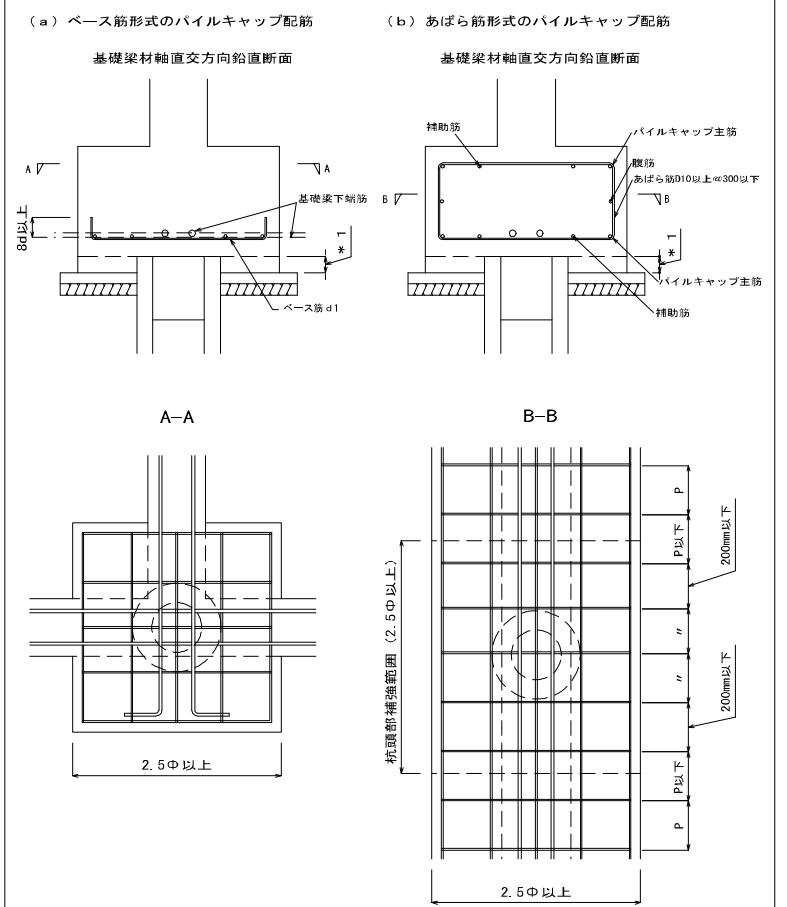
(5) 布基礎交差部の配筋 (平面)



(6) べた基礎



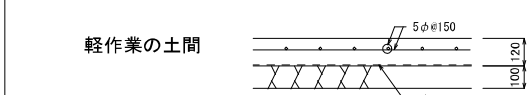
(7) パイルキャップの配筋



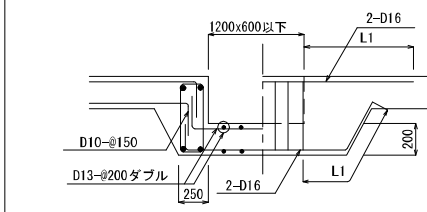
- * 1 △杭のみ込長さは設計図書による
 p: あばら筋の設計間隔 (300mm以下)
 φ: 杭直径

5. 床板

(1) 土間コンクリート



(2) 釜場



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	S-02
事業者	九戸村		

鉄骨構造標準図

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- 構造設計仕様による
- 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 作業一般

- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- 鋼管部材の分岐継ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 溶接接合

- 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適合するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

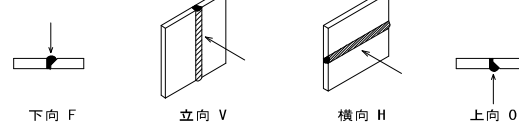
(b) 溶接機器

- 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- アークエアーガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器

(c) 溶接方法

- アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアーガウジング (AAG)

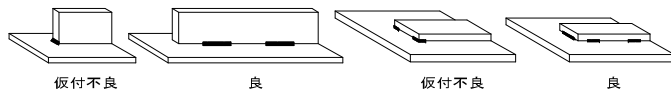
(d) 溶接姿勢



- 組立て溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う

(イ) 仮付位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



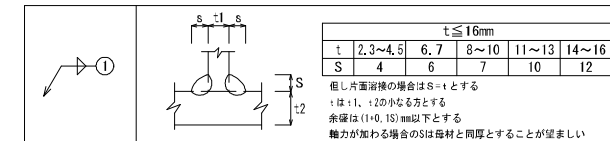
(4) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

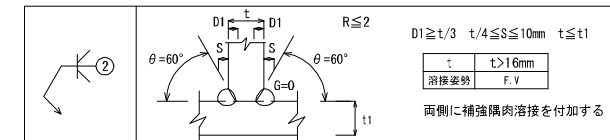
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

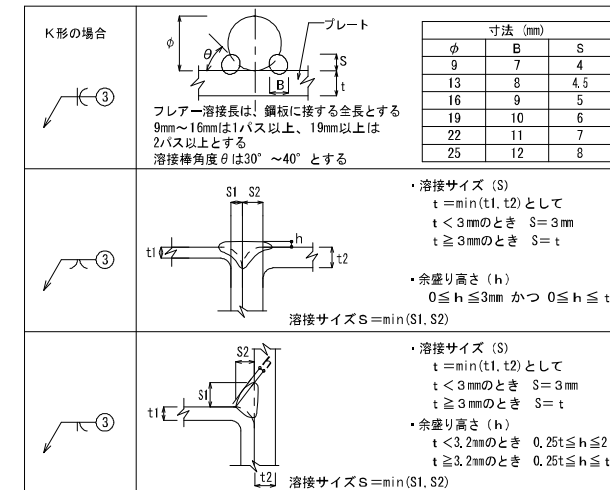
(1) 隅肉溶接



(2) 部分溶込み溶接(使用箇所注意)



(3) フレア溶接

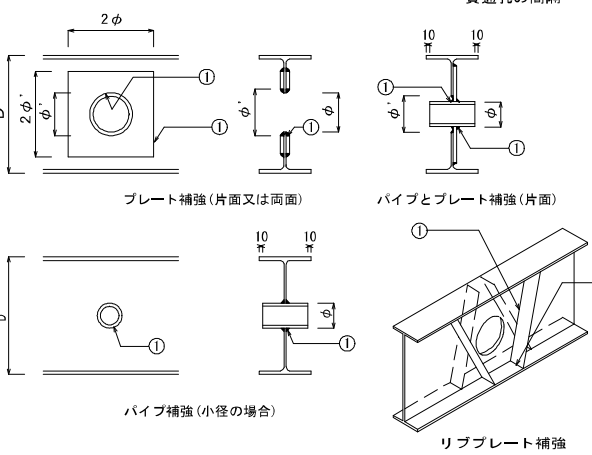


3. その他

(1) 梁貫通補強

計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
梁端部(スパンのL/10以下かつ2D以内)は避ける。

φ ≤ 0.4D
φ は補強板の穴径を示す。(φ ≥ φ + 2s, s: 隅肉サイズ)



スリプ径	補強板
φ ≤ 0.15D	補強板不要
φ ≤ D/4	Web板厚以上 (片面)
φ ≤ D/3	Web板厚 × 1.2倍以上 (片面)
φ ≤ 0.4D	Web板厚以上 (両面)

(2) 建築用ターンバックル筋かい (JIS A5540, JIS A5541, JIS A5542)

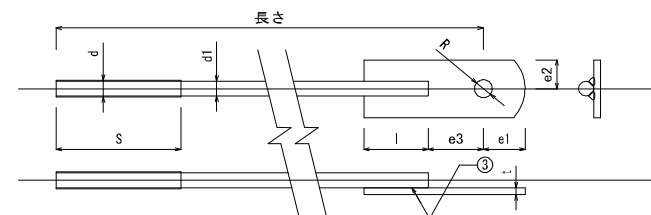
(単位mm)							
ねじの呼び d	M12	M14	M16	M18	M20	M22	
軸径 d	最大	10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33
	最小	10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07
調節ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165
許容差 +25, -8							
取付ボルト孔径	R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	21.5
許容差 +0, -0.5							
端あき	e1	40	40	45	50	50	55
許容差 +5, -0							
切板製	へりあき	28	28	28	34	34	38
	許容差 +10, -0						
平鋼製	へりあき	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5
	許容差 +10, -0						
ボルト端から取付けボルト孔心のあき(最小)	e2	52	52	59	66	66	73
	溶接長さ	l	40	50	55	60	75
許容差 +10, -0							
取付けボルト	種類	JIS B1180 普通ボルト	JIS B1180 普通ボルト	JIS B1180 普通ボルト	JIS B1180 普通ボルト	JIS B1180 普通ボルト	JIS B1180 普通ボルト
	ねじの呼び	M16	M16	M16	M20	M20	M22
本数	1	1	1	1	1	1	

[注] (1) e1, e2が確保されれば形状は自由でよい

(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(3) 高力ボルトの締め付けは一次締め程度とする

一次締め付けトルク値 (単位: N・m)	
ボルトの呼び径	一次締め付けトルク値
M16	約 100
M20	約 150
M22	約 150



(3) デッキプレート

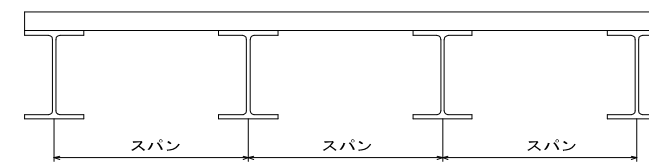
1. 材料(デッキプレート) JIS G3352

商品記号	<input type="checkbox"/> V50
板厚	<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6
亜鉛メッキ	<input type="checkbox"/> Z 12 <input type="checkbox"/> Z 27
材質	<input type="checkbox"/> SDP1TG <input type="checkbox"/> その他 ()

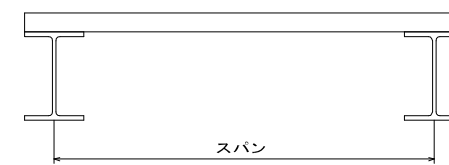
2. 梁間隔(スパン)

単位mm		
板厚	支持条件	梁間隔(スパン)
1.2	<input type="checkbox"/> 連続支持	3,000以下
	<input type="checkbox"/> 単純支持	2,600以下
1.6	<input type="checkbox"/> 連続支持	3,000以下
	<input type="checkbox"/> 単純支持	2,600以下

連続支持



単純支持



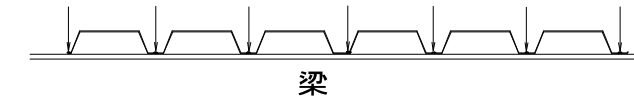
3. 梁との接合

<input type="checkbox"/> アークスポット溶接	ずれ防止措置 ※「デッキプレート床構造設計・施工基準-2018」 第三編の規定に準拠
<input type="checkbox"/> タッピングビス(φ6mm以上x720mm以上)	梁フランジが6mm以下の場合

- デッキの設計かかり代は長手方向で50mm以上、幅方向で30mm以上とする。
- ※施工管理値としての許容差は設計かかり代の1/10とする

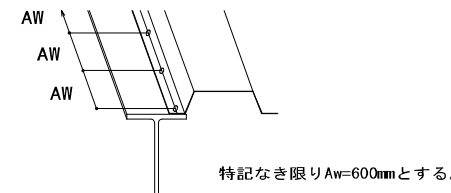
接合箇所

1) デッキ幅方向接合部



- 接合部に作用する荷重に応じて接合箇所の個数を決定すること。

2) デッキスパン方向接合部



4. 水平剛性確保に関して

平面剛性を確保する上で、簡易な場合を除きデッキプレートだけでは確保出来ない。
必要に応じた水平ブレースを配置すること。

5. 設計に関して

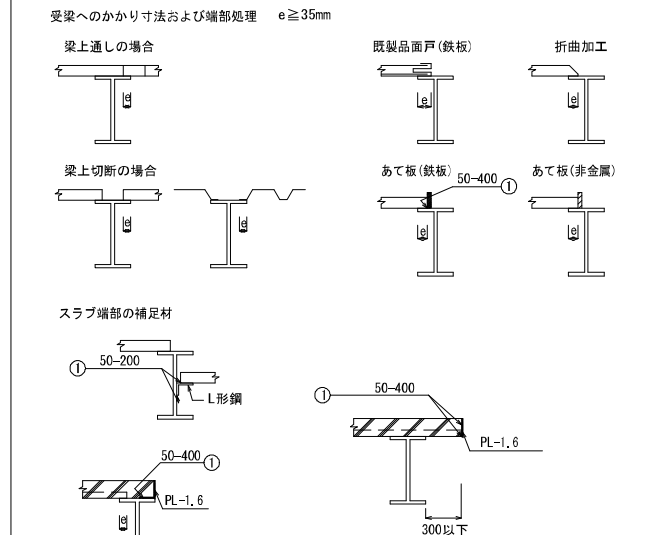
(SDP1TG: Fy=205N/mm²)

1) √50 t=1.2mm 断面性能 Ix (cm ⁴ /m)	Zx (cm ³ /m)	単位重量 (kg/m ²)
	60.5	16.0 (正曲げ) 13.6 (Z12) 17.6 (負曲げ)
2) √50 t=1.6mm 断面性能 Ix (cm ⁴ /m)	Zx (cm ³ /m)	単位重量 (kg/m ²)
	78.5	21.6 (正曲げ) 17.9 (Z12) 22.9 (負曲げ)

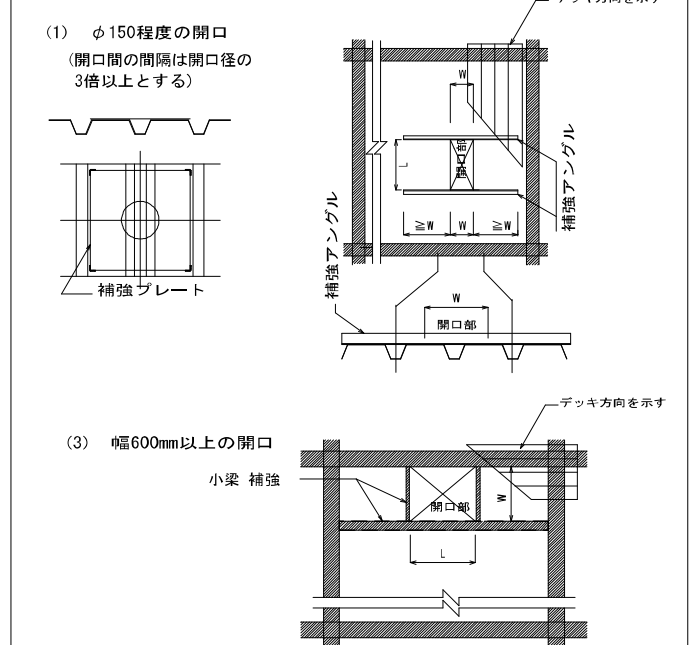
<注意事項>

- デッキプレート相互の接合は必要に応じてアーク溶接またはねじ止めを行なうこと。
尚デッキ表面を直接床とする場合には踏抜き対策として、最小限900mm以下を接合すること。
- デッキプレート長さ方向突合せ部等に生じる隙間が問題となる場合は、鋼材又は耐火テープ等により遮熱性を確保する。

6. 標準納まり



7. 開口部補強例

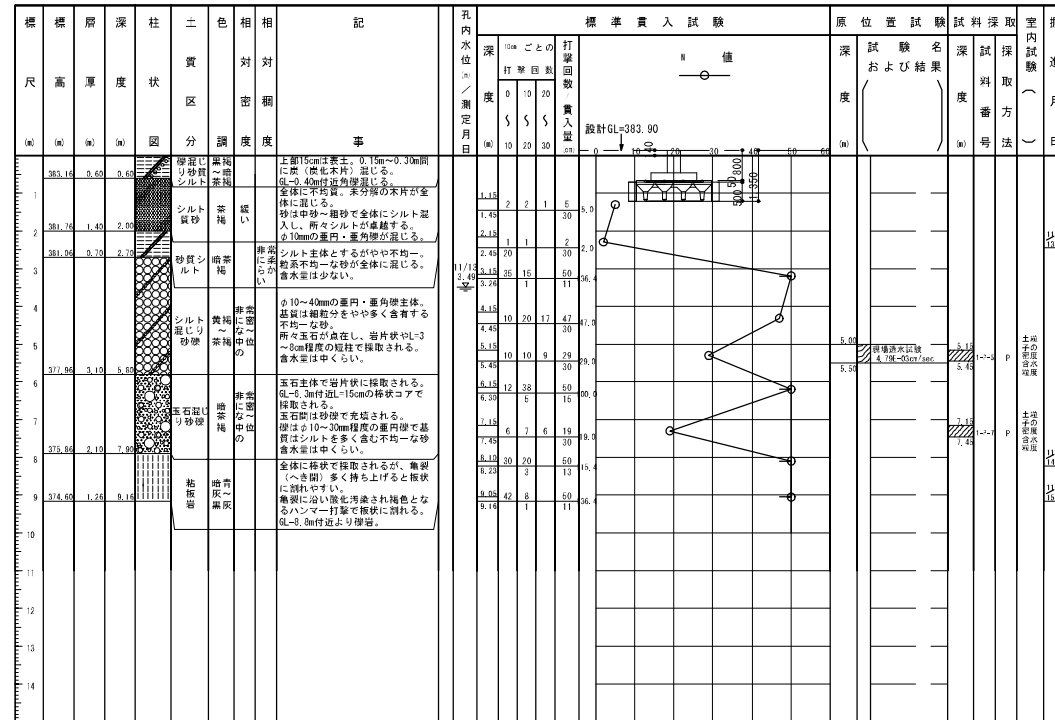


工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	鉄骨構造標準図		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	S-03
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 ポーリング柱状図, 調査位置図

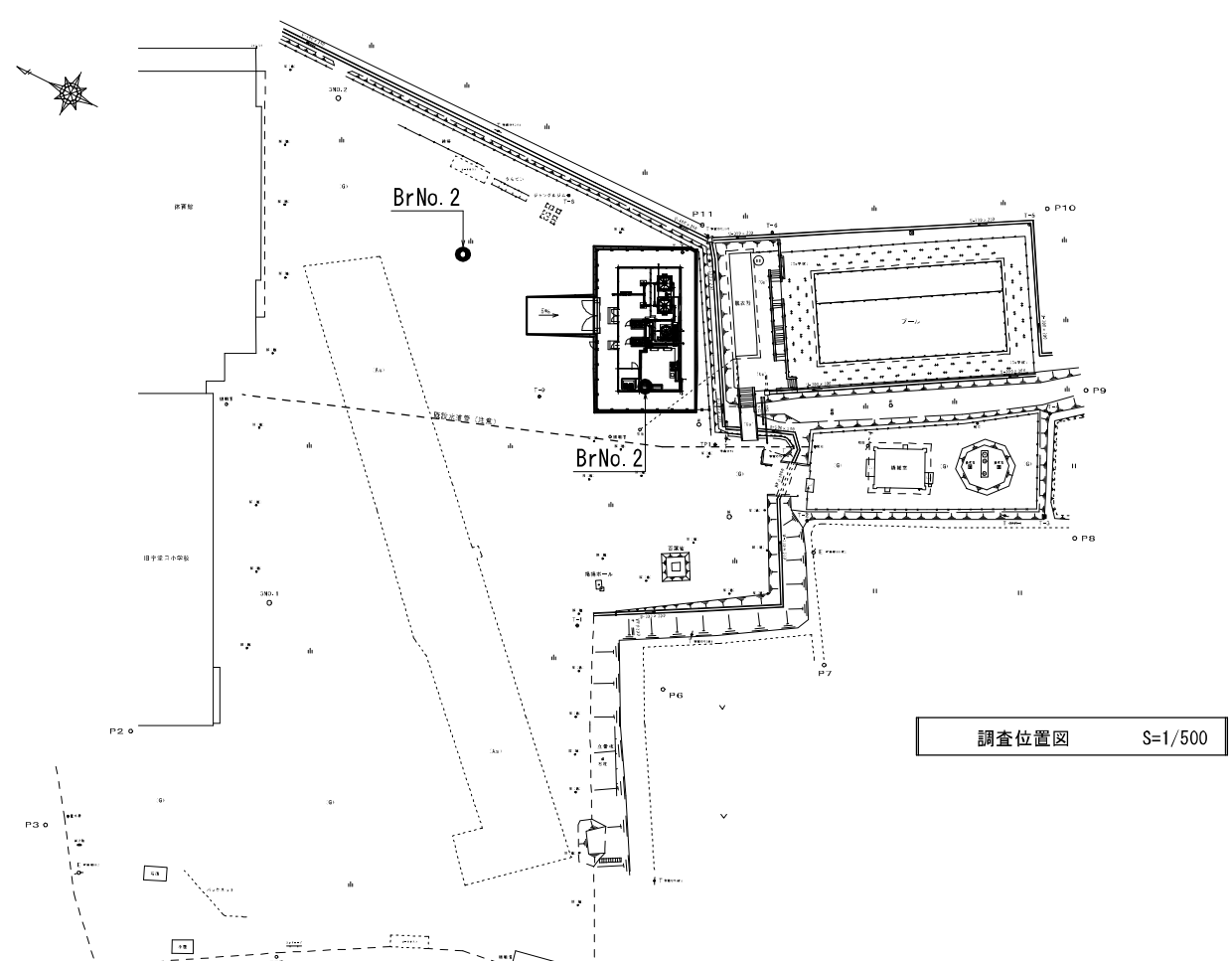
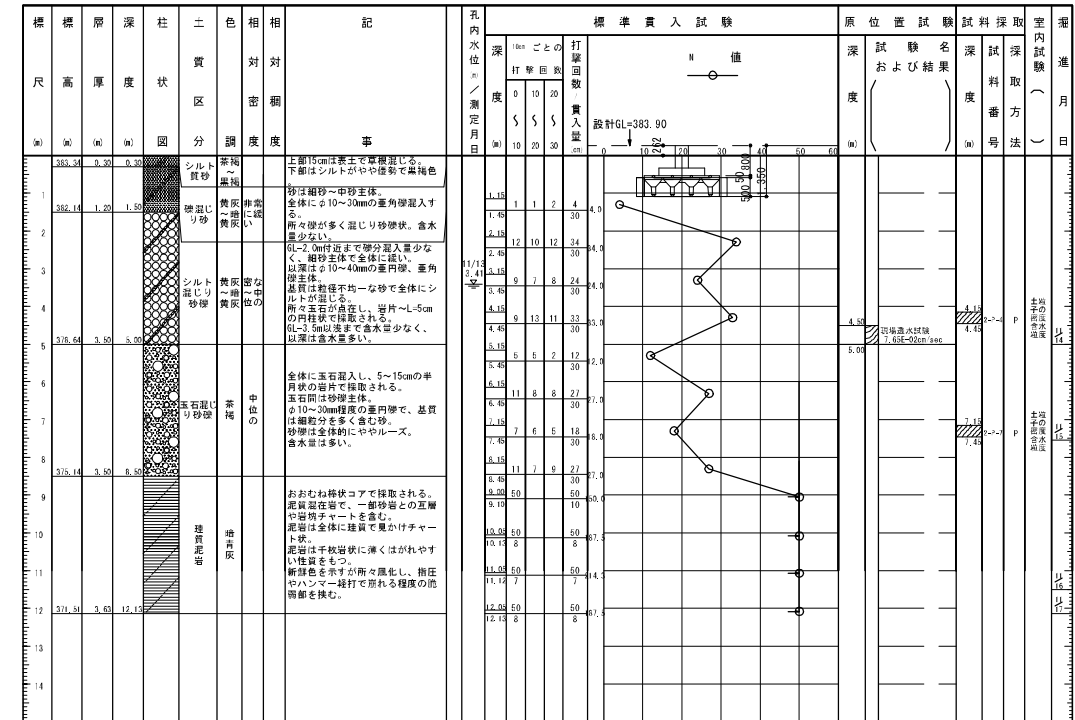
調査名：宇堂口浄水施設設計業務委託

ポーリング名	BrNo.1	調査位置	九戸郡九戸村戸田第3地割地内	北緯	40° 7' 10.1"
発注機関	九戸村役場		調査期間	5年11月13日～5年11月15日	
調査業者名	新日本設計株式会社 東北支社 電話 (019-631-1313)	主任技師	川底 将輝	現場代理人	コ ア 千田 崇男
ポーリング責任者	高橋 友和	試験機	KOKEN KT-100	ハンマー	落下用具
孔口標高	H +383.764m	角	150°	方	東
総掘進長	9.16m	地盤勾配	使用機	エンジン	YANMAR NFD9
			ポンプ	ポンプ	KOKEN KP-2C



調査名：宇堂口浄水施設設計業務委託

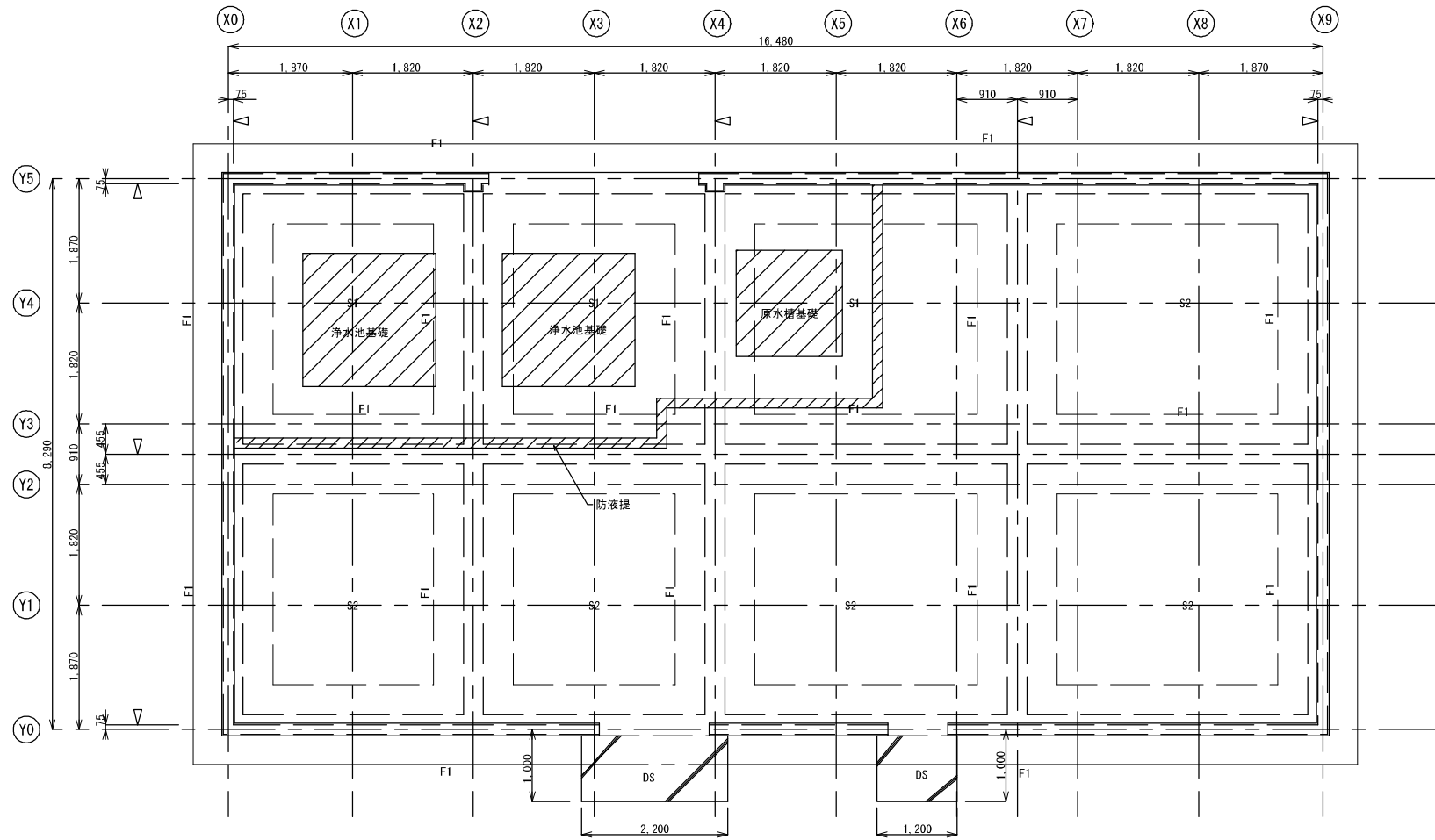
ポーリング名	BrNo.2	調査位置	九戸郡九戸村戸田第3地割地内	北緯	40° 7' 10.0"
発注機関	九戸村役場		調査期間	5年11月13日～5年11月17日	
調査業者名	新日本設計株式会社 東北支社 電話 (019-631-1313)	主任技師	川底 将輝	現場代理人	コ ア 千田 崇男
ポーリング責任者	小山 真人	試験機	KOKEN KT-100	ハンマー	落下用具
孔口標高	H +383.638m	角	150°	方	東
総掘進長	12.13m	地盤勾配	使用機	エンジン	YANMAR NFD12-D
			ポンプ	ポンプ	KOKEN KP-2C



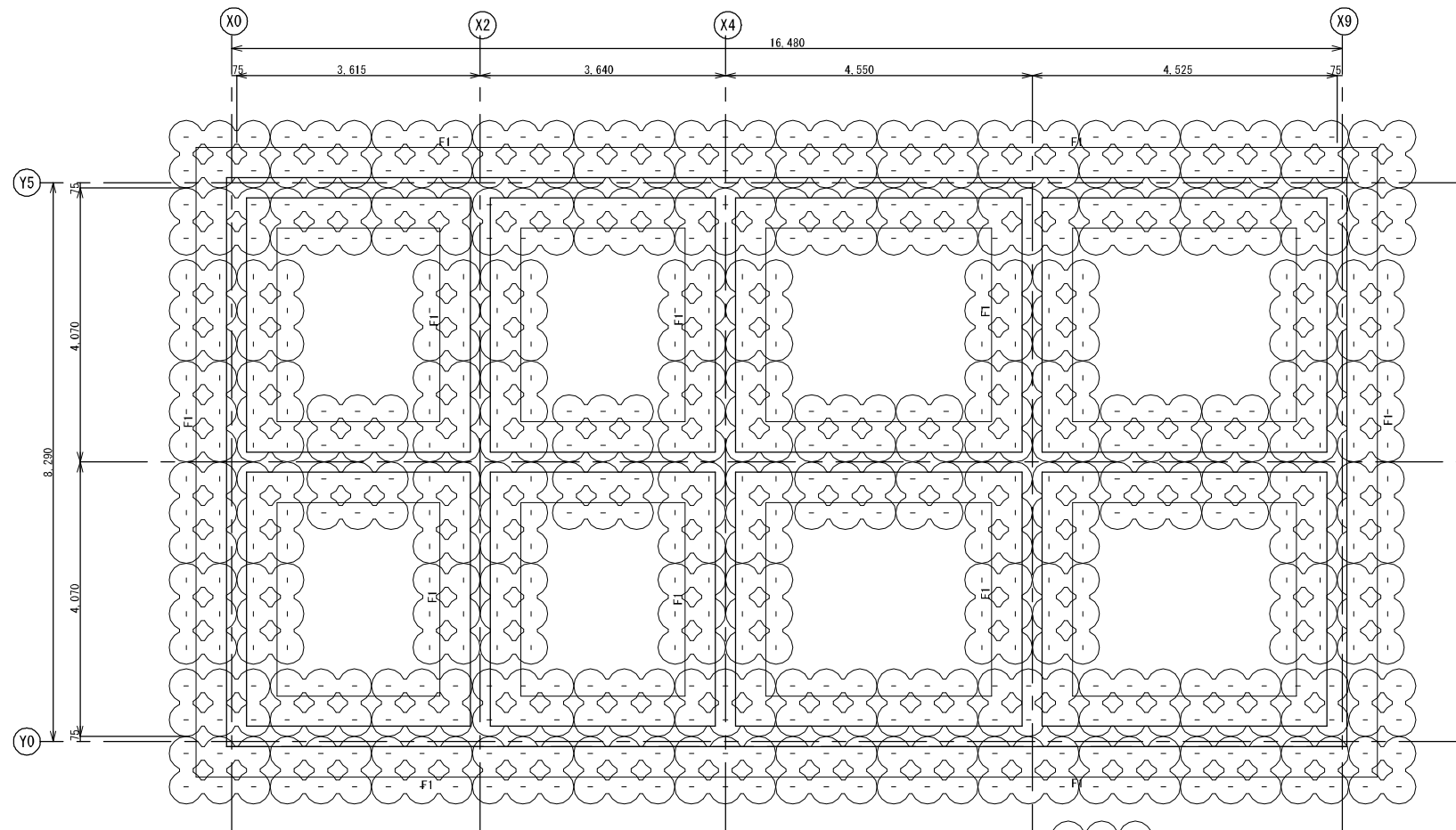
調査位置図 S=1/500

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 ポーリング柱状図, 調査位置図		
縮尺	S=1:500	図面番号	S-04
事業者	九戸村		

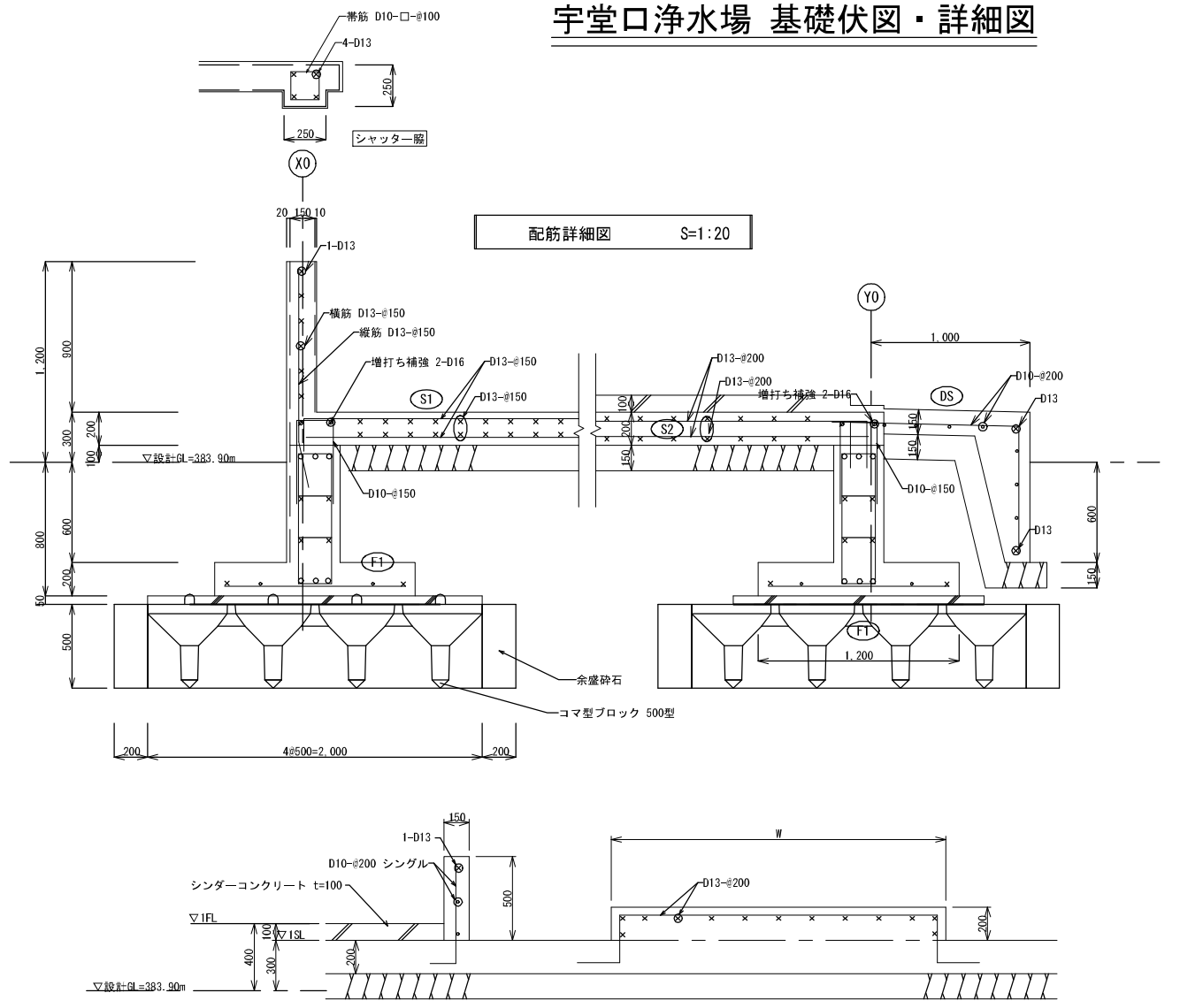
宇堂口浄水場 基礎伏図・詳細図



1階床梁伏図 S=1:50 特記無き限り (I) ◁ 布基礎芯を示す



基礎伏図 S=1:50 特記無き限り ◁ コマ型ブロック (500型) を示す



配筋詳細図 S=1:20



基礎リスト S=1:20	
符号	F1
位置	全断面
断面	
上端筋	3-D19
下端筋	3-D19
STP	D10-□-@150
腹筋	4-D13
備考	幅止の筋: D10-@1000

床版リスト					
符号	版厚		位置	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配力筋)
	基礎	先壁			
S1	200		上端筋	D13-@150	D13-@150
			下端筋	D13-@150	D13-@150
S2	200		上端筋	D13-@200	D13-@200
			下端筋	D13-@200	D13-@200
DS	150		シングル	D10-@200	D10-@200

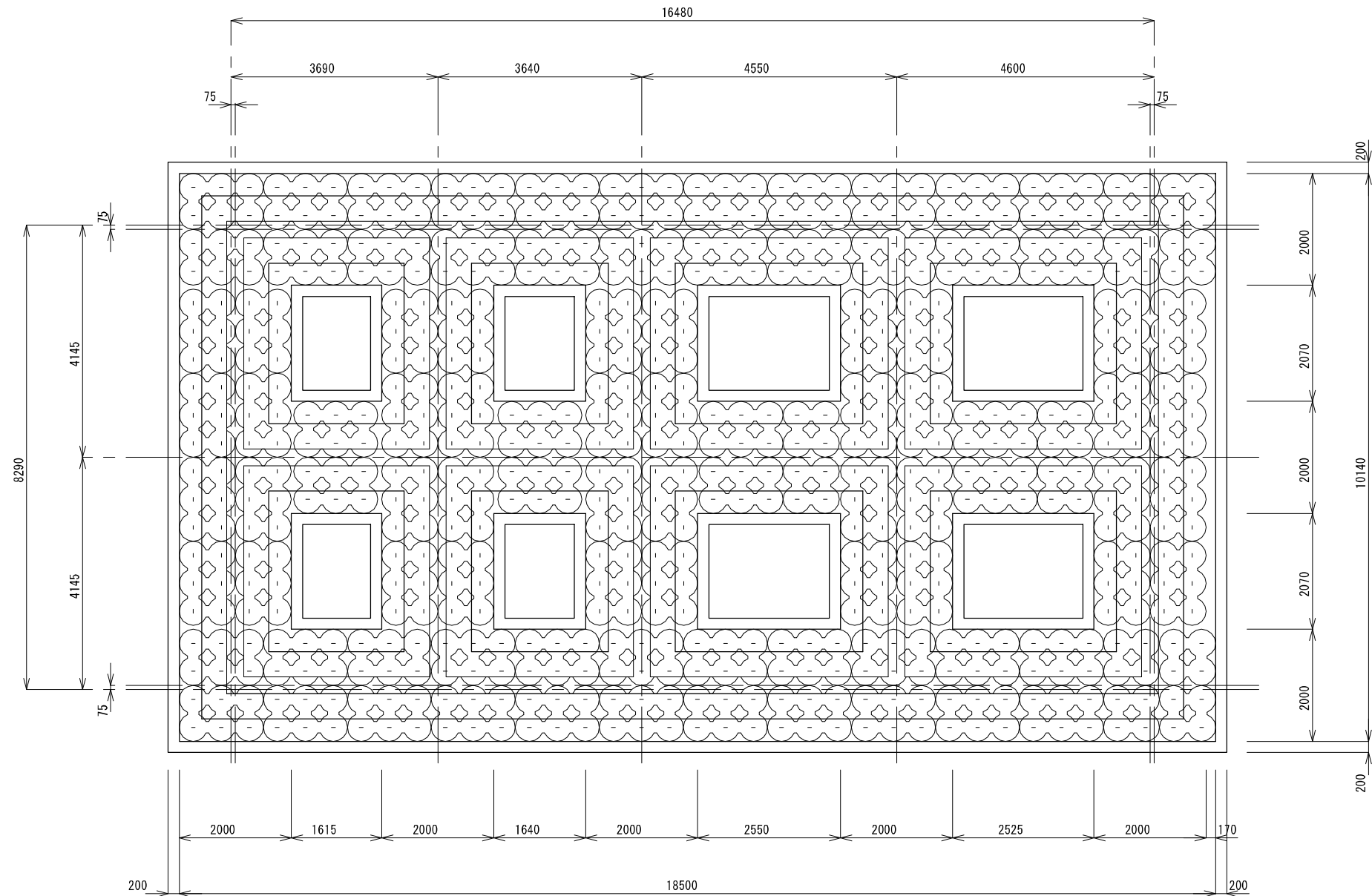
使用材料		
コンクリート	躯体	設計基準強度 24N/mm ²
	捨てコン	設計基準強度 18N/mm ²
鉄筋	SD295	D10~D16 (重ね継手)
	SD345	D19以上 (圧接)

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 基礎伏図・詳細図		
縮尺	S=1:50, 1:20	図面番号	S-05
事業者	九戸村		

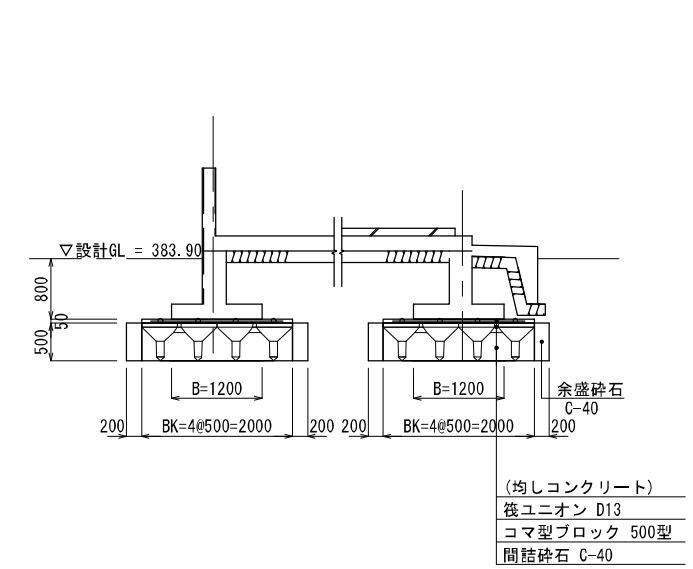
宇堂口浄水場 地盤改良図

S=1:50

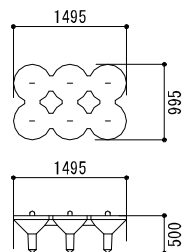
割付図



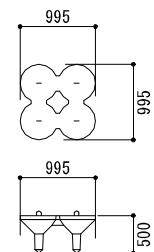
断面図



名称 マイ独楽 (コマ型ブロック)
規格 連結500型 2×3 (6連)
参考質量=394 (kg) S=1:50

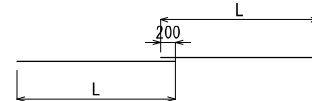


名称 マイ独楽 (コマ型ブロック)
規格 連結500型 2×2 (4連)
参考質量=261 (kg) S=1:50



筏ユニオン (D13) 構造図 S=1:50

- ※1 筏ユニオンの配置はコマ型ブロック上部のフック筋に縦横方向に結束すること。
- ※2 筏ユニオンの重ね継手長は20cm以上とすること。
- ※3 筏ユニオンの寸法加工は現場合わせとすること。



マイ独楽500型数量表 (個)

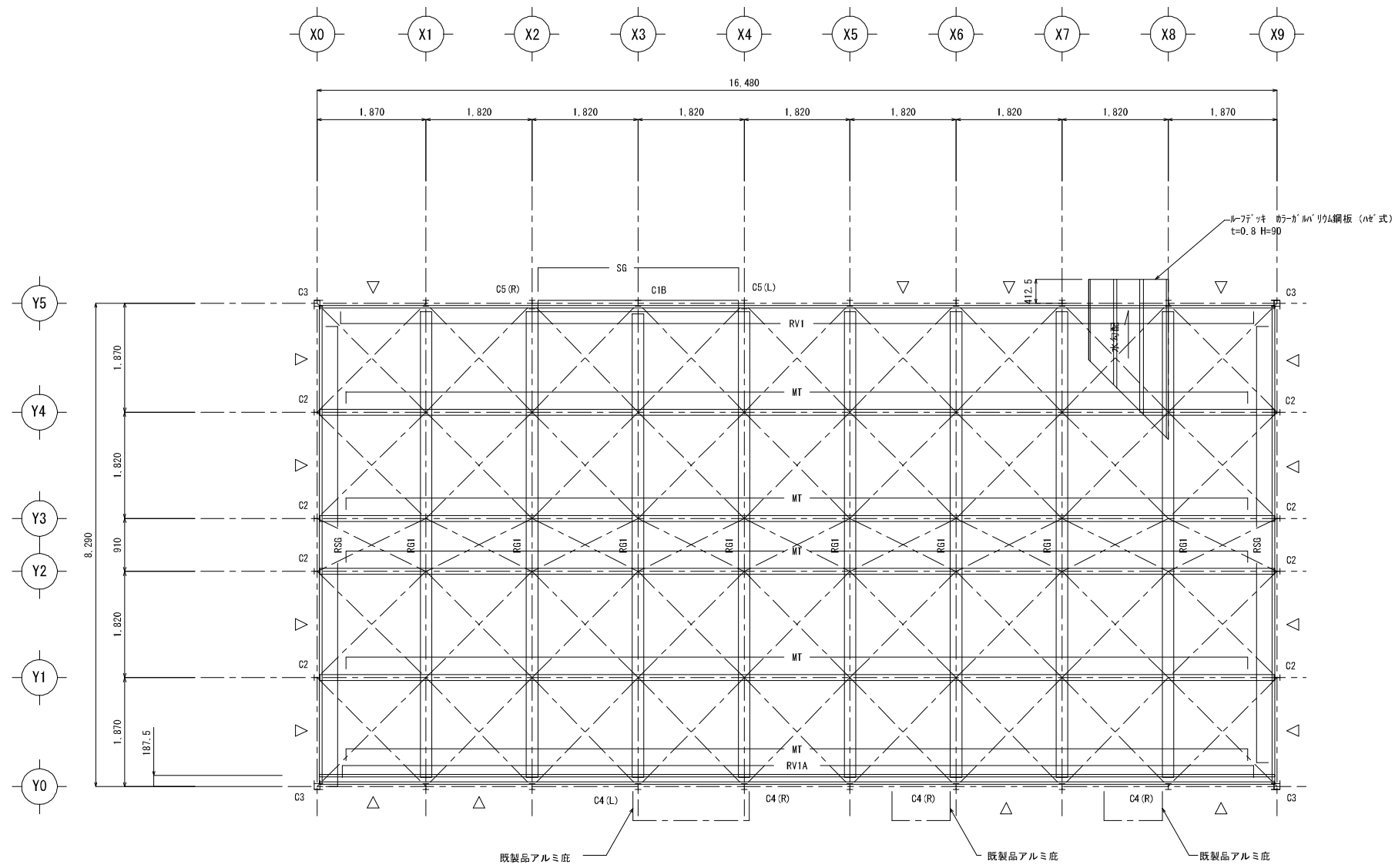
種別	名称	布基礎
500型	6連	92
500型	4連	12
D13		612.40m

重ね継手長除き

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 地盤改良図		
縮尺	S=1:50	図面番号	S-06
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 小屋伏図

S=1:50



小屋伏図 S=1:50

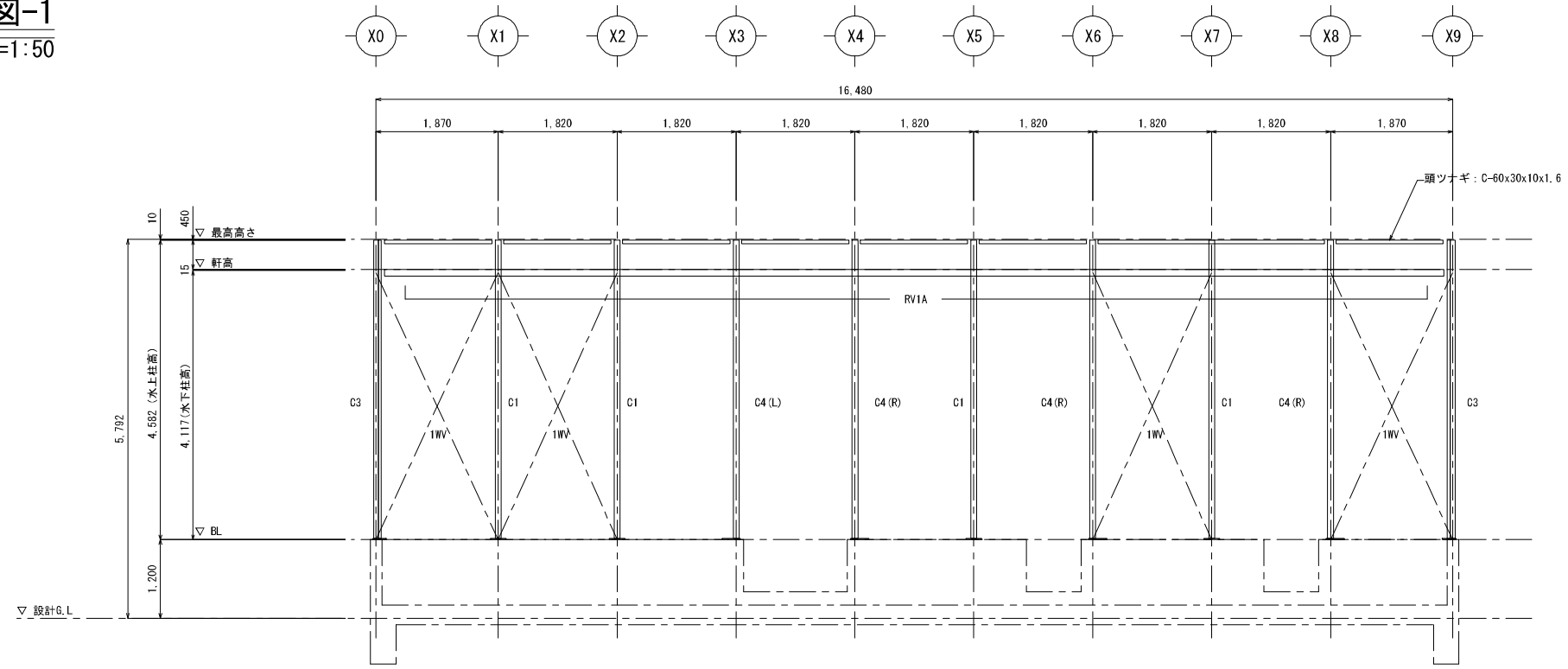
特記事項

- ・特記なき柱は、C1 を示す。
- ・▽印は、鉛直ブレース1WV を示す。
- ・特記なき水平ブレースはRVを示す。

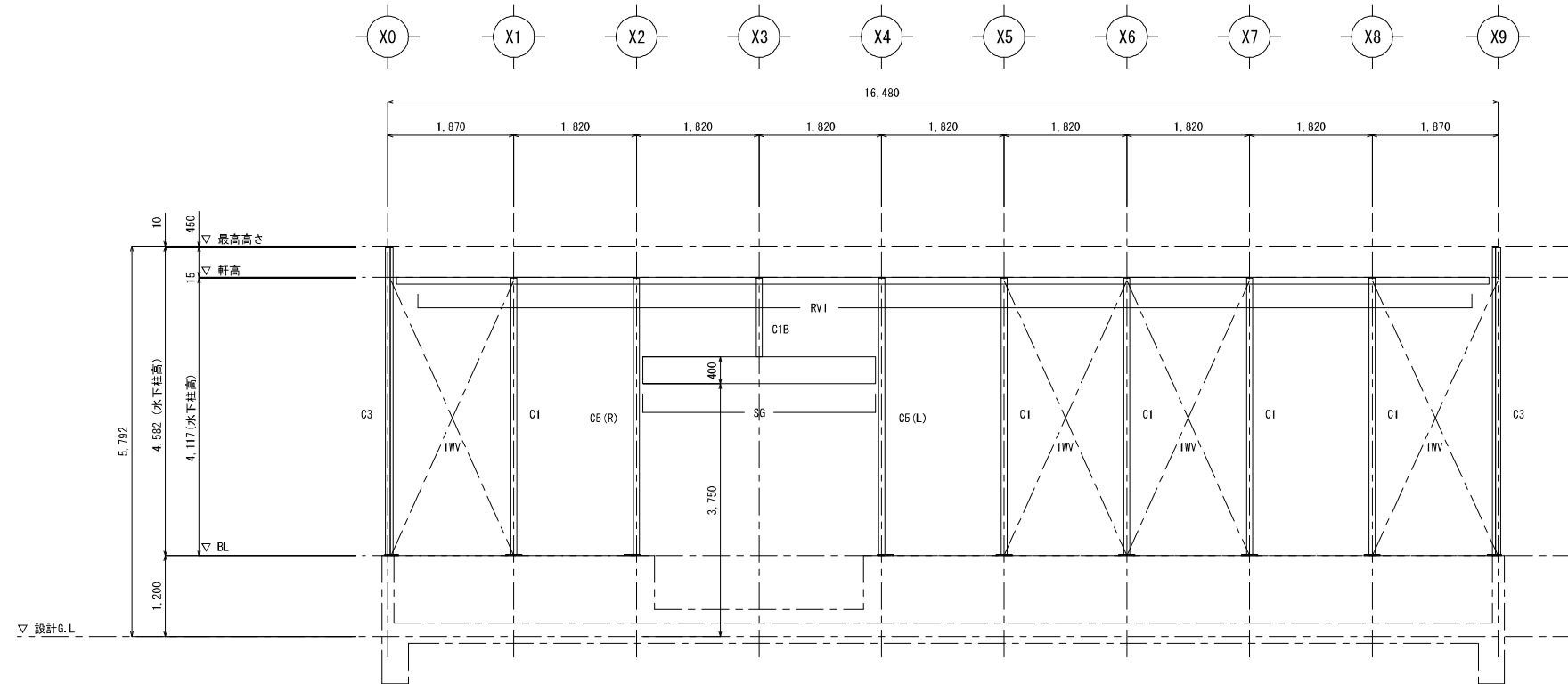
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 小屋伏図		
縮尺	S=1:50	図面番号	S-07
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 軸組図-1

S=1:50



Y0 通 軸組図 S=1:50

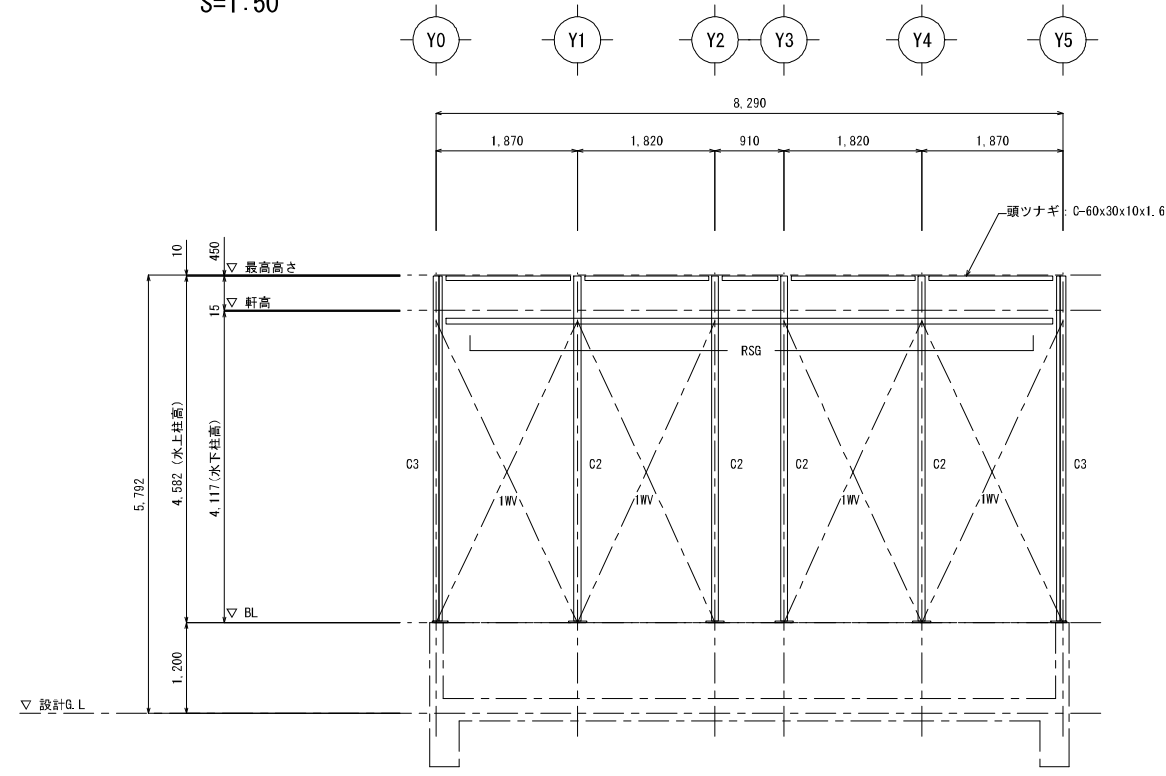


Y5 通 軸組図 S=1:50

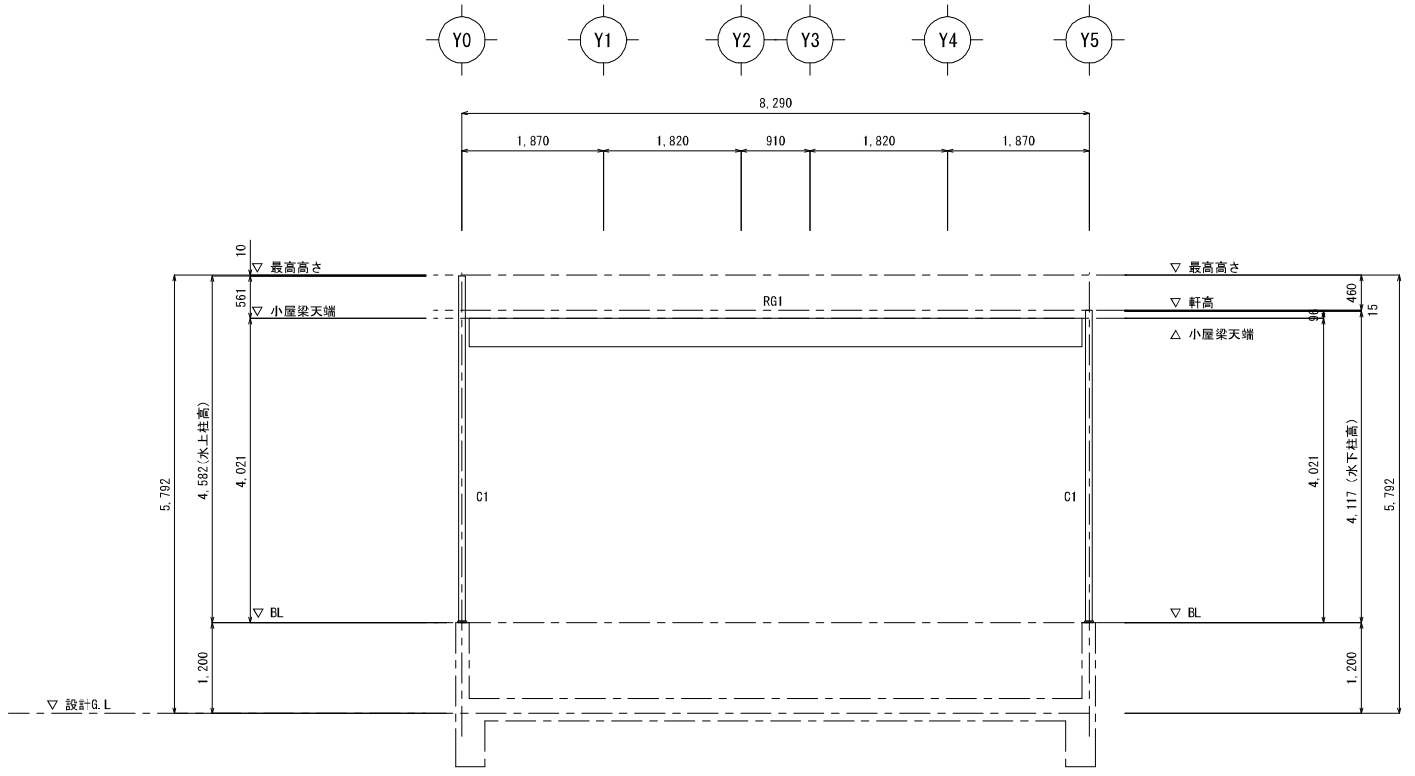
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 軸組図-1		
縮尺	S=1:50	図面番号	S-08
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 軸組図-2

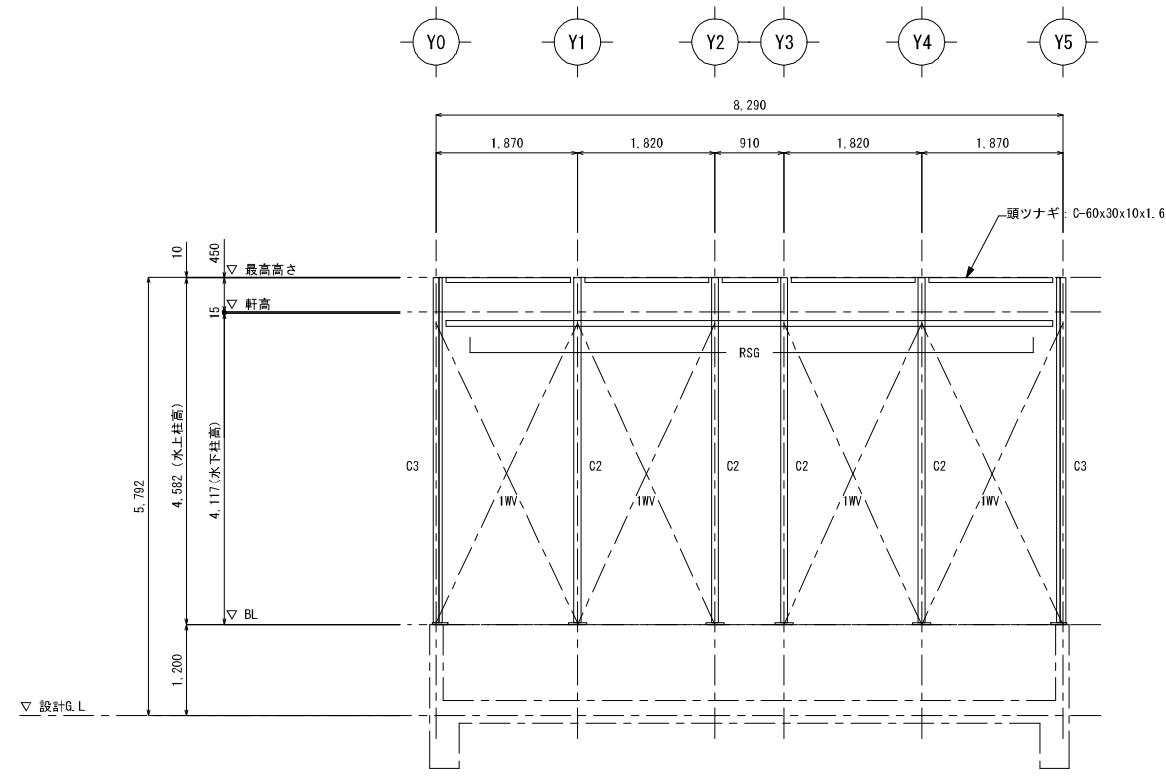
S=1:50



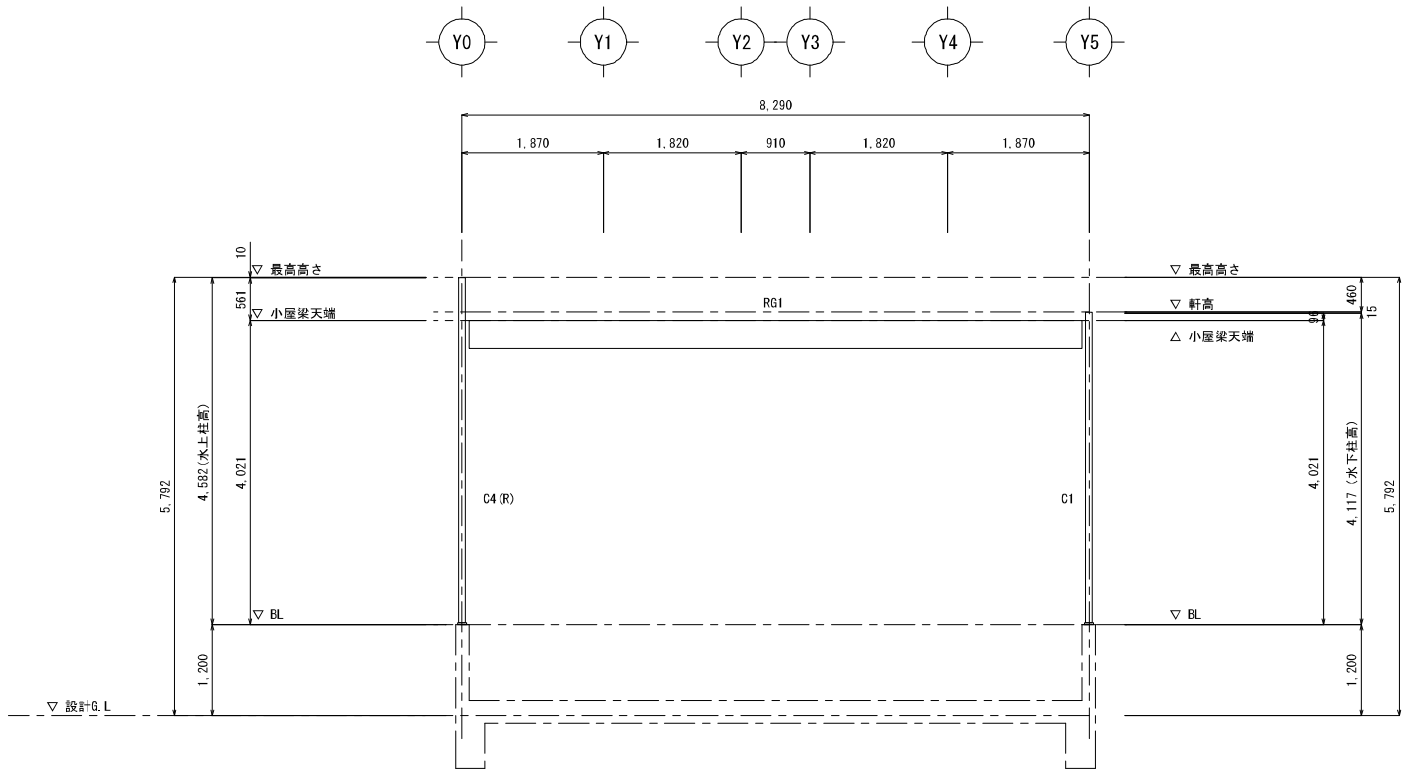
X0 通 軸組図 S=1:50



X1, X5, X7 通 軸組図 S=1:50



X9 通 軸組図 S=1:50

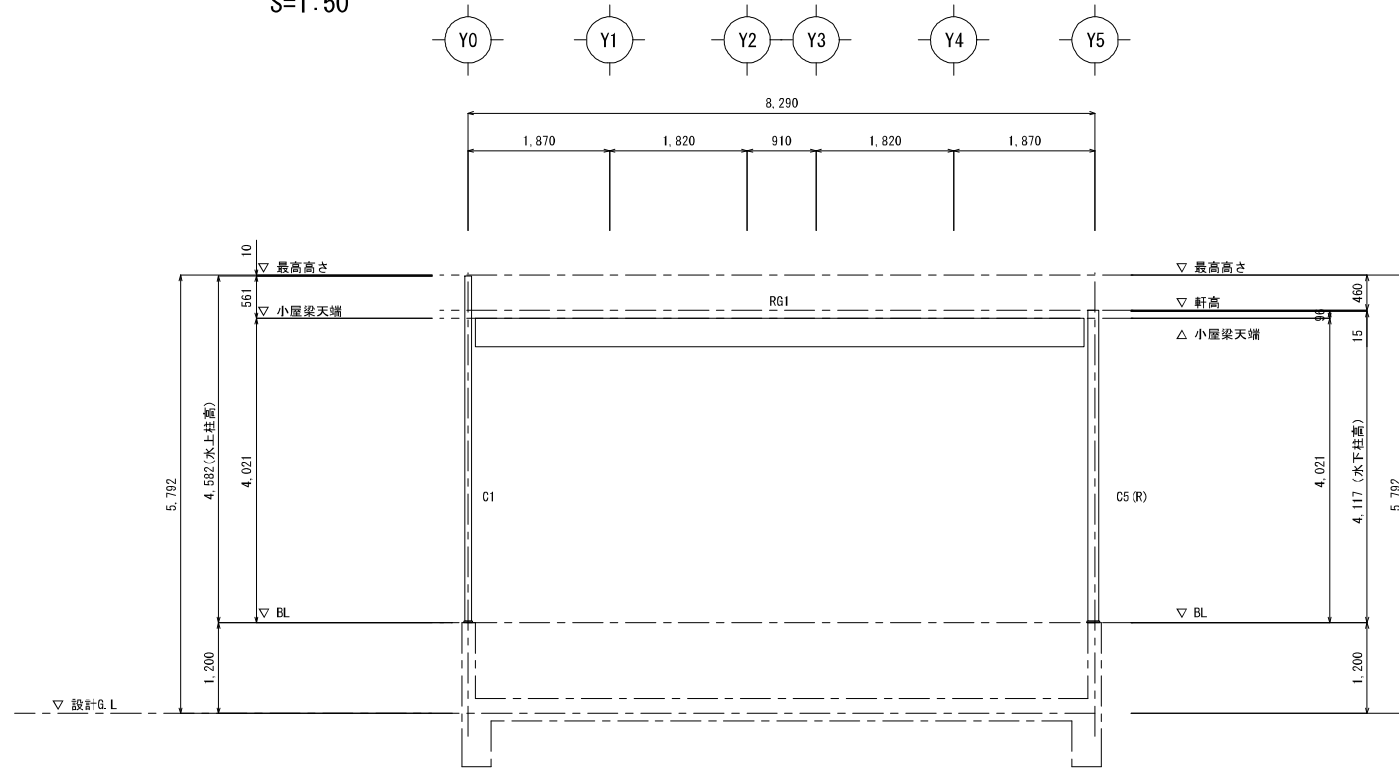


X6, X8 通 軸組図 S=1:50

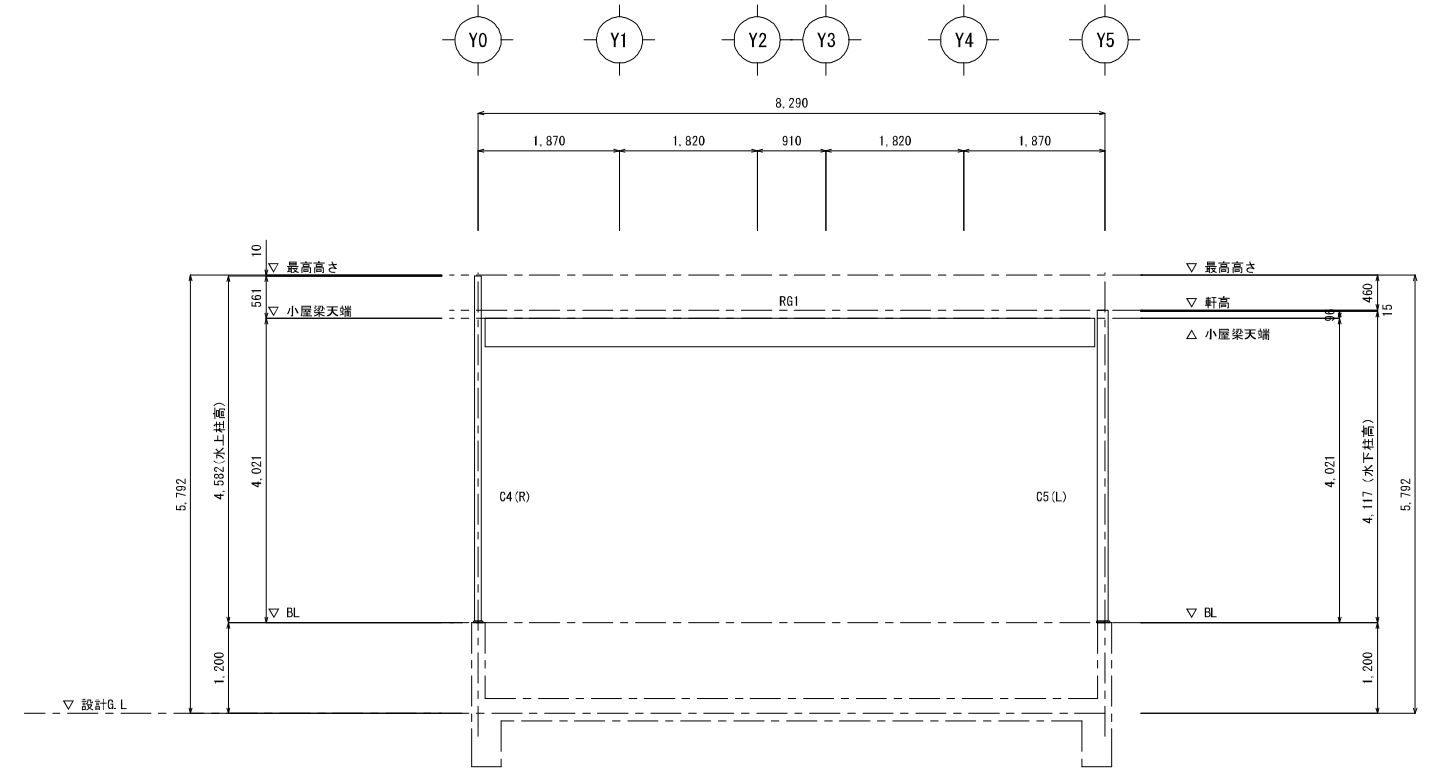
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 軸組図-2		
縮尺	S=1:50	図面番号	S-09
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 軸組図-3

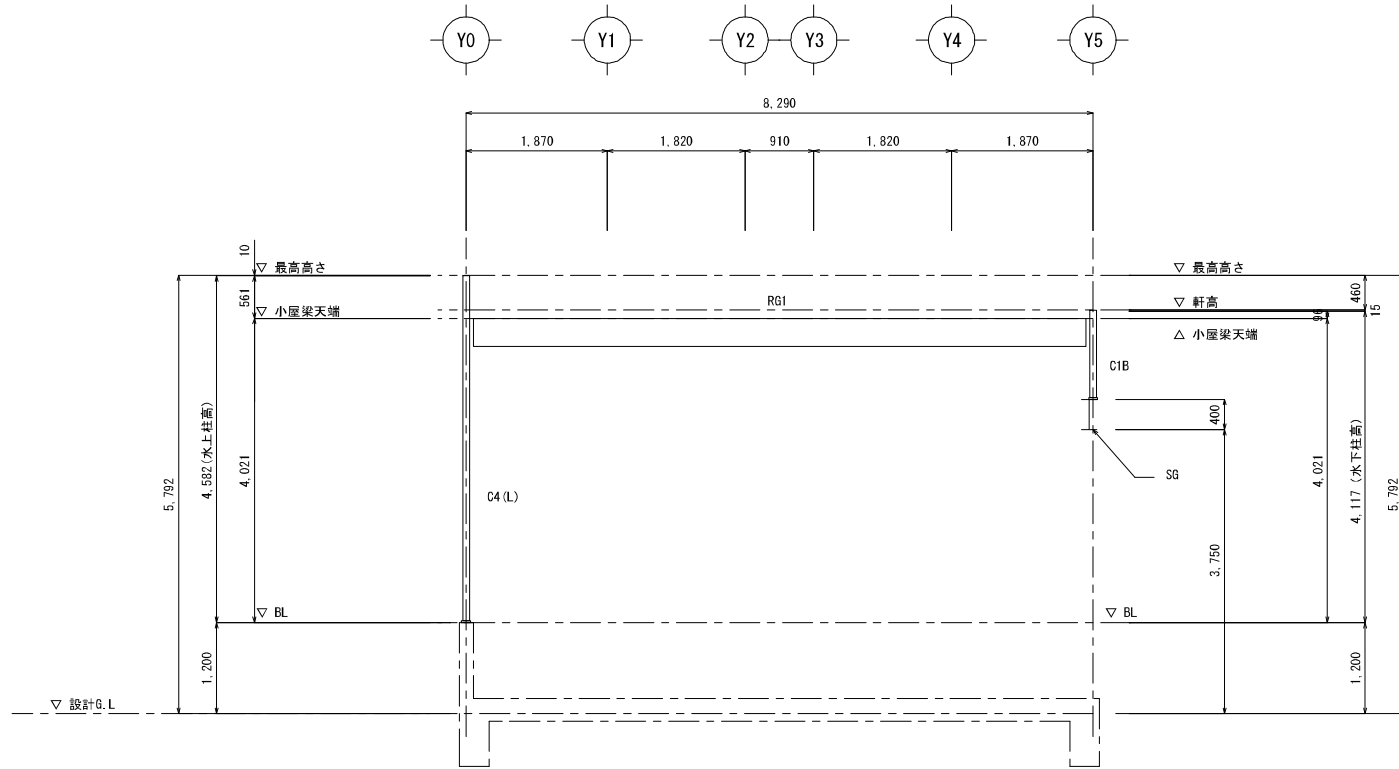
S=1:50



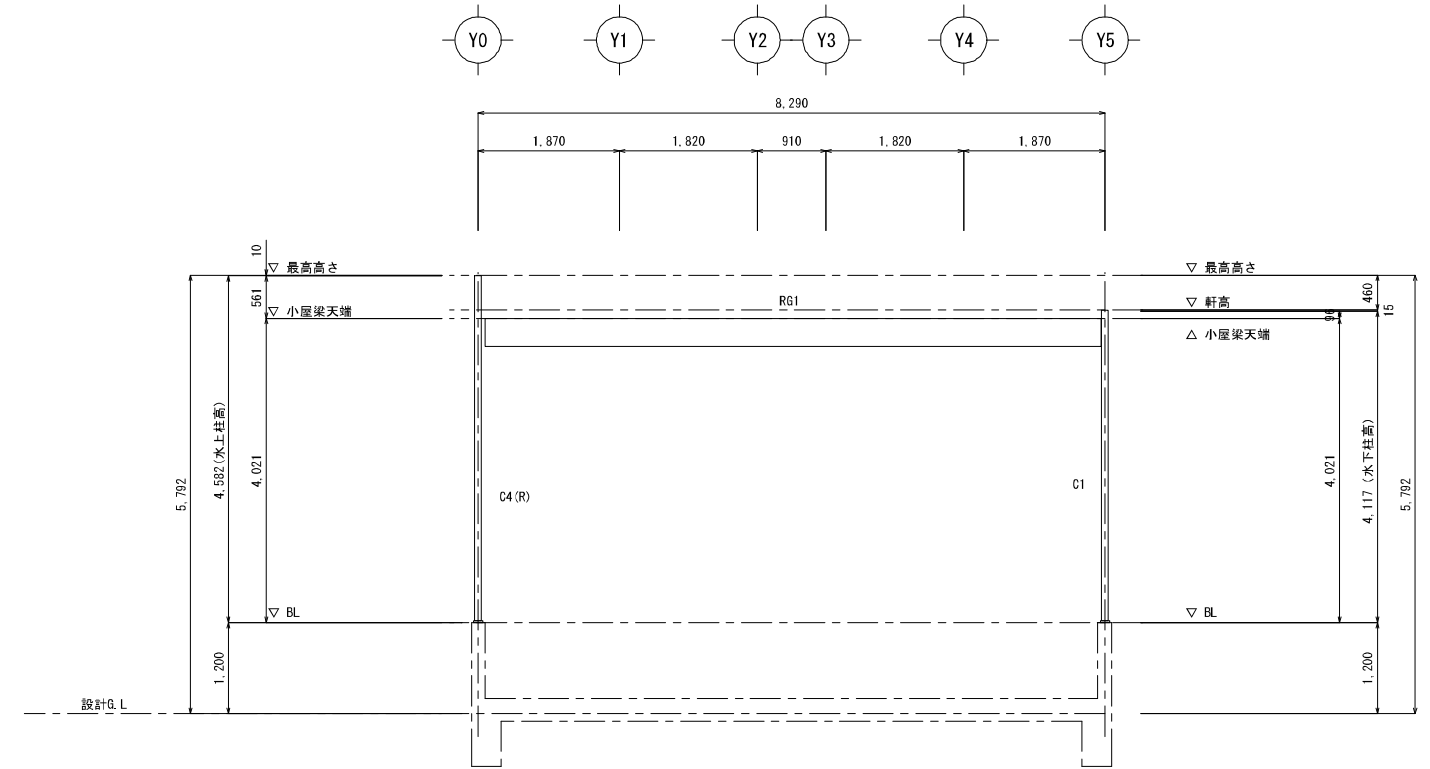
X2 通 軸組図 S=1:50



X4 通 軸組図 S=1:50



X3 通 軸組図 S=1:50

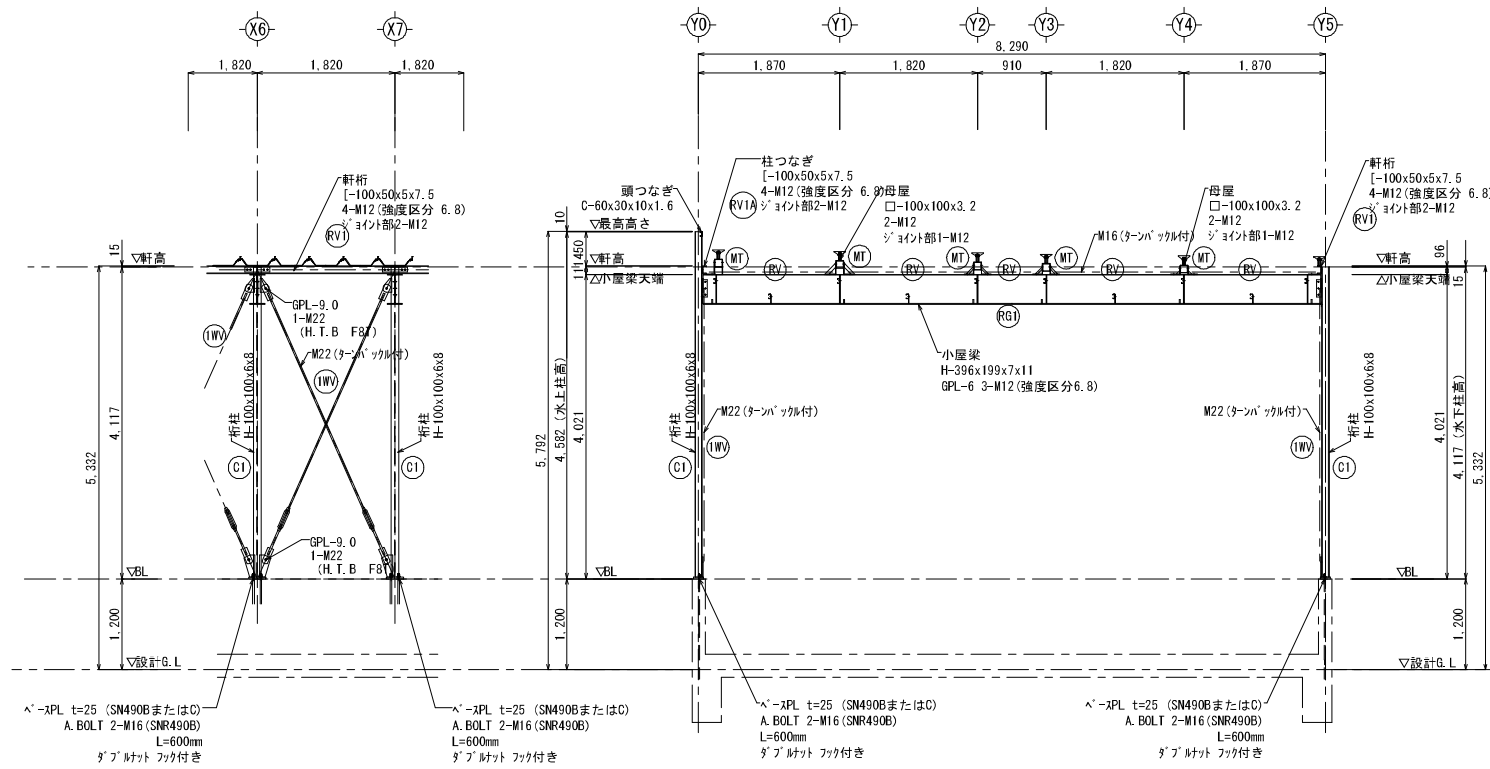


X6、X8 通 軸組図 S=1:50

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 軸組図-3		
縮尺	S=1:50	図面番号	S-10
事業者	九戸村	担当者	

宇堂口浄水場 軸組詳細図

S=1:50



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 軸組詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	S-11
事業者	九戸村		

構造符号/部位	RG1 小屋梁		SG 開口梁	
断面				
主材・材質	H-396x199x7x11 SS400		H-400x200x8x13 SS400	
接合部	GPL-6 3-M12 (強度区分6.8)		GPL-9 3-M12 (強度区分6.8)	
有効細長比 (圧縮材)			$\lambda c = 80$	
備考				
構造符号/部位	RSG 妻小屋梁	RV1 軒桁	RV1A 柱つなぎ	
断面				
主材・材質	[-100x50x5x7.5 SS400		[-100x50x5x7.5 SS400	
接合部	GPL-4.5 4-M12 (強度区分6.8) ※端部は、2-M12 (強度区分6.8)		GPL-4.5 4-M12 (強度区分6.8) ※端部は、2-M12 (強度区分6.8)	
有効細長比 (圧縮材)	$\lambda c = 126$		$\lambda c = 123$	
備考				
構造符号/部位	MT 母屋	ルーフデッキ		
断面				
主材・材質	□-100x100x3.2 STKR400		はぜ式折板 H=90 t=0.8 JIS規格 (JIS G3322, G3321, G3312)	
接合部	GPL-4.5 2-M12 ※端部は、1-M12		M10	
有効細長比 (圧縮材)	$\lambda c = 48$			
備考				
特記事項	<p>1: 使用ボルトは、高力ボルトを除き全て戻り止めにはスプリングワッシャーを使用する。(各部材共通)</p> <p>2: 使用ボルトは、記載無き場合は強度区分4.8または4.6とする。(各部材共通)</p> <p>3: 特記なきプレートは、SS400とする(各部材共通)</p>			

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 仕口詳細図(1)		
縮尺	S=1:10	図面番号	S-12
事業者	九戸村		

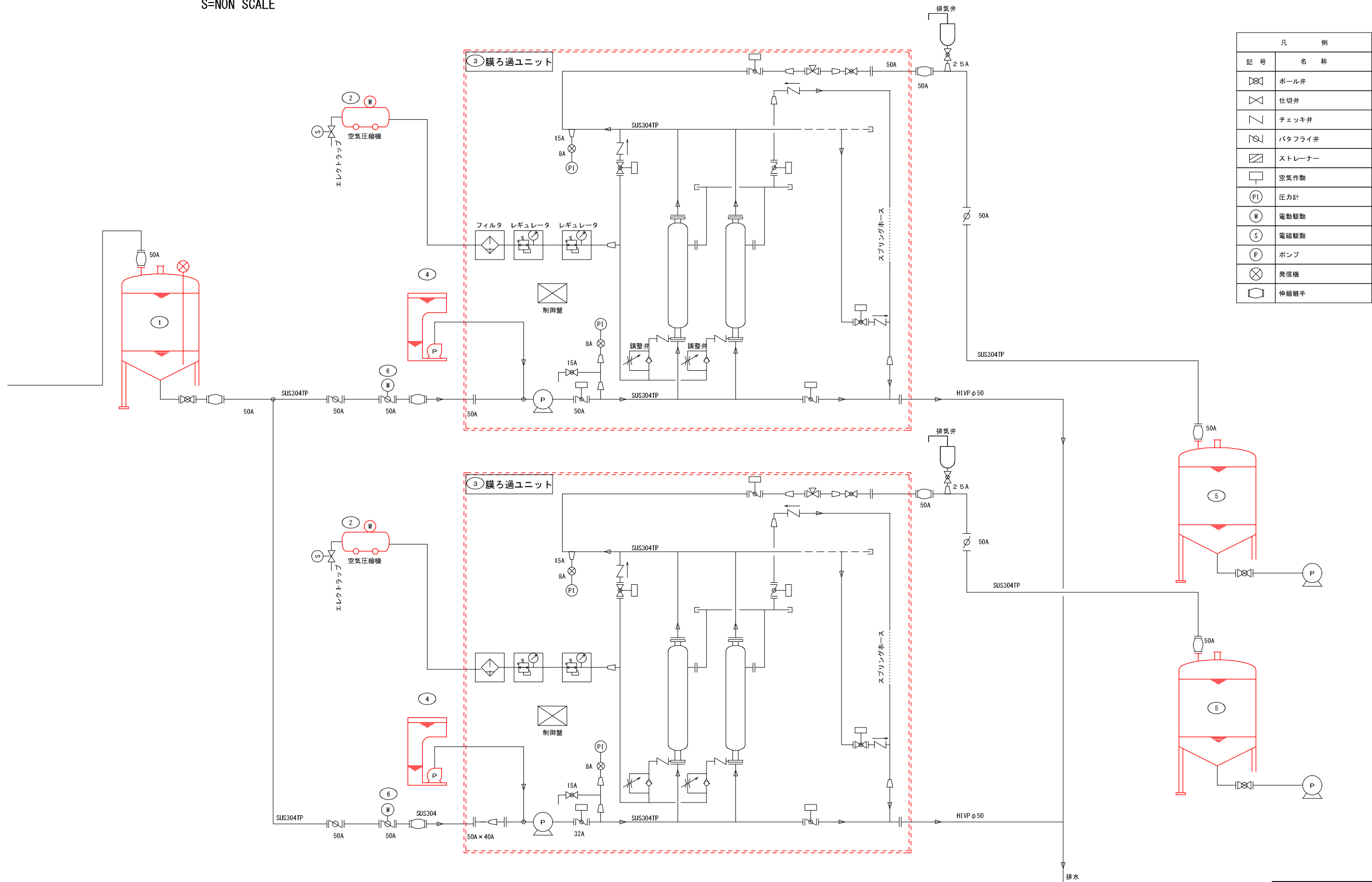
構造符号/部位	RV 小屋ブレース (M16)					羽子板部詳細 (M16)																
断面																						
主材・材質	M16 (ターンバックル付き) JIS規格 (JIS A5540)	丸棒鋼SNR400B 羽子板SM400B	TB (n'イ'式) STKM400W(B)																			
接合部	ブレースシート t=6 I-M16 (H.T.B F8T)																					
有効細長比 (圧縮材)																						
備考																						
構造符号/部位	1WV 1階壁ブレース (M22)					羽子板部詳細 (M22)																
断面																						
主材・材質	M22 (ターンバックル付き)	丸棒鋼SNR400B 羽子板SM400B	M22 (ターンバックル付き)																			
接合部	JIS規格 (JIS A5540)	TB (n'イ'式) STKM400W(B)	JIS規格 (JIS A5540)																			
有効細長比 (圧縮材)	ブレースシート t=9 I-M22 (H.T.B F8T)																					
備考																						
特記事項	<p>1: 使用ボルトは、高力ボルトを除き全て戻り止めにはスプリングワッシャーを使用する。(各部材共通)</p> <p>2: 使用ボルトは、記載無き場合は強度区分4.8または4.6とする。(各部材共通)</p> <p>3: 特記なきプレートは、SS400とする(各部材共通)</p>					<table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">宇堂口高度浄水施設建設工事</td> </tr> <tr> <td>図面名称</td> <td colspan="3">宇堂口浄水場 仕口詳細図(2)</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>S=1:10</td> <td>図面番号</td> <td>S-13</td> </tr> <tr> <td>事業者</td> <td>九戸村</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事			図面名称	宇堂口浄水場 仕口詳細図(2)			縮尺	S=1:10	図面番号	S-13	事業者	九戸村		
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事																					
図面名称	宇堂口浄水場 仕口詳細図(2)																					
縮尺	S=1:10	図面番号	S-13																			
事業者	九戸村																					

構造符号/部位	C1 桁柱	C1B:開口梁上柱	C2 妻柱	C3 隅柱
断面				
主材・材質	H-100x100x6x8 SS400	H-100x100x6x8 SS400	H-100x100x6x8 SS400	□-100x100x3.2+2[-100x50x5x7.5 SS400+STKR400
接合部	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M16 (SNR490B) 定着L=600 (ワッパ付) ダブ 射付締め	PL-16 (SS400またはSN400B) Bolt 2-M16 (強度区分 4.8又は4.6)	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M20 (SNR490B) 定着L=800 (ワッパ付) ダブ 射付締め	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M20 (SNR490B) 定着L=800 (ワッパ付) ダブ 射付締め
有効細長比 (圧縮材)	$\lambda=162$	$\lambda=54$	$\lambda=162$	$\lambda=101$
備考				
構造符号/部位	C4 (L) 桁柱	C4 (R) 桁柱	C5 (L) 桁柱	C5 (R) 桁柱
断面				
主材・材質	H-100x100x6x8 SS400	H-100x100x6x8 SS400	H-148x100x6x8 SS400	H-148x100x6x8 SS400
接合部	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M16 (SNR490B) 定着L=600 (ワッパ付) ダブ 射付締め	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M16 (SNR490B) 定着L=600 (ワッパ付) ダブ 射付締め	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M16 (SNR490B) 定着L=600 (ワッパ付) ダブ 射付締め	B.PL-25 (SN490BまたはC) A.Bolt 2-M16 (SNR490B) 定着L=600 (ワッパ付) ダブ 射付締め
有効細長比 (圧縮材)	$\lambda=162$	$\lambda=162$	$\lambda=169$	$\lambda=169$
備考				
特記事項	1: 使用ボルトは、高力ボルトを除き全て戻り止めにスプリングワッシャーを使用する。(各部材共通) 2: 使用ボルトは、記載無き場合は強度区分4.8または4.6とする。(各部材共通) 3: 特記なきプレートは、SS400とする (各部材共通)			

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 仕口詳細図(3)		
縮尺	S=1:10	図面番号	S-14
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 浄水フローシート

S=NON SCALE



凡 例	
記号	名称
	ボール弁
	仕切弁
	チェック弁
	バタフライ弁
	ストレーナー
	空気作動
	圧力計
	電動駆動
	電磁駆動
	ポンプ
	発電機
	伸縮継手

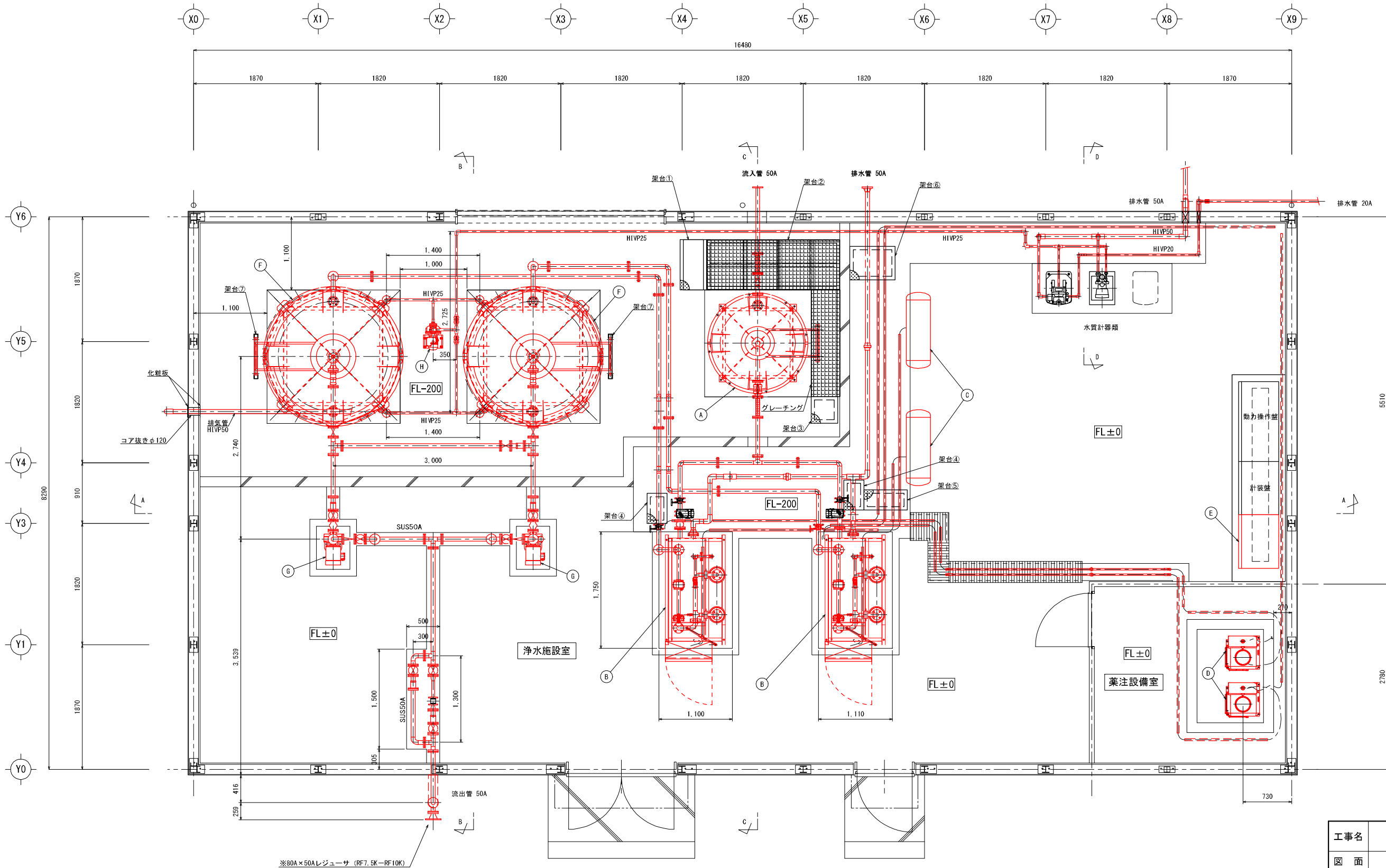
機器番号	①	②	③	④	⑤	⑥
機器名称	原水槽	膜ユニット用コンプレサー	膜処理ユニット	次亜注入機ユニット	浄水槽	膜ユニット流入弁
型式	ポリエチレン製円筒形ポンプ	圧力閉閉式	外圧全ろ過方式 (孔径0.02μm)	ポンプタンク一体型	ポリエチレン製円筒形ポンプ	電動蝶形弁
仕様	PE 完全液抜き形	タンク容量70L オートドレーン	処理水量: 12 m ³ /時 (最大) 2本並列ろ過時	タンク: PE 120L ポンプ: 電磁ポンプ (次亜) 30mL/min (最大)	PE 完全液抜き形	ボディ: ステンレス製
容量/接続	2,000L	G1/4B	32A×32A		6,000L	50A
電源	-	φ3×200V×1.5KW	φ3×200V×2.2KW	200V×50Hz×15W	-	200V×50Hz×65W
数量	1槽	2台	2基	2台	2槽	2台

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	宇堂口浄水場 浄水フローシート	
縮尺	NON SCALE	図面番号 M-01
事業者	九戸村	

宇堂口浄水場 機器据付平面図

S=1:30

番号	機器名称	仕様	数量
A	原水槽	円筒型完全液抜型 2000L 耐震1.5G	1基
B	膜ろ過ユニット	PVDF膜 外圧全量ろ過方式 2本/1ユニット	2式
C	エアコンプレッサー	圧力閉閉式 膜ユニット用 オートドレン付	2台
D	次亜注入ポンプユニット	タンク一体型電磁ポンプユニット 自動エア抜き型	2台
E	膜処理設備制御盤	容量100L (ドレン付)	1面
F	浄水池	円筒型完全液抜型 6000L 耐震1.5G	2基
G	送水ポンプ	50×40A 3.7kW 3φ200V	2台
H	浄水サンプリングポンプ	自吸式渦流ポンプ 25A-0.2kW 100V	1台



※80A×50Aレジャーサ (RF7.5K-RF10K)

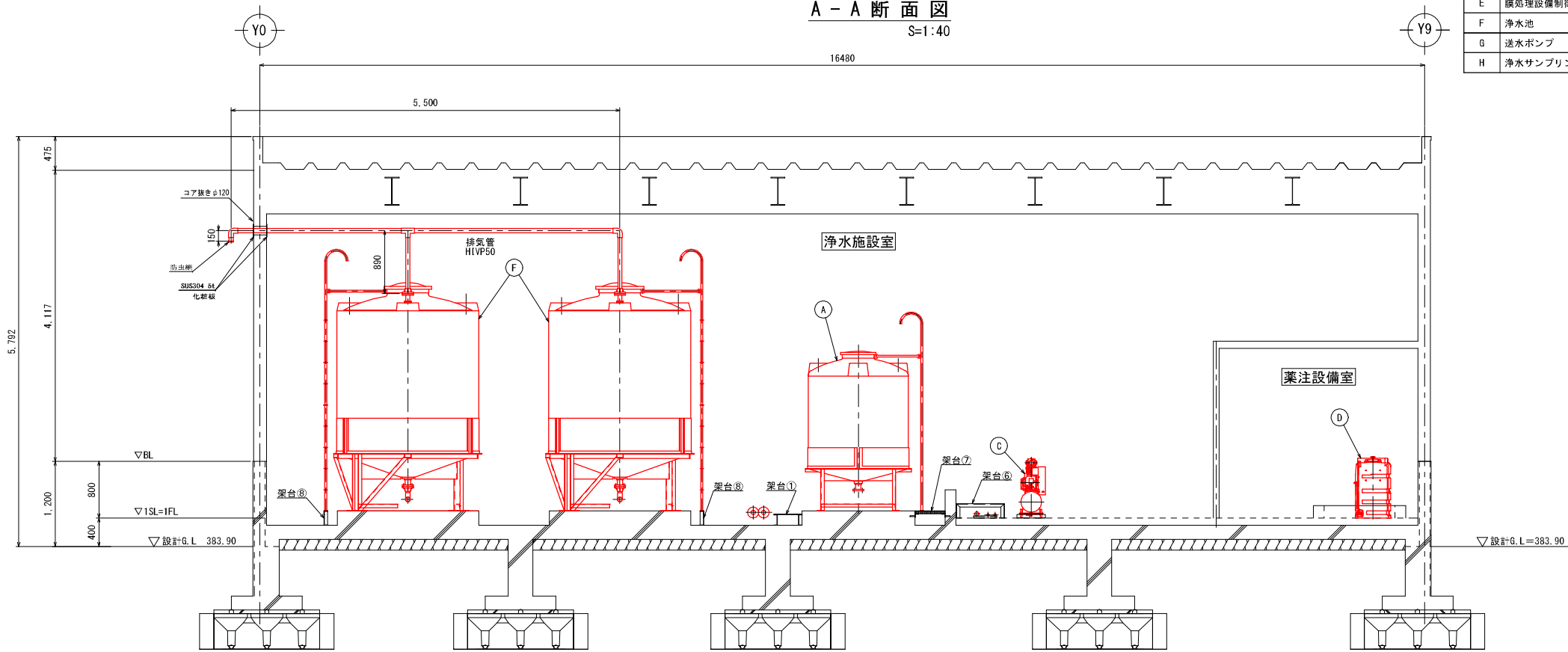
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 機器据付平面図		
縮尺	S=1:30	図面番号	M-02
事業者	九戸村	図面番号	

宇堂口浄水場 機器据付断面図

S=1:40

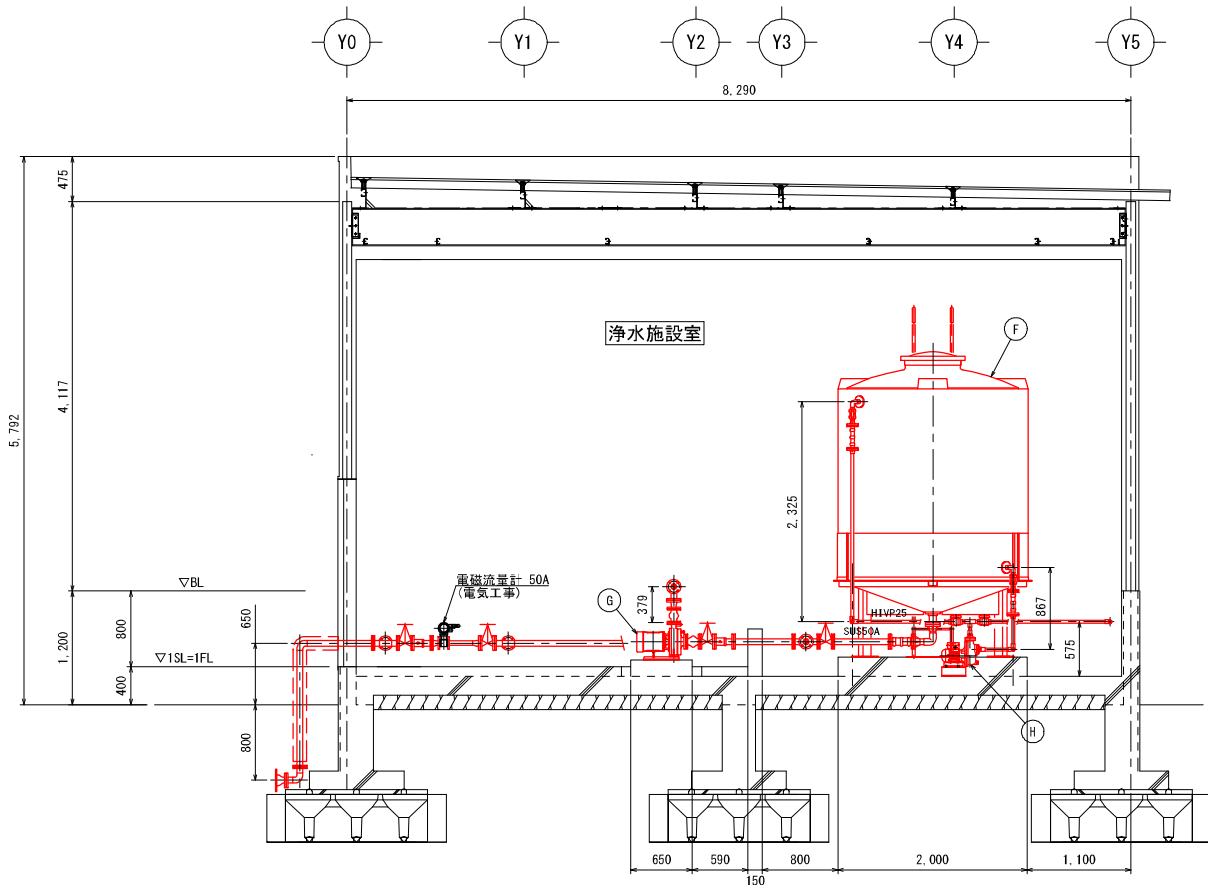
A - A 断面図

S=1:40



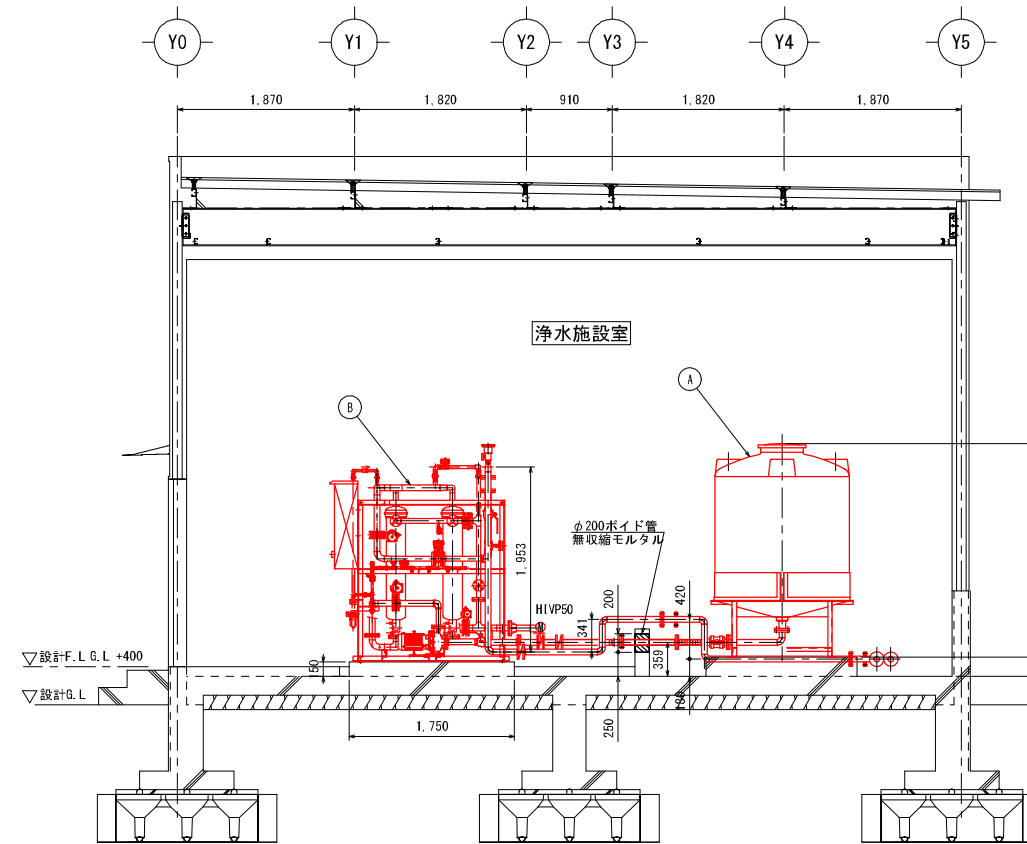
B - B 断面図

S=1:40



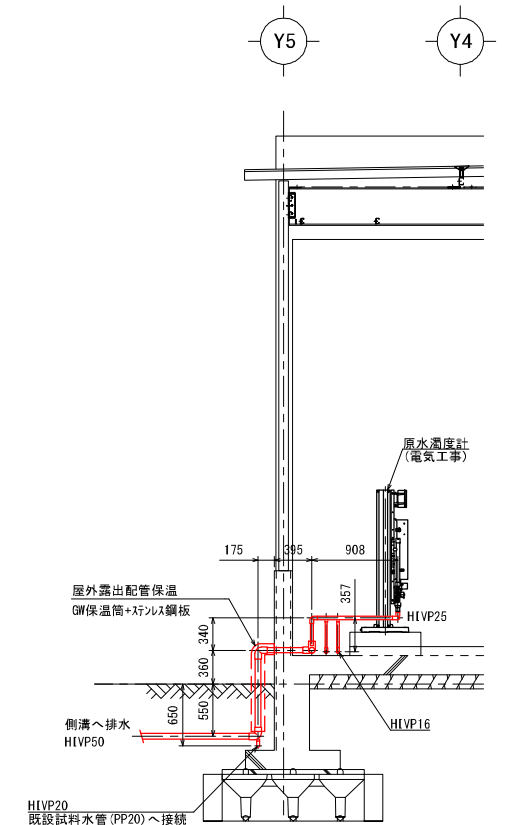
C - C 断面図

S=1:40



D - D 断面図

S=1:40



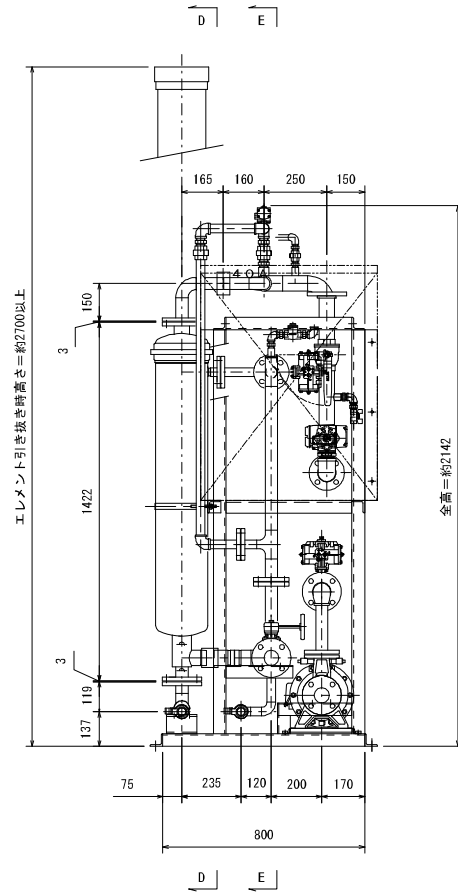
番号	機器名称	仕様	数量
A	原水槽	円筒型完全液抜型 2000L 耐震1.5G	1基
B	膜ろ過ユニット	PVDF膜 外圧全量ろ過方式 2本/1ユニット	2式
C	エアコンプレッサー	圧力閉閉式 膜ユニット用 オートドレン付	2台
D	次亜注入ポンプユニット	タンク一体型電磁ポンプユニット 自動エア抜き型	2台
E	膜処理設備制御盤	容量100L (ドレン付)	1面
F	浄水池	円筒型完全液抜型 6000L 耐震1.5G	2基
G	送水ポンプ	50×40A 3.7kW 3φ200V	2台
H	浄水サンプリングポンプ	自吸式渦流ポンプ 25A-0.2kW 100V	1台

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 機器据付断面図		
縮尺	S=1:40	図面番号	M-03
事業者	九戸村		

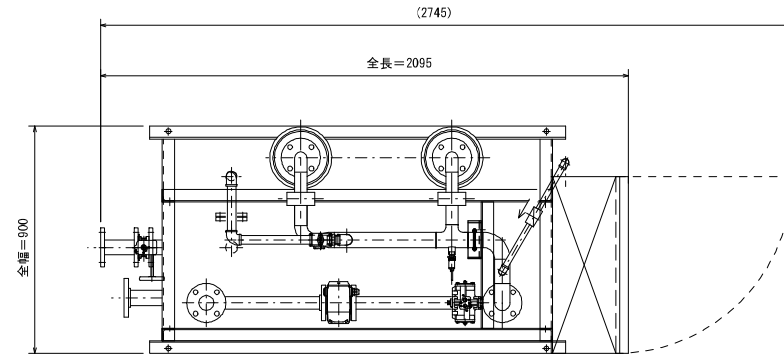
宇堂口浄水場 膜ろ過ユニット外形図

S=1:15

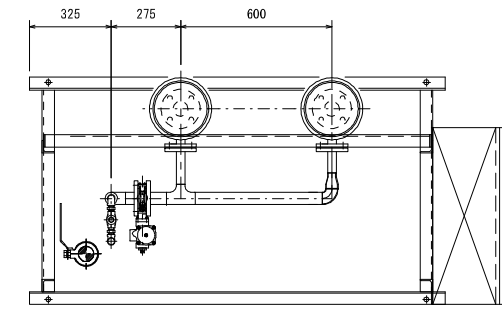
側面図
S=1:15



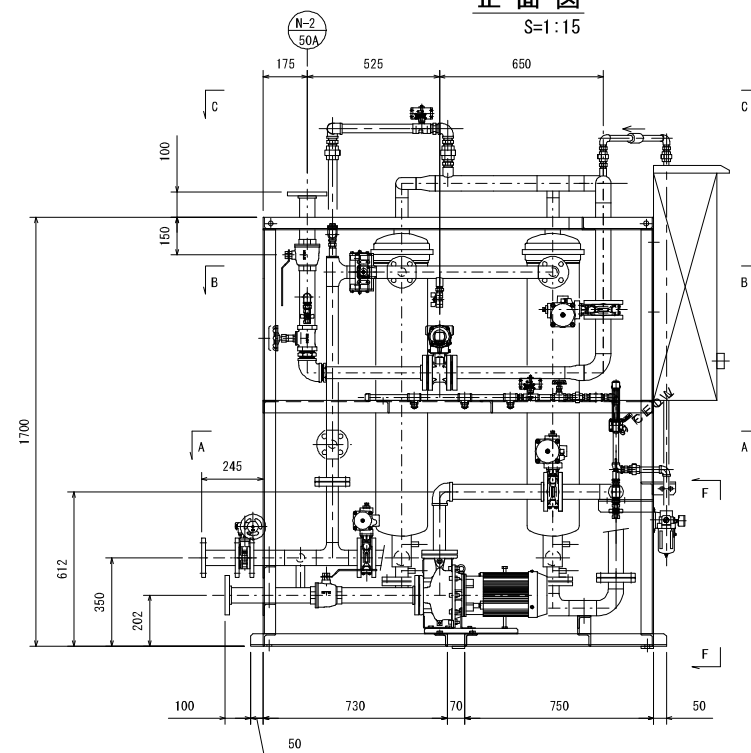
C - C 矢視図
S=1:15



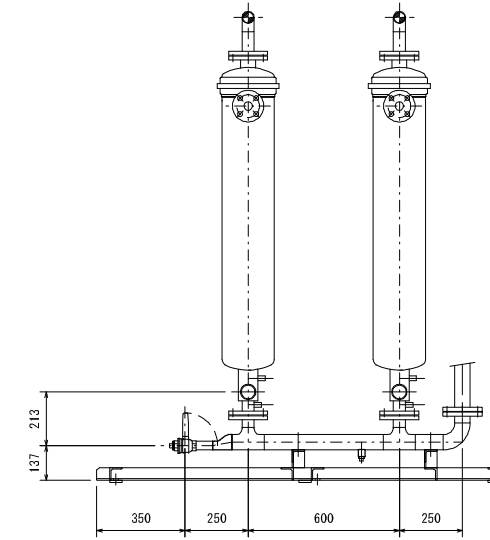
B - B 矢視図
S=1:15



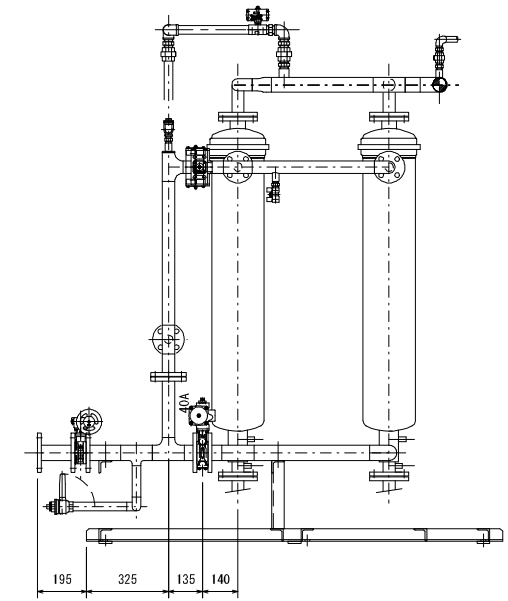
正面図
S=1:15



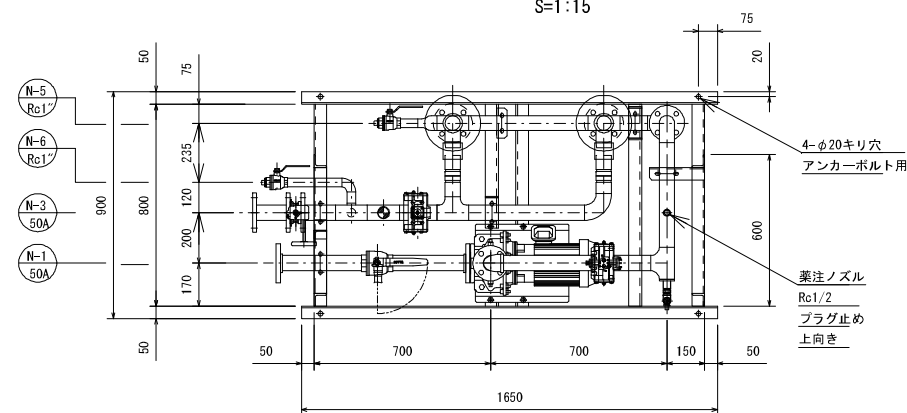
D - D 矢視図
S=1:15



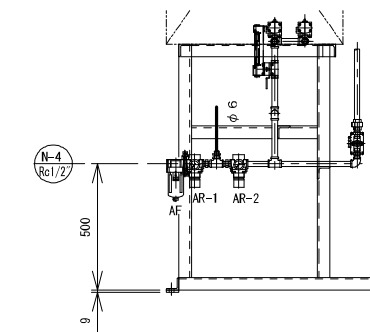
E - E 矢視図
S=1:15



A - A 矢視図
S=1:15



F - F 矢視図
S=1:15



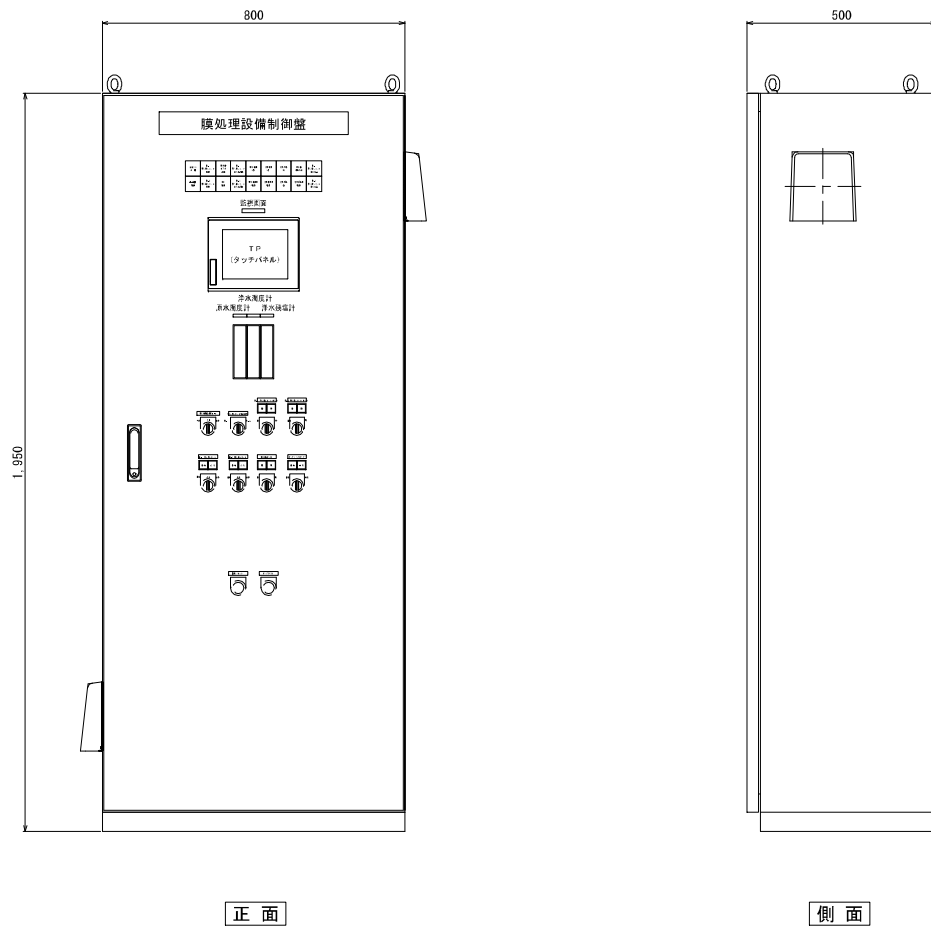
特記事項
・本図は参考とし、納入仕様にて決定とする。

ノズル番号	ノズル名称	取合仕様
N-1	原水入口	JIS10KF-50A
N-2	処理水出口	JIS10KF-50A
N-3	排水出口	JIS10KF-50A
N-4	圧縮空気入口	Rc1/2"
N-5	薬液入口	Rc1" (プラグ止め)
N-6	薬液出口	Rc1" (プラグ止め)

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	宇堂口浄水場 膜ろ過ユニット外形図	
縮尺	S=1:15	図面番号 M-04
事業者	九戸村	

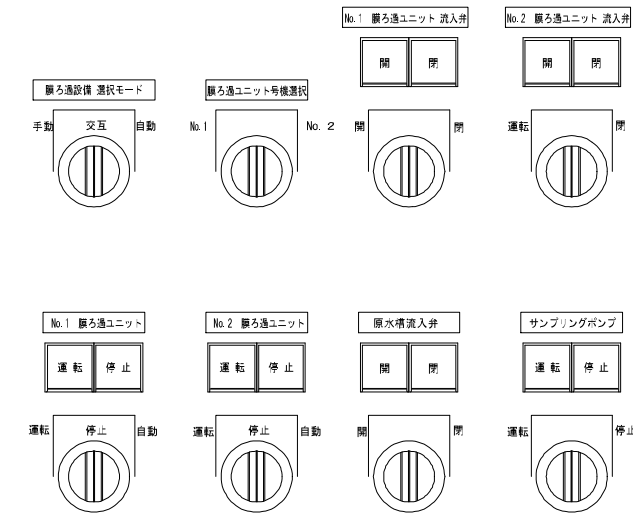
宇堂口浄水場 膜処理設備制御盤外形図

S=1:10



三相200V 受電	No. 1 膜ろ過ユニット 異常	原水槽 流入弁 故障	No. 1 膜ろ過ユニット 流入弁故障	原水濁度 (高)	浄水濁度 (高)	浄水残塩 (低)	原水槽 運転水位	No. 1 膜ろ過ユニット 通水可能
制御電源 異常	No. 2 膜ろ過ユニット 異常	PLC 異常	No. 2 膜ろ過ユニット 流入弁故障	原水濁度計 (異常)	浄水濁度計 (異常)	浄水残塩 (高)	浄水残塩計 (異常)	No. 2 膜ろ過ユニット 通水可能

集合灯 詳細



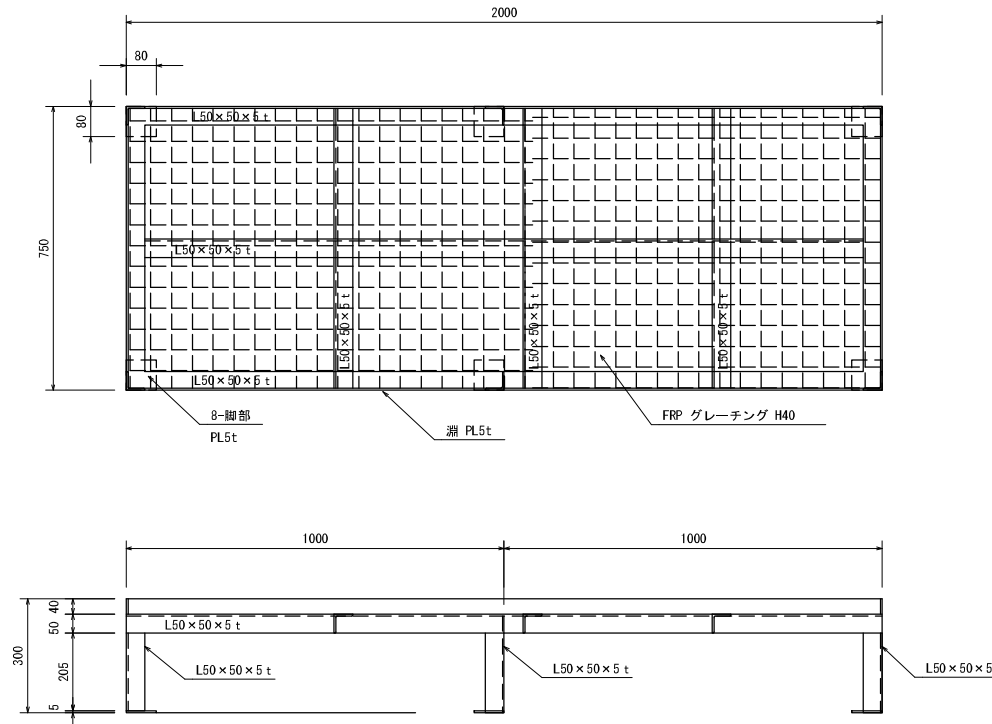
スイッチ 詳細

注記)
・本図は参考とし、納入仕様にて決定とする。

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 膜処理設備制御盤外形図		
縮尺	S=1:10	図面番号	M-05
事業者	九戸村		

宇堂口浄水場 架台詳細図

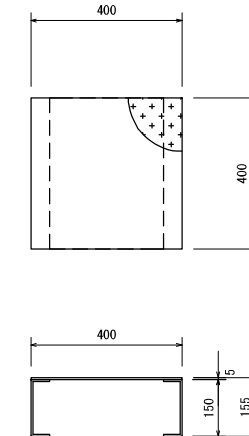
S=1:10



架台②

【鋼材重量】

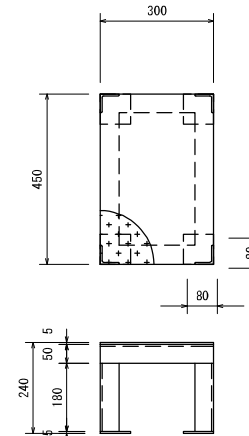
- 1) FRP グレーチング 20kg/m²
20 × 750 × 2000 / 10⁶ = 30.000
 - 2) L50 × 50 × 5 t 3.8kg/m
3.8 × (750 × 5 + 2000 × 3 + 205 × 6) / 1000 = 41.720
 - 3) PL5 t 39.65kg/m²
39.65 × (80 × 80 × 6 + 2000 × 40 × 2 + 750 × 40 × 2) / 10⁶ = 10.250
- Σ = 81.970 (kg)



架台③

【鋼材重量】

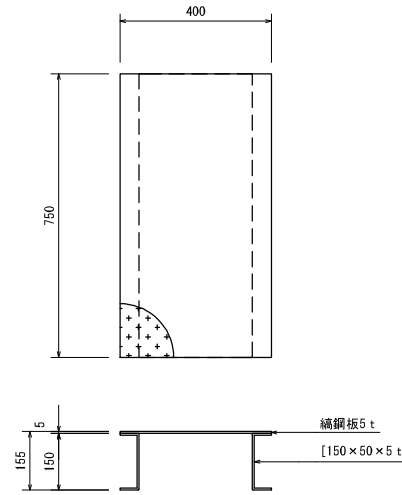
- 1) 鋼鋼板単位重量 41.55kg/m²
41.55 × 400 × 400 / 10⁶ = 6.648
 - 2) [L50 × 50 × 5 t 7.74kg/m
7.74 × 0.4 × 2 = 6.19
- Σ = 12.8 (kg)



架台④

【鋼材重量】

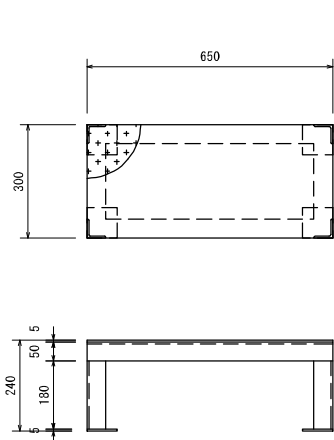
- 1) 鋼鋼板単位重量 41.55kg/m²
41.55 × 300 × 450 / 10⁶ = 5.60
 - 2) L50 × 50 × 5 t 3.8kg/m
3.8 × (300 × 2 + 450 × 2 + 180 × 4) / 1000 = 8.436
 - 3) PL5 t 39.65kg/m
39.65 × 80 × 80 / 10⁶ × 4 = 1.015
- Σ = 15.1 (kg)



架台①

【鋼材重量】

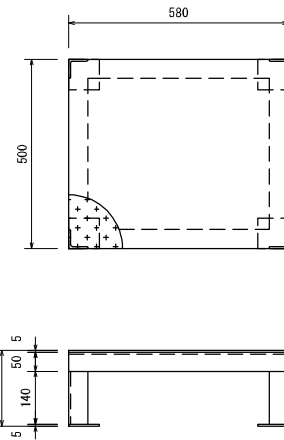
- 1) 鋼鋼板単位重量 41.55kg/m²
41.55 × 750 × 400 / 10⁶ = 12.47
 - 2) [L50 × 50 × 5 t 7.74kg/m
7.74 × 0.75 × 2 = 11.61
- Σ = 24.08 (kg)



架台⑤

【鋼材重量】

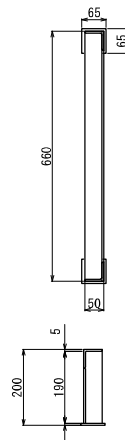
- 1) 鋼鋼板単位重量 41.55kg/m²
41.55 × 300 × 650 / 10⁶ = 8.10
 - 2) L50 × 50 × 5 t 3.8kg/m
3.8 × (300 × 2 + 650 × 2 + 180 × 4) / 1000 = 9.956
 - 3) PL5 t 39.65kg/m
39.65 × 80 × 80 / 10⁶ × 4 = 1.015
- Σ = 19.07 (kg)



架台⑥

【鋼材重量】

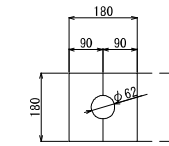
- 1) 鋼鋼板単位重量 41.55kg/m²
41.55 × 300 × 450 / 10⁶ = 5.6
 - 2) L50 × 50 × 5 t 3.8kg/m
3.8 × (300 × 2 + 450 × 2 + 140 × 4) / 1000 = 7.828
 - 3) PL5 t 39.65kg/m
39.65 × 80 × 80 / 10⁶ × 4 = 1.015
- Σ = 14.4 (kg)



架台⑦

【鋼材重量】

- 1) PL5 t 39.65kg/m²
39.65 × 65 × 65 / 10⁶ × 2 = 0.335
 - 2) L50 × 50 × 5 t 3.8kg/m
3.8 × (190 × 2 + 660 × 1) / 1000 = 3.952
 - 3) 数量 2個 4.287 × 2 = 8.574
- Σ = 8.574 (kg)



化粧板

【鋼材重量】

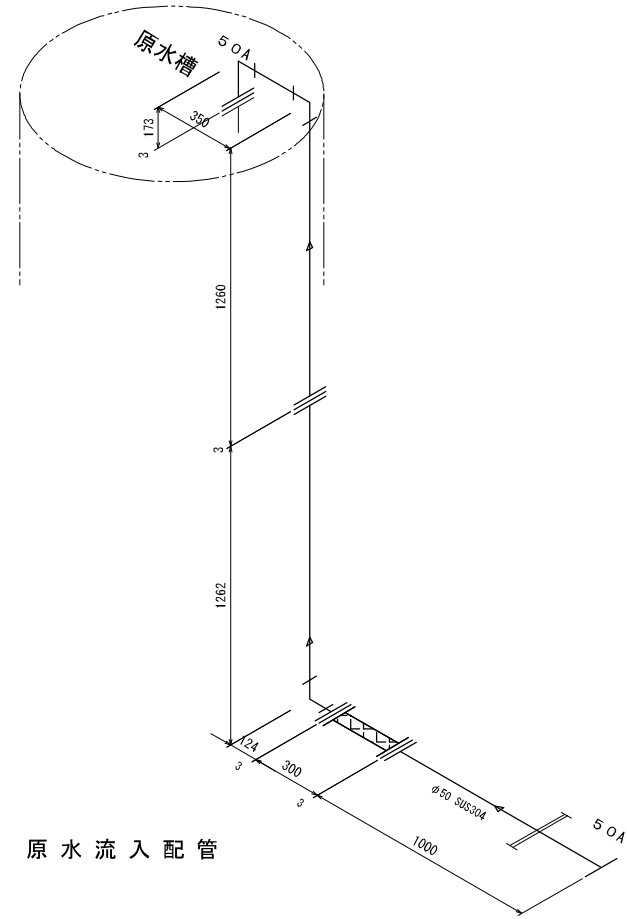
- 1) SUS304 PL単位重量 39.65kg/m²
39.65 × (180 × 180 - 31 × 31 × 3.14) / 10⁶ = 1.165
 - 3) 数量 2枚 1.165 × 2 = 2.330
- Σ = 2.330 (kg)

特記事項
・本図は参考とし、納入仕様にて決定とする。

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水場 架台詳細図		
縮尺	S=1:10	図面番号	M-06
事業者	九戸村		

宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(1)

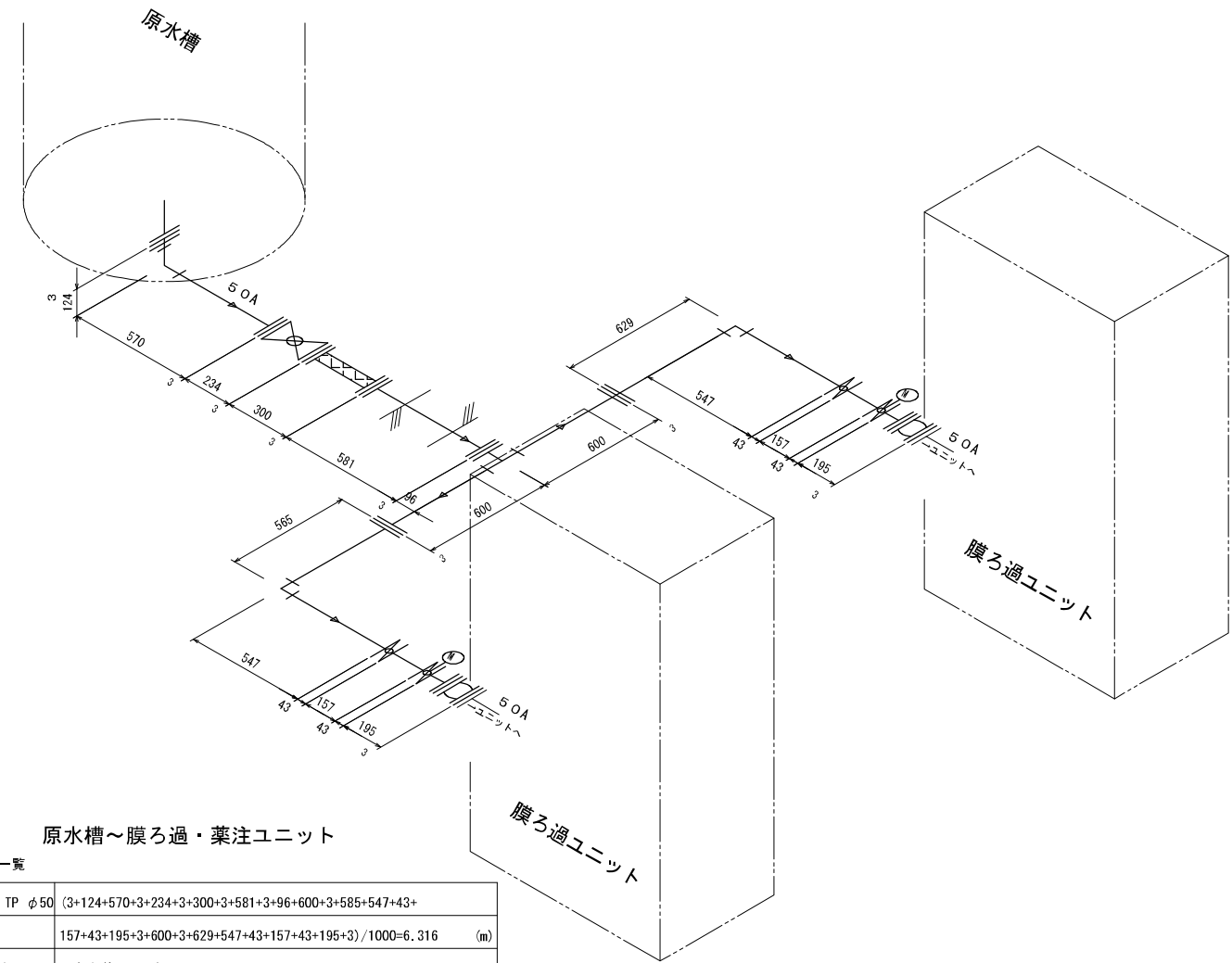
S=NON SCALE



原水流入配管

使用材料一覧

SUS304 TP φ50	(1000+3+300+3+124+1262+3+1260+350+173)/1000=4.478	(m)
機器類	可とう管50A 1個	
備考	パッキンEPDM	



原水槽～膜ろ過・薬注ユニット

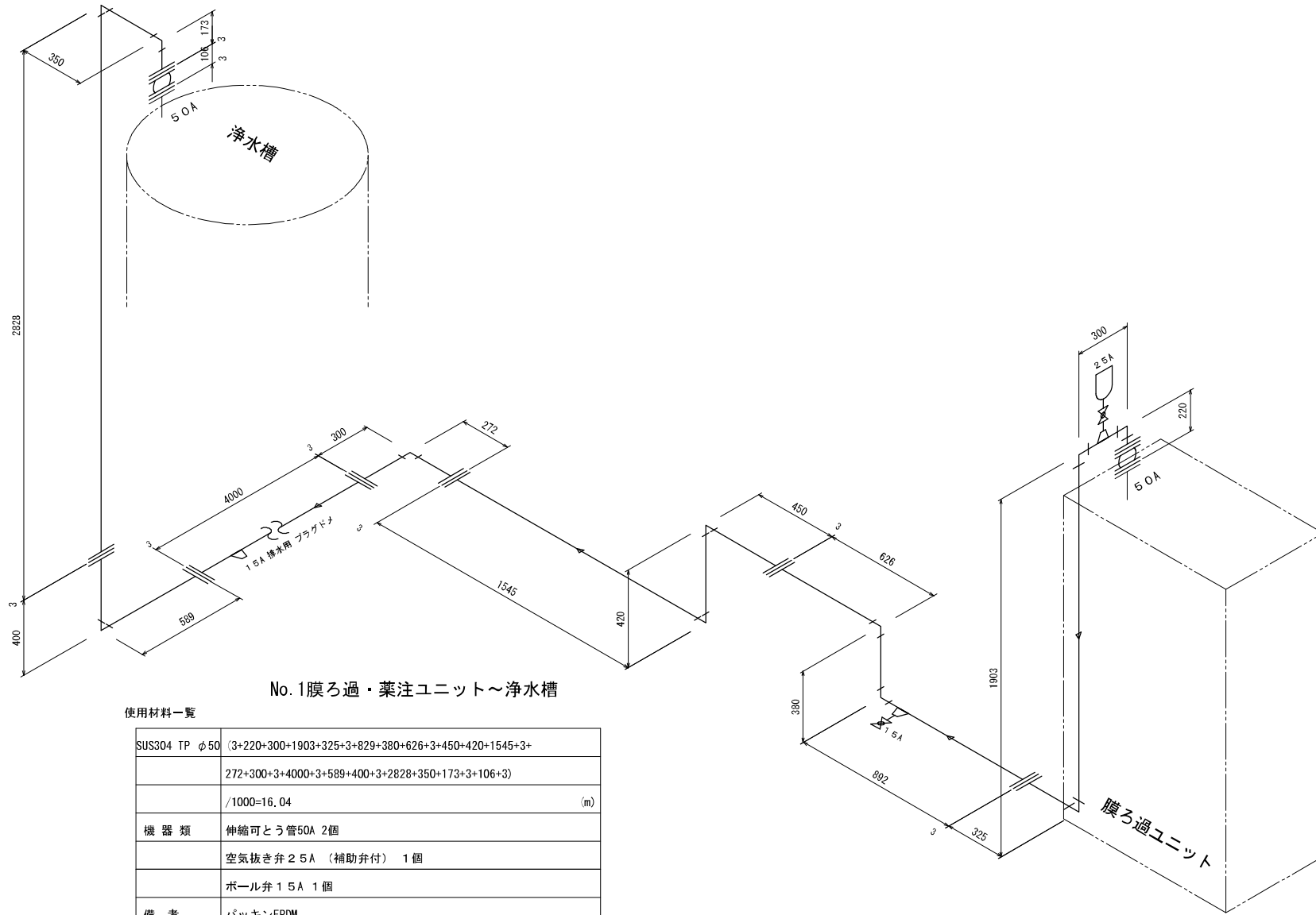
使用材料一覧

SUS304 TP φ50	(3+124+570+3+234+3+300+3+581+3+96+600+3+585+547+43+157+43+195+3+600+3+629+547+43+157+43+195+3)/1000=6.316	(m)
機器類	可とう管50A 1本	
	伸縮可とう管50A 2個	
	手動蝶形弁50A 2台	
	電動蝶形弁50A 2台	
	PVCボール弁50A 1個	
備考	パッキンEPDM	

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(1)		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	M-07
事業者	九戸村		

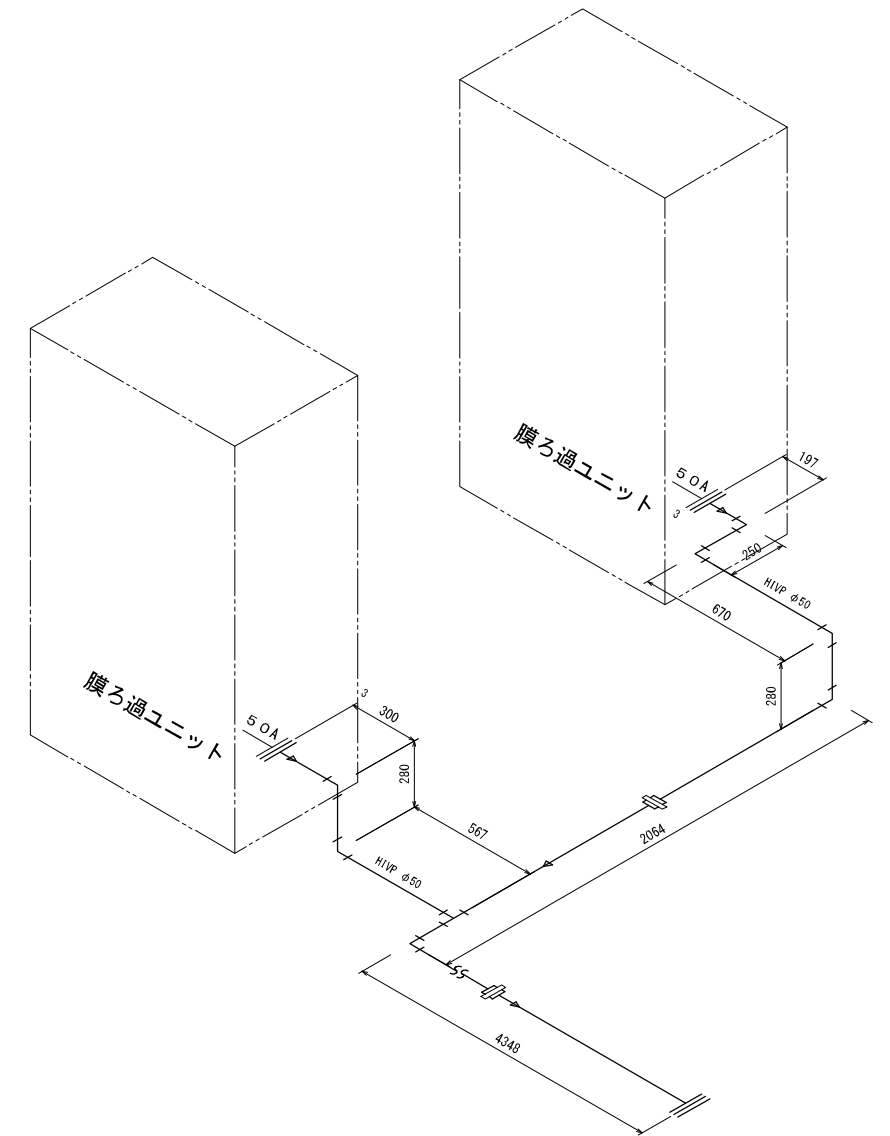
宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(2)

S=NON SCALE



使用材料一覧

SUS304 TP φ50	(3+220+300+1903+325+3+829+380+626+3+450+420+1545+3+272+300+3+4000+3+589+400+3+2828+350+173+3+106+3)
	/1000=16.04 (m)
機器類	伸縮可とう管φ50A 2個
	空気抜き弁 2.5A (補助弁付) 1個
	ボール弁 1.5A 1個
備考	パッキンEPDM



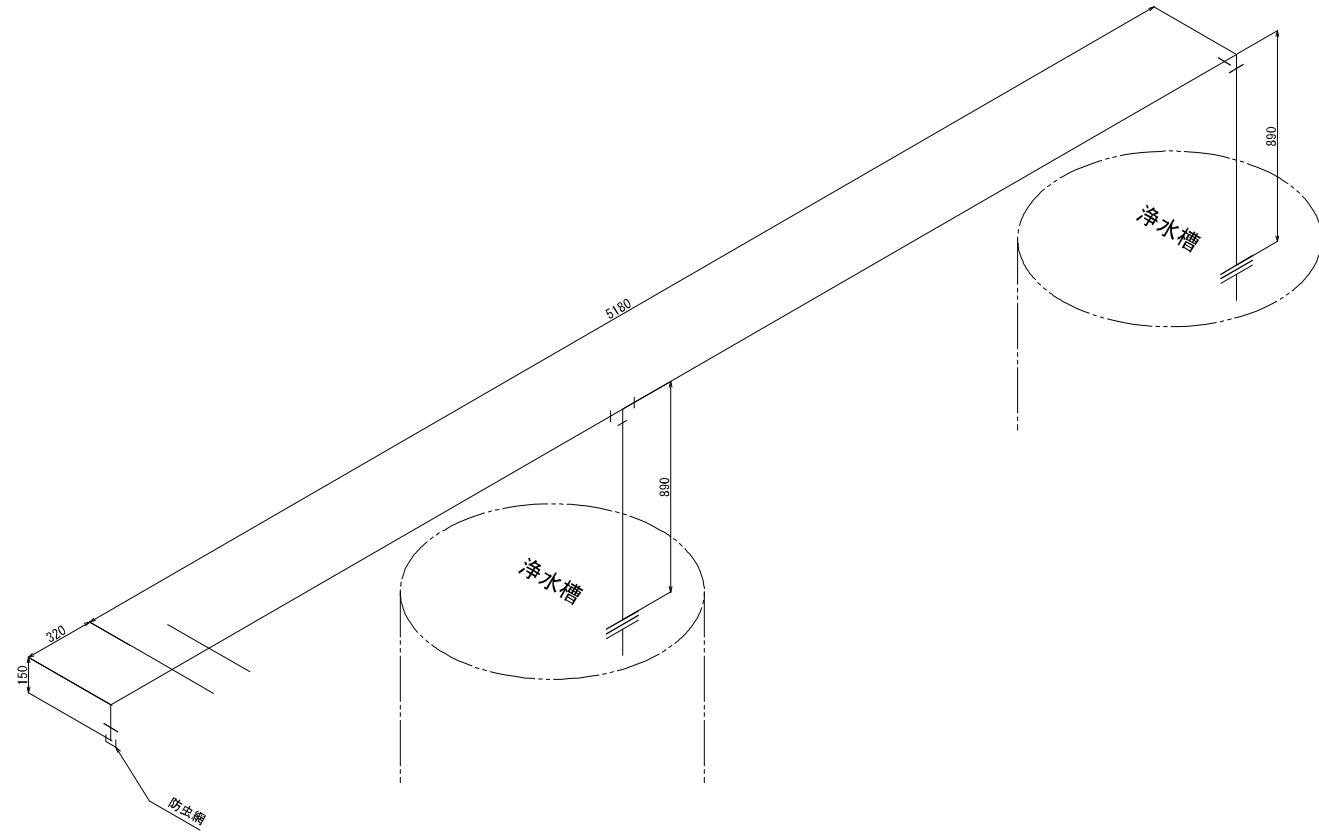
使用材料一覧

HIVP φ50	(3+197+250+670+280+3+300+280+567+2064+4348) / 1000 = 8.69 (m)
備考	パッキンEPDM

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(2)		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	M-08
事業者	九戸村		

宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(3)

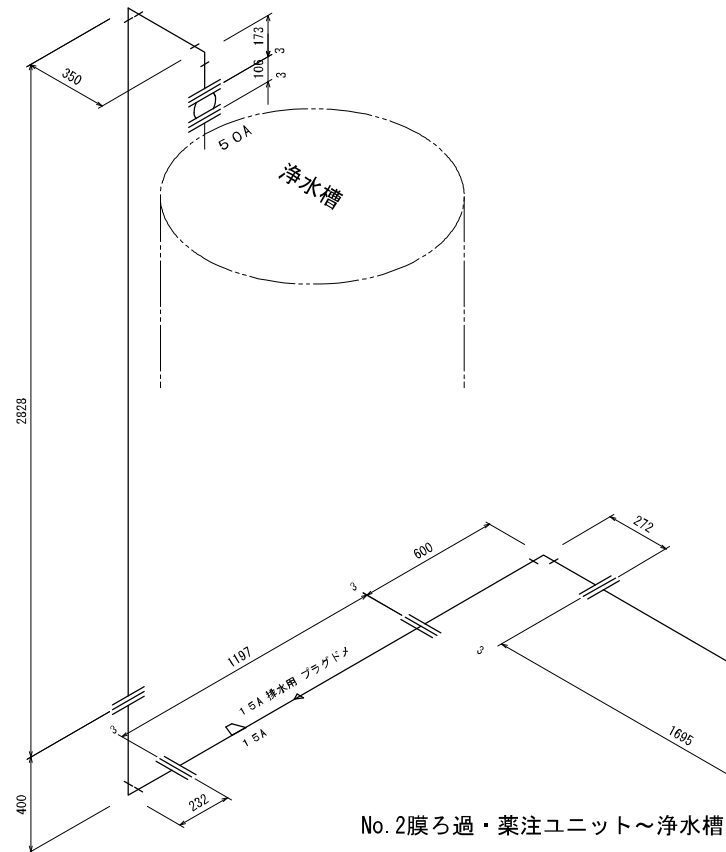
S=NON SCALE



浄水槽 排気管

使用材料一覧

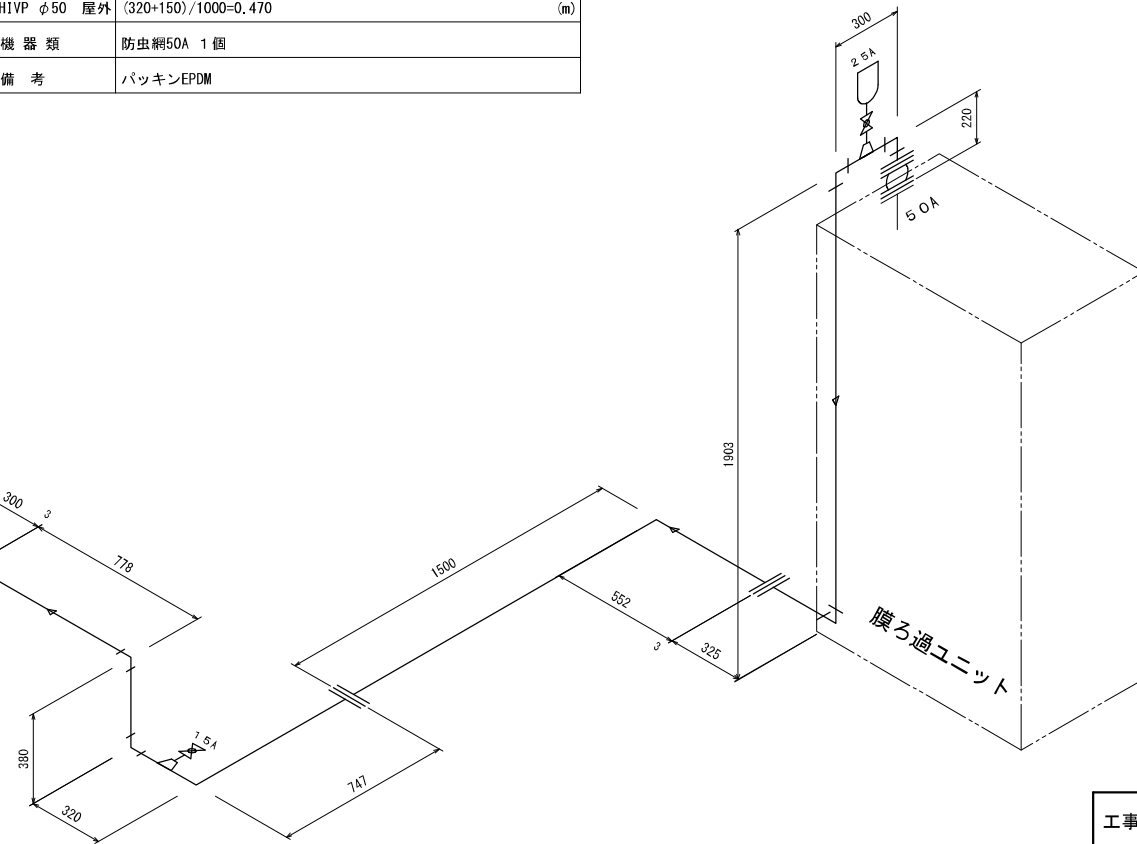
H1VP φ50 屋内	$(5180+3+890+3+890)/1000=6.966$	
H1VP φ50 屋外	$(320+150)/1000=0.470$	(m)
機器類	防虫網50A 1個	
備考	パッキンEPDM	



No. 2膜ろ過・薬注ユニット～浄水槽

使用材料一覧

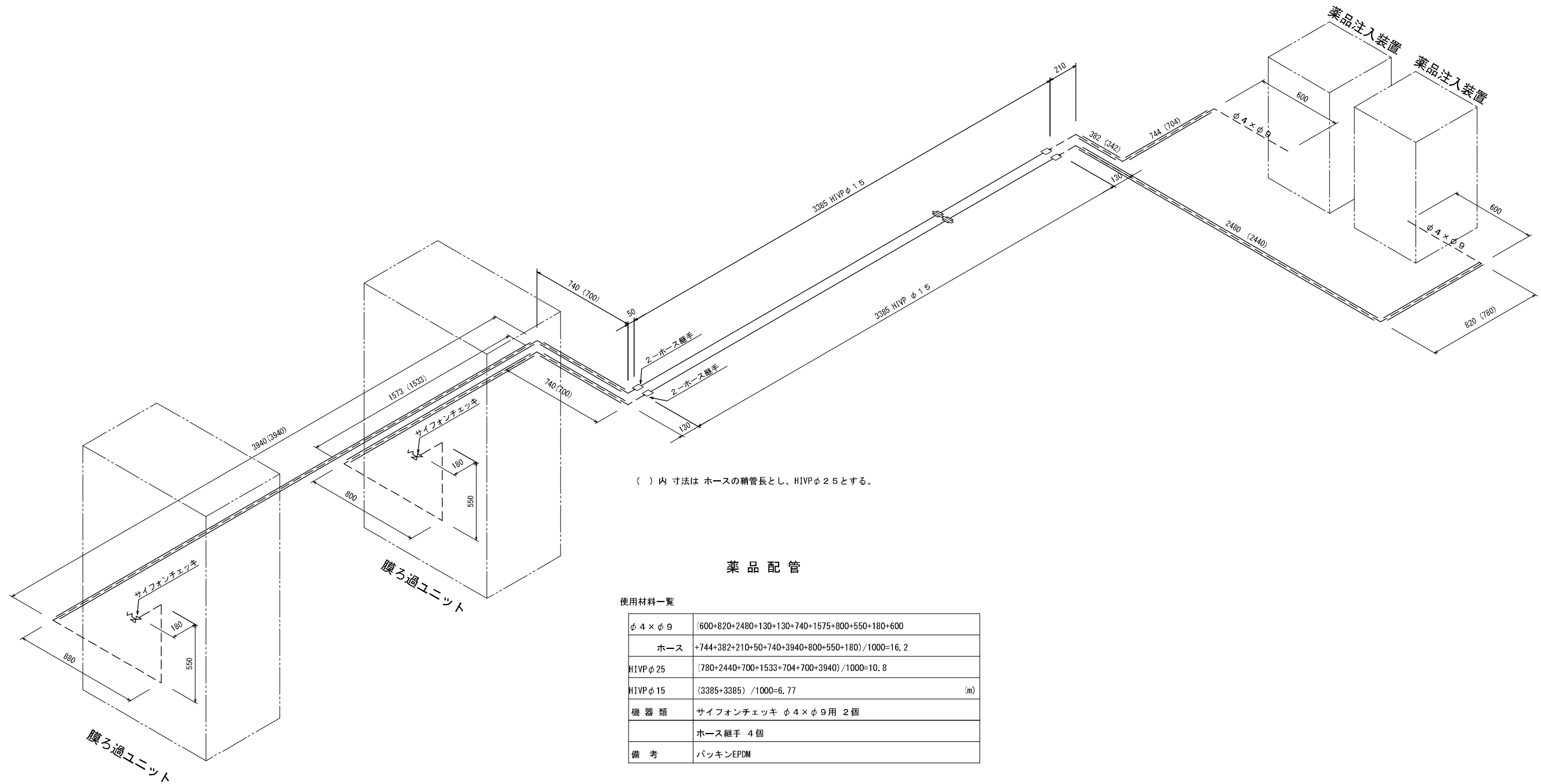
SUS304 TP φ50	$(3+220+300+1903+325+3+552+1500+747+320+380+778+3+300+420+1695+3+272+600+1197+3+232+400+3+2828+350+173+3+106+3)/1000=15.82$	(m)
機器類	伸縮可とう管50A 2個	
	空気抜き弁2.5A (補助弁付) 1個	
	ボール弁1.5A 2個	
備考	パッキンEPDM	



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(3)		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	M-09
事業者	九戸村		

宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(4)

S=NON SCALE



() 内寸法はホースの精管長とし、H1VP φ25とする。

薬品配管

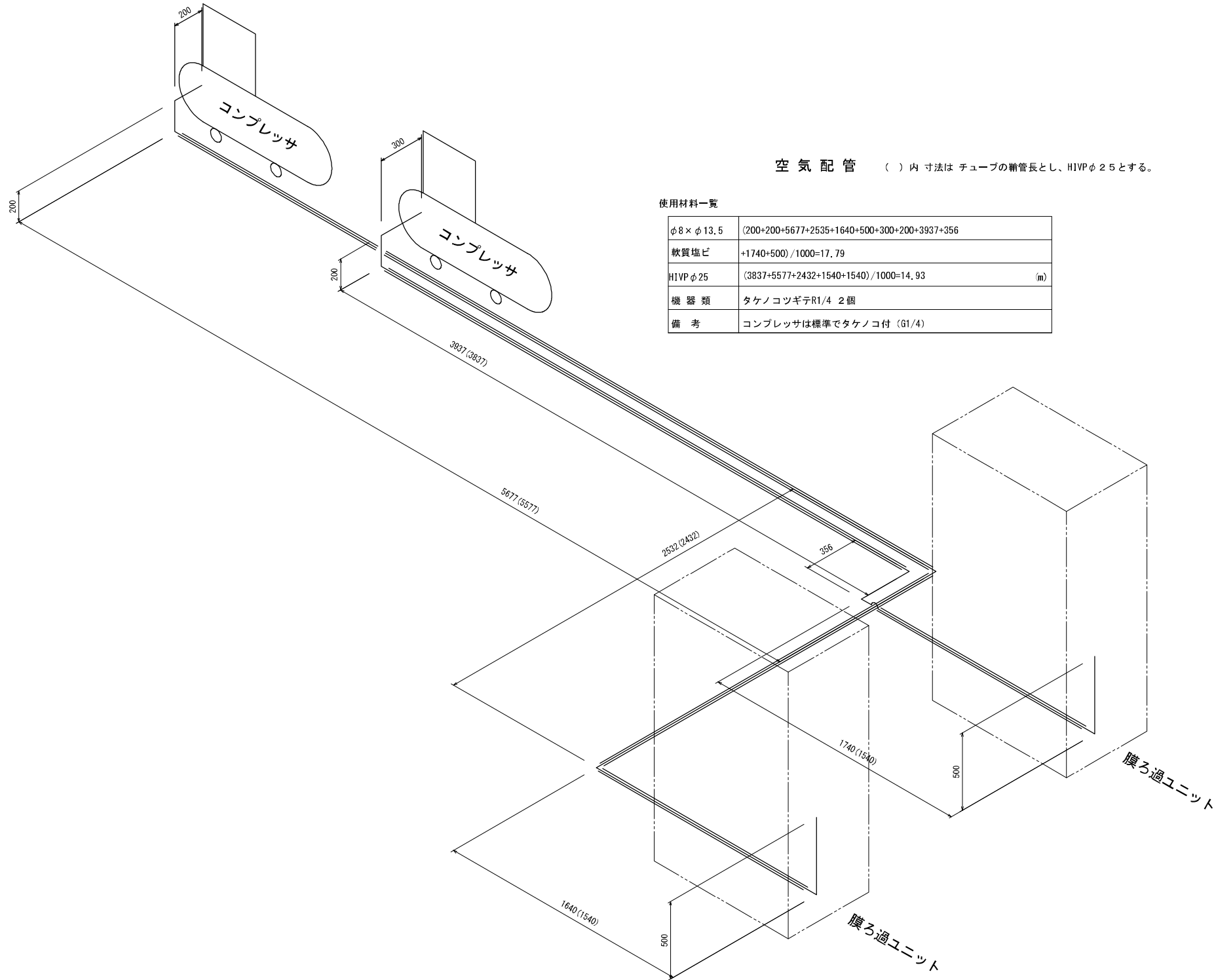
使用材料一覧

φ4×φ9	600+820+2480+130+130+740+1575+800+550+180+600	
ホース	+744+382+210+50+740+3940+800+550+180)/1000=16.2	
H1VP φ25	(780+2440+700+1533+704+700+3940)/1000=10.8	
H1VP φ15	(3385+3385)/1000=6.77	(m)
機器類	サイフォンチェック φ4×φ9用 2個	
	ホース継手 4個	
備考	パッキンEPDM	

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(4)		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	M-10
事業者	九戸村		

宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(5)

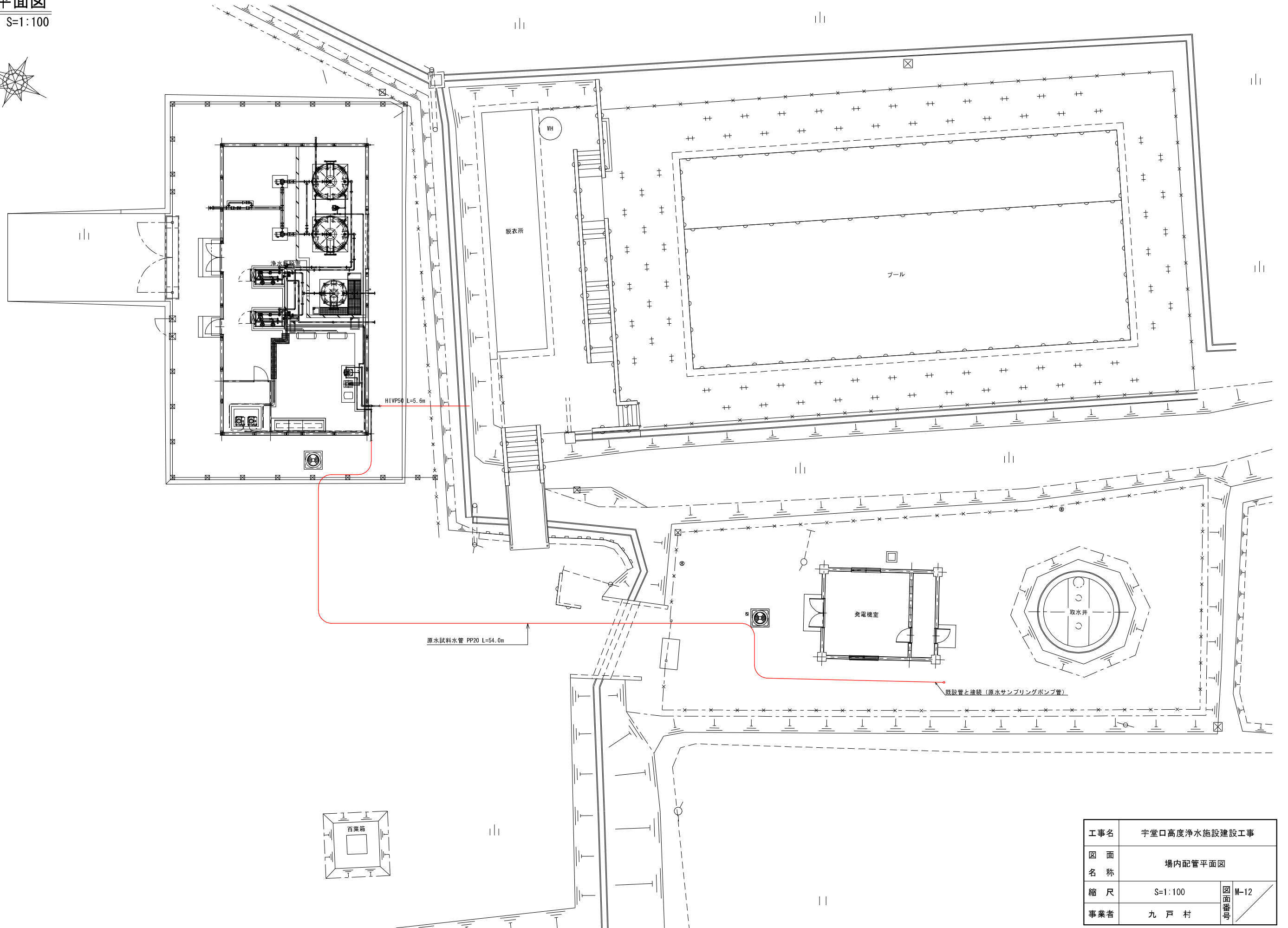
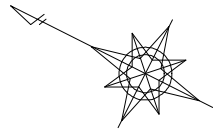
S=NON SCALE



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	宇堂口浄水設備配管 アイソメ図(5)		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	M-11
事業者	九戸村		

場内配管平面図

S=1:100

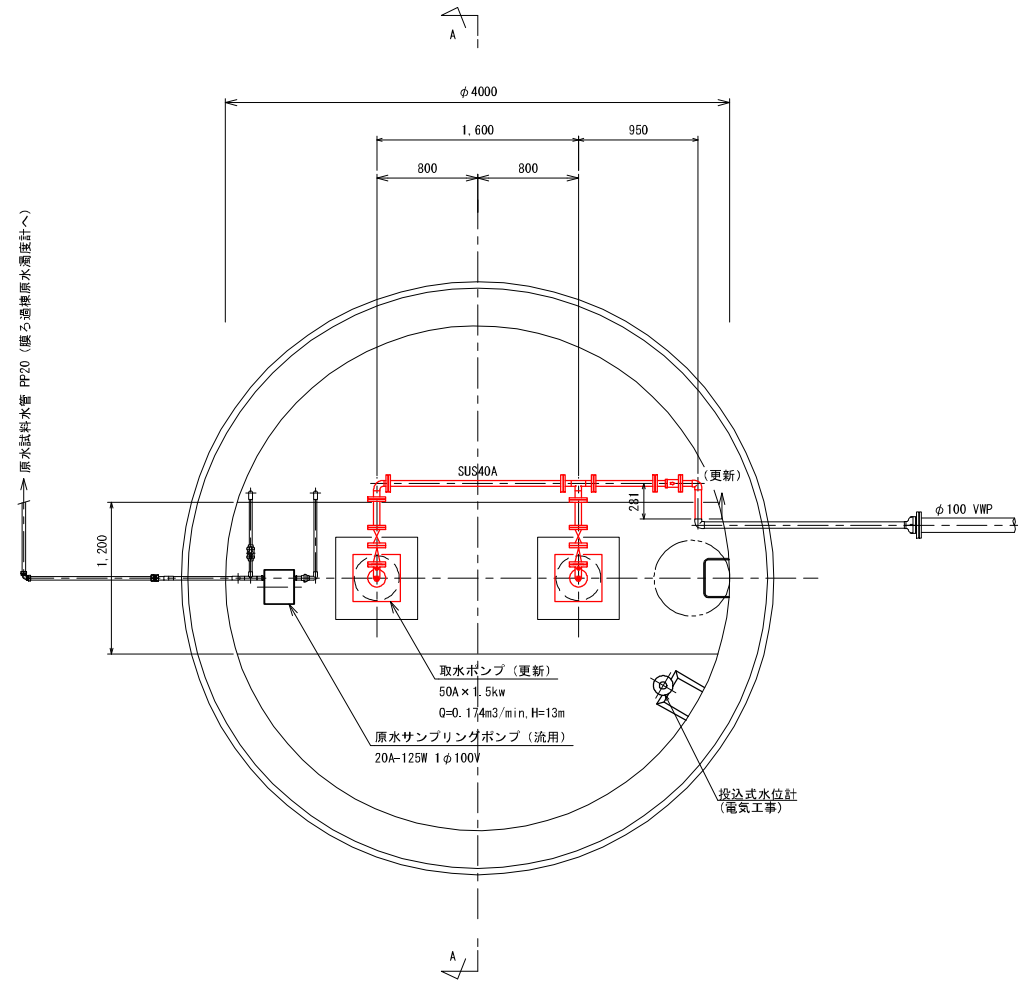


工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	場内配管平面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	M-12
事業者	九戸村		

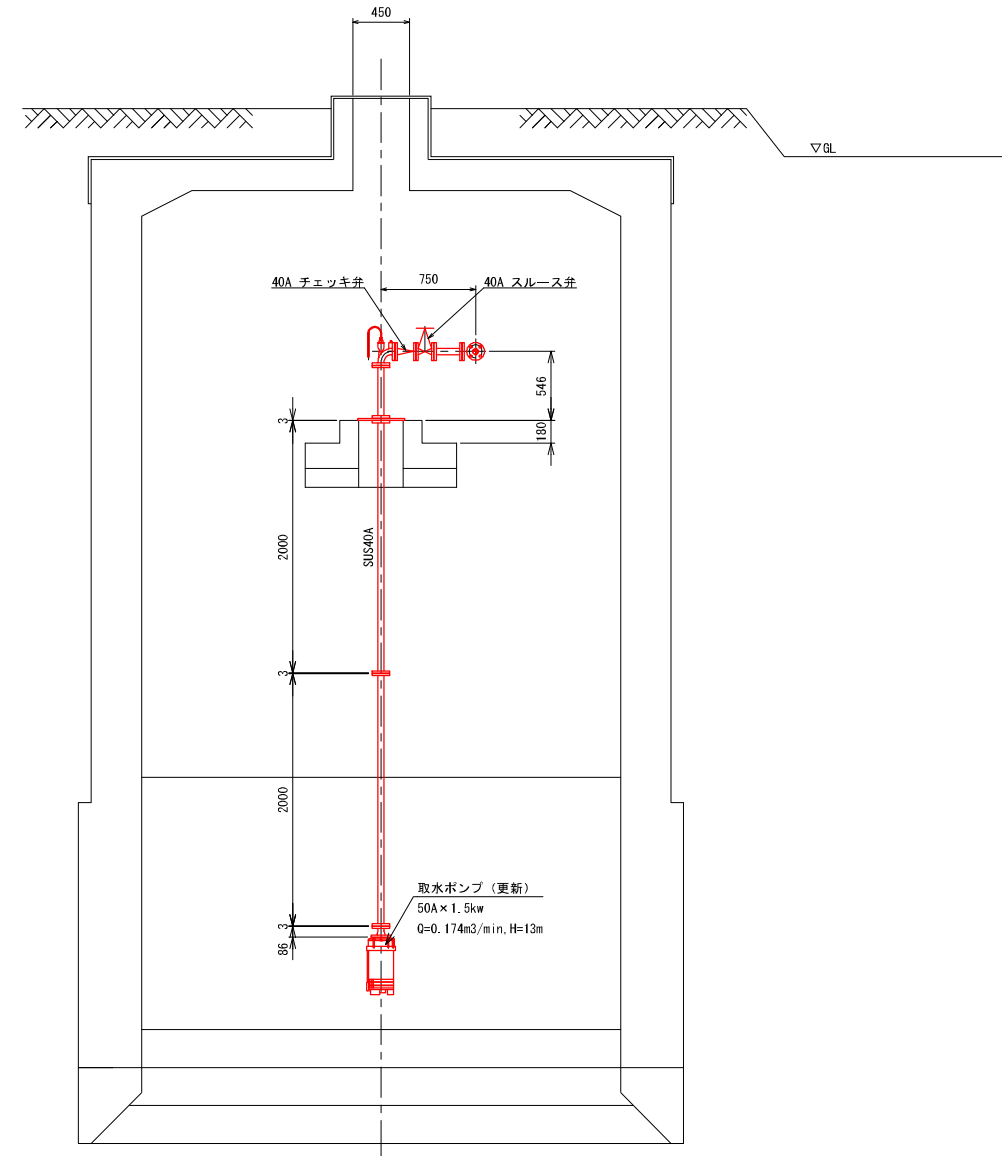
取水井 機器据付平面図・断面図

S=1:30

平面図



A-A 断面図

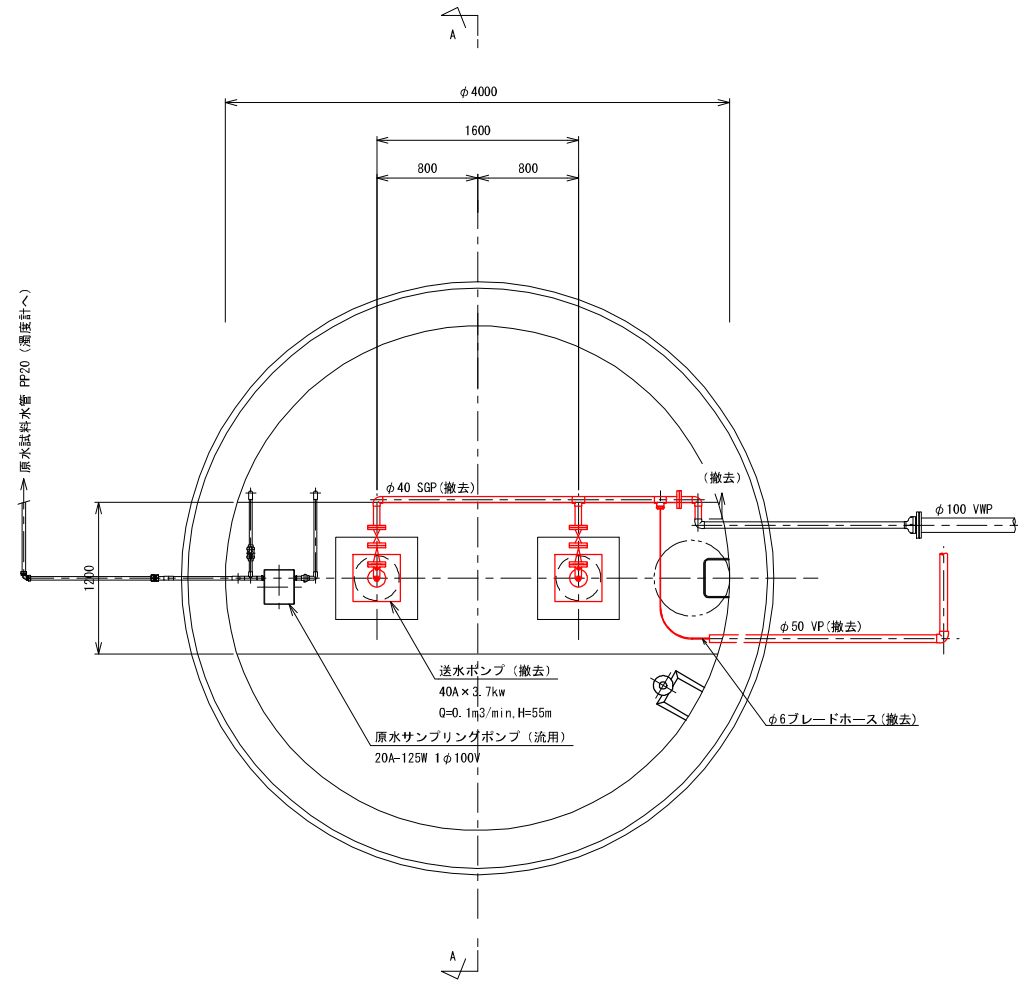


工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	取水井 機器据付平面図・断面図		
縮尺	S=1:30	図面番号	M-13
事業者	九戸村		

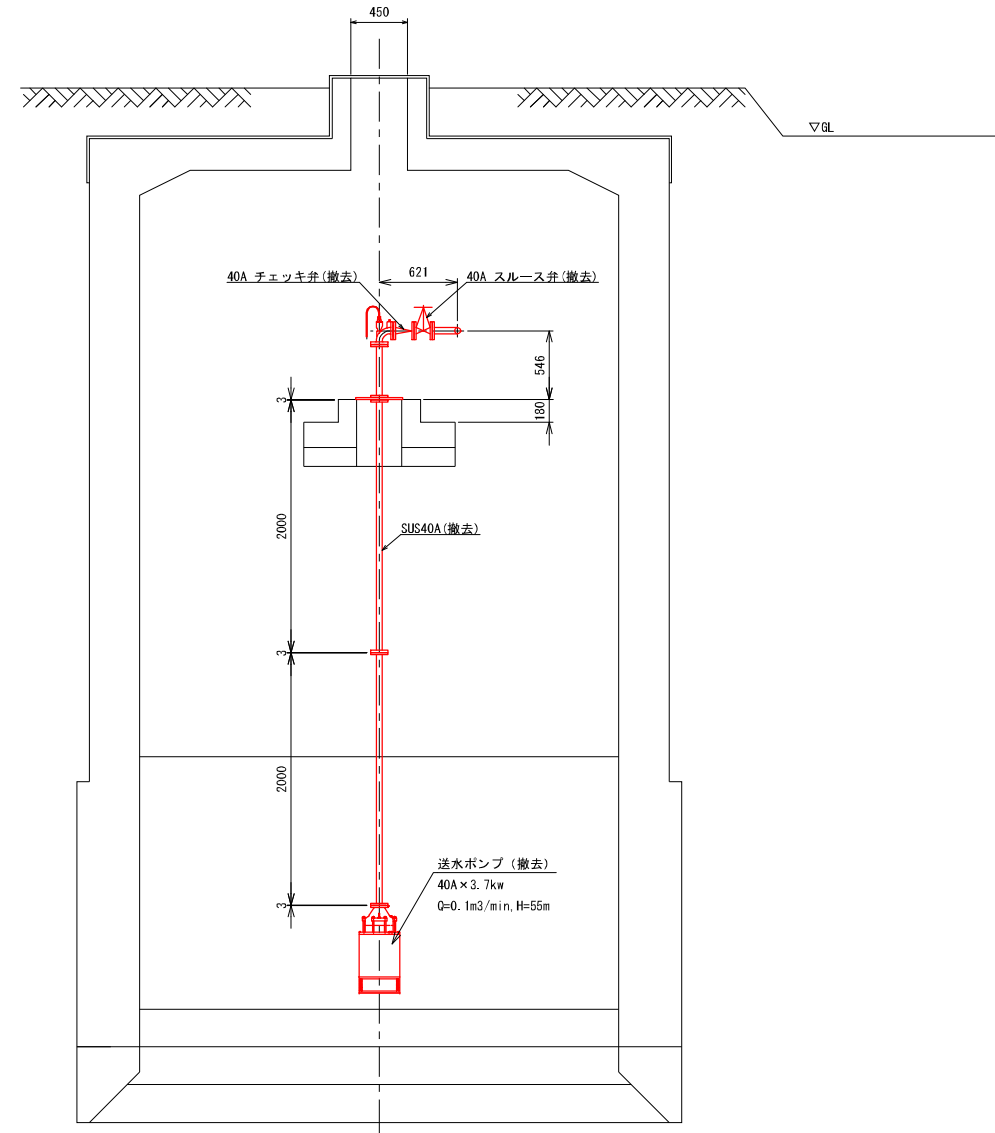
取水井 機器撤去平面図・断面図

S=1:30

平面図



A-A 断面図

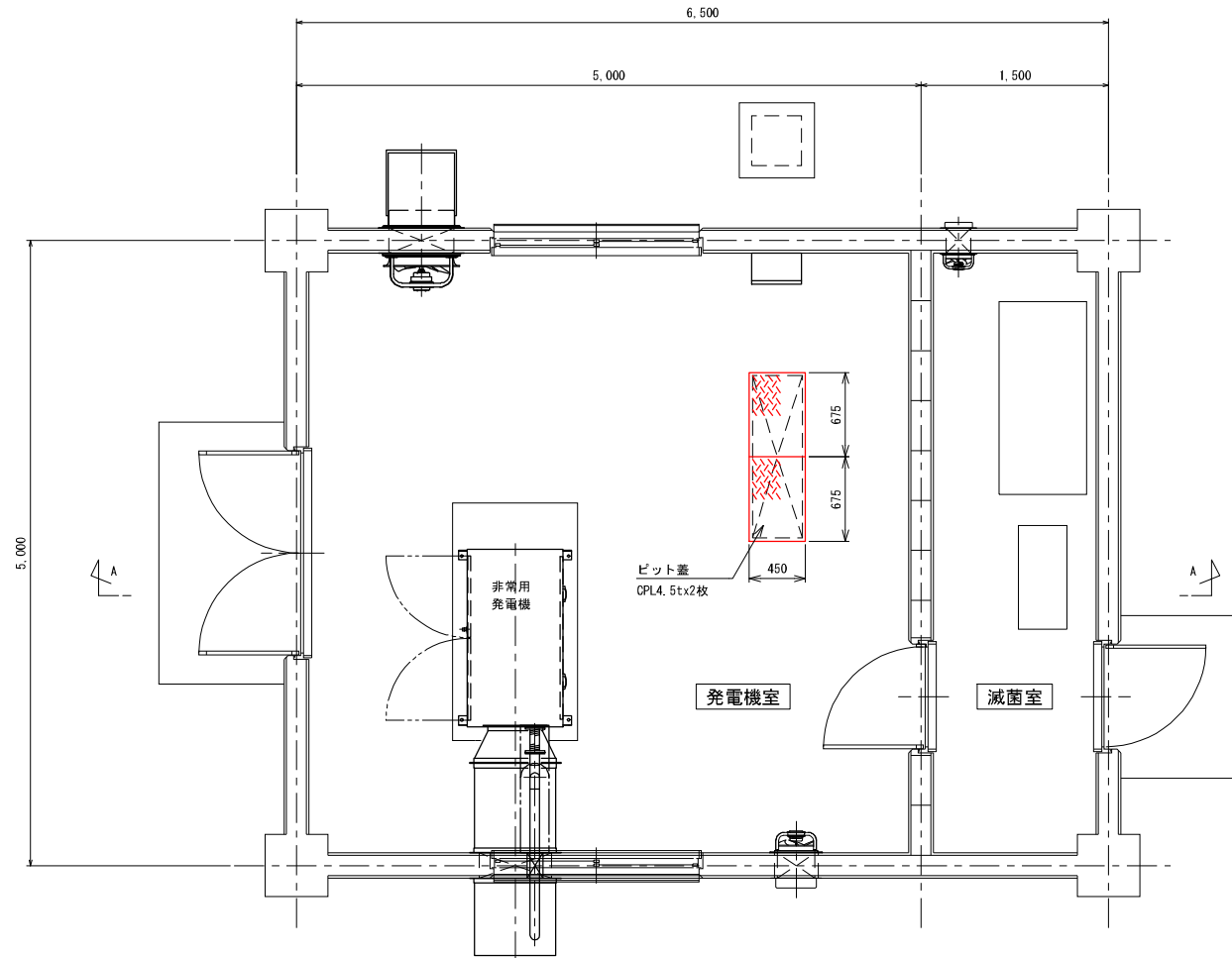


工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	取水井 機器撤去平面図・断面図		
縮尺	S=1:30	図面番号	M-14
事業者	九戸村		

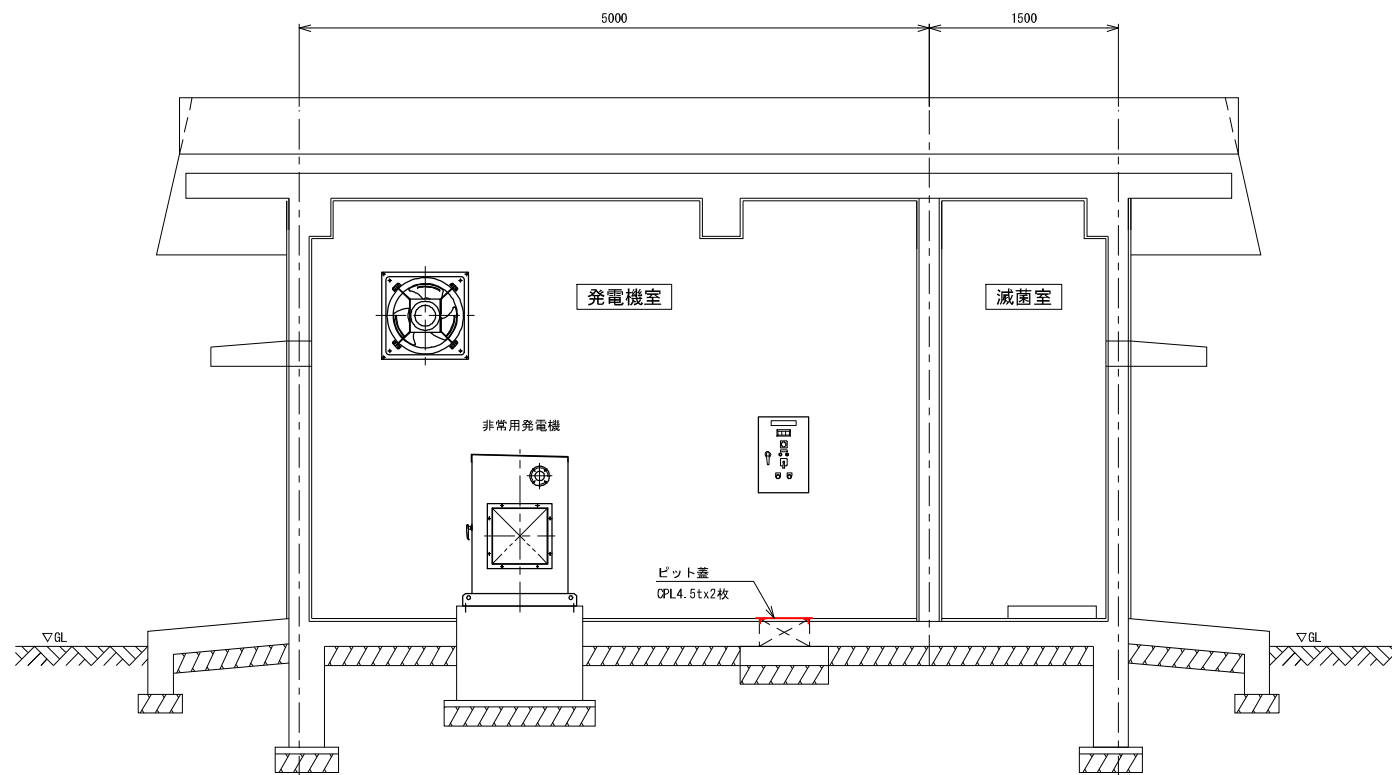
発電機室 機器据付平面図・断面図

S=1:30

平面図



A - A 断面図

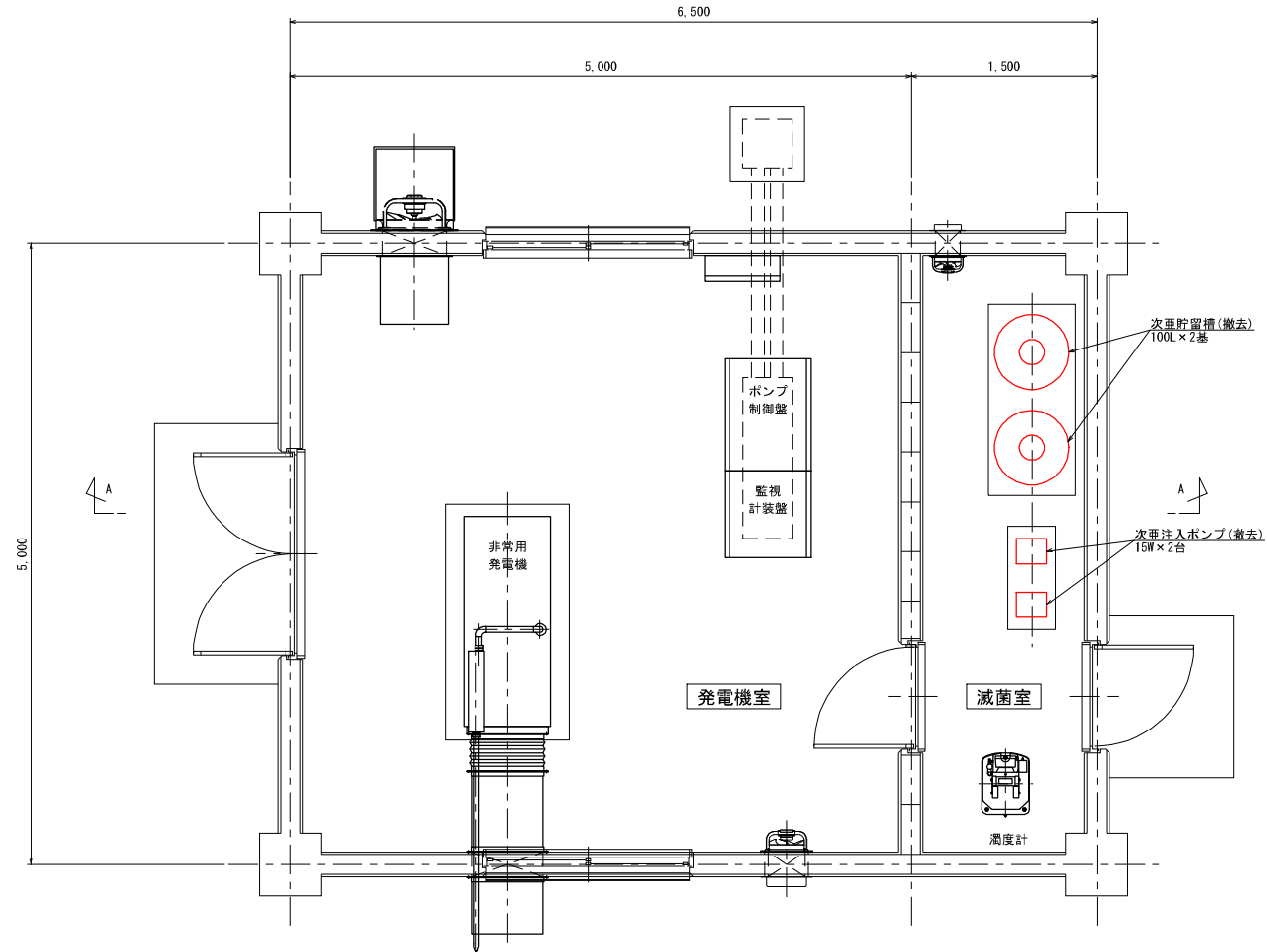


工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	発電機室 機器据付平面図・断面図		
縮尺	S=1:30	図面番号	M-15
事業者	九戸村		

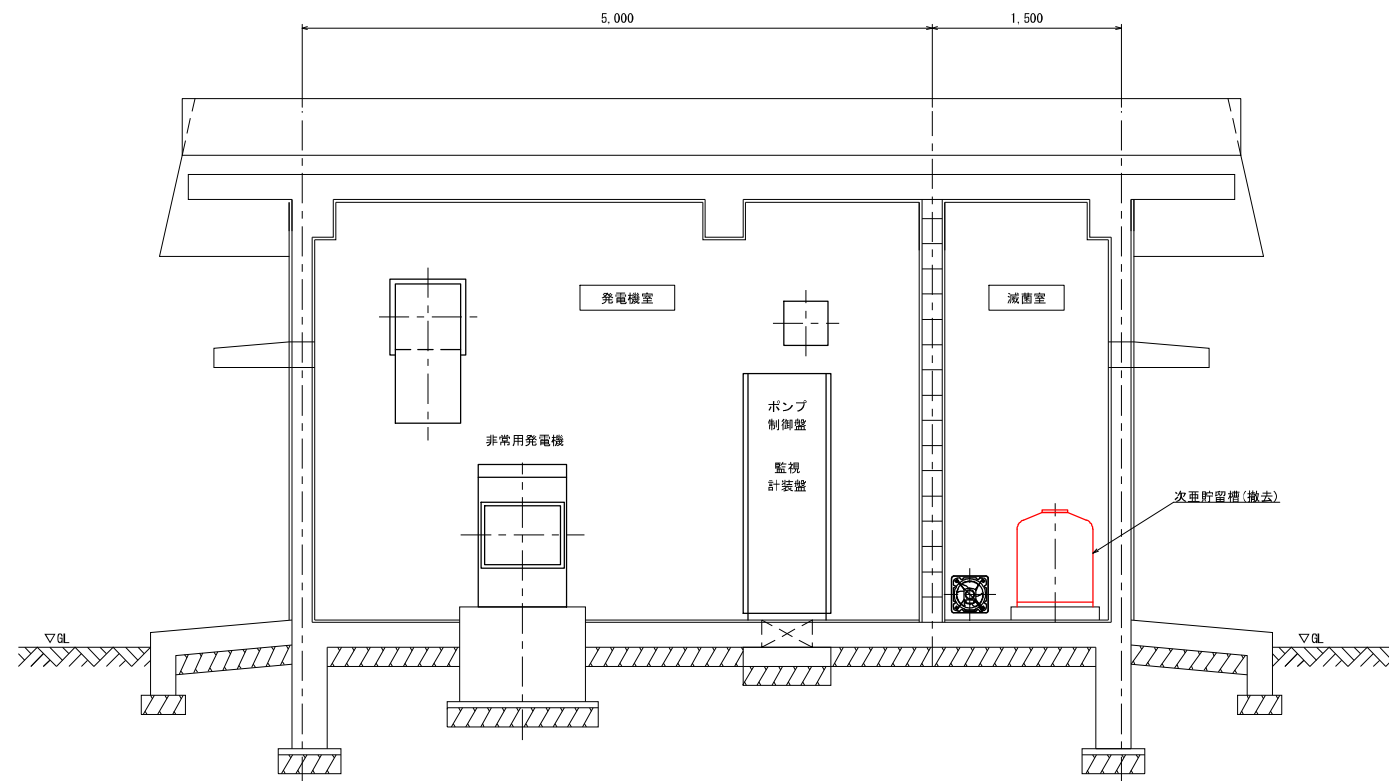
発電機室 機器撤去平面図・断面図

S=1:30

平面図



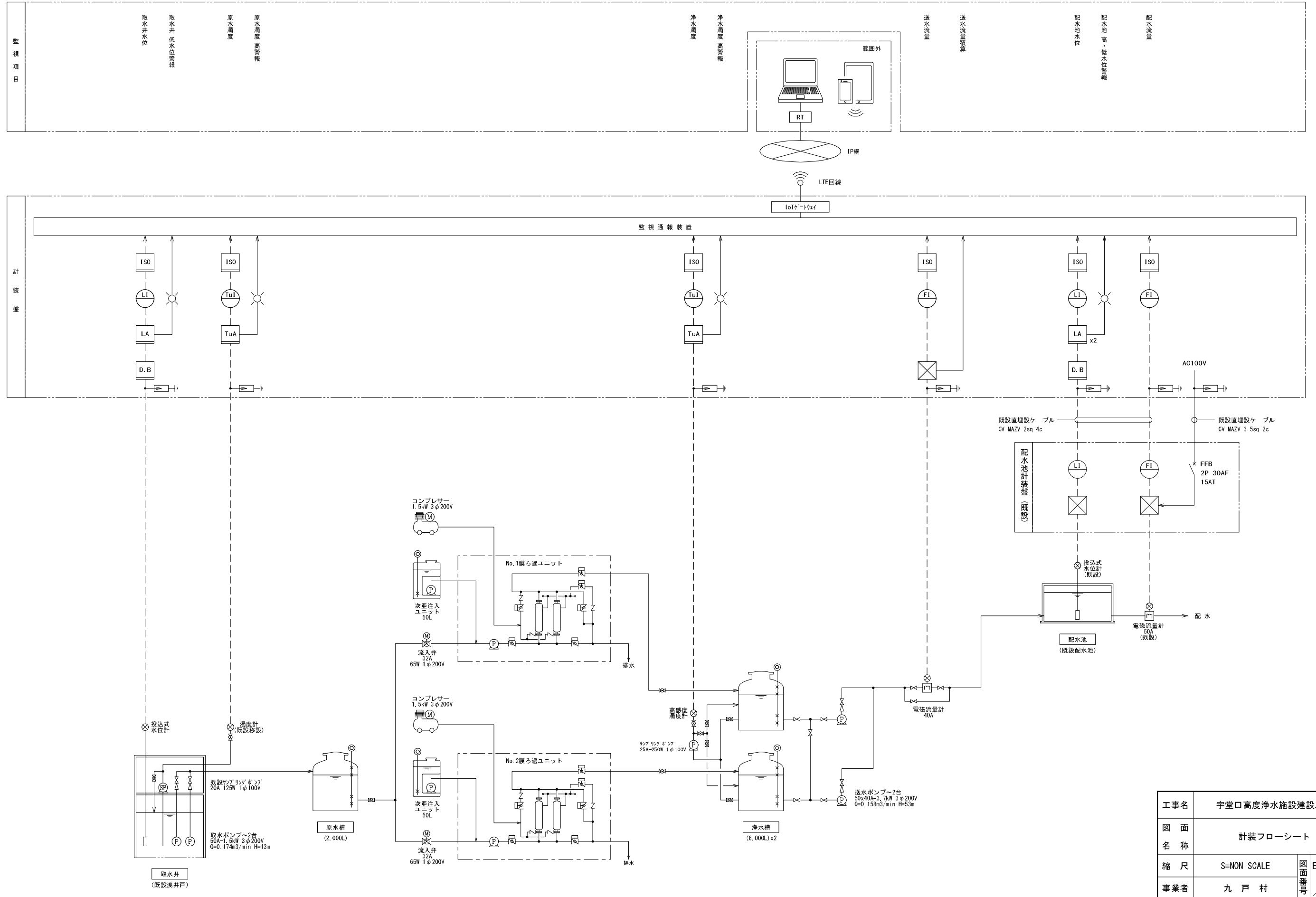
A-A 断面図



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	発電機室 機器撤去平面図・断面図		
縮尺	S=1:30	図面番号	M-16
事業者	九戸村		

計装フローシート

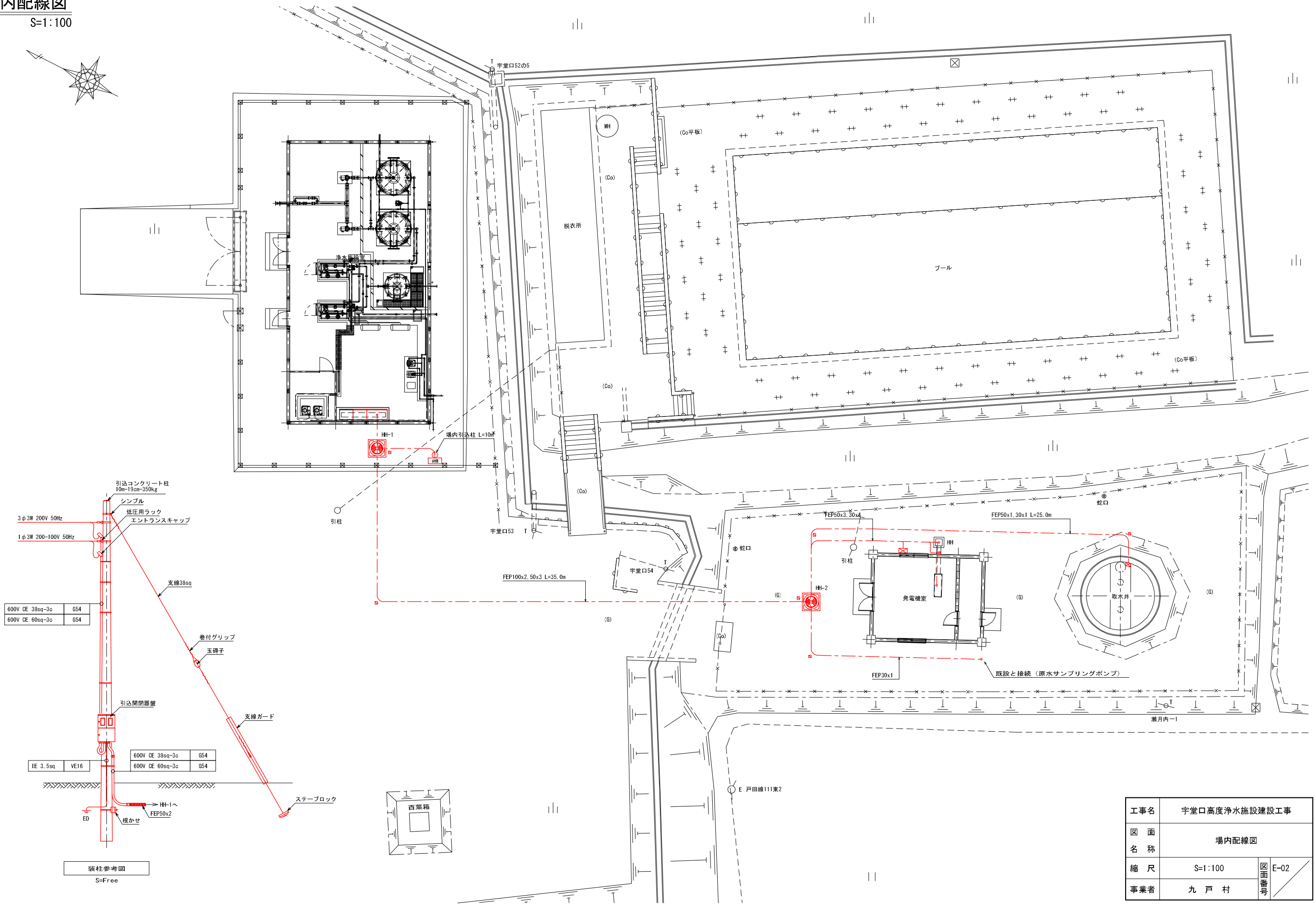
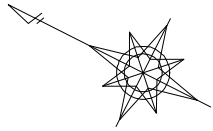
S=NON SCALE



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	計装フローシート		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	E-01
事業者	九戸村		

場内配線図

S=1:100

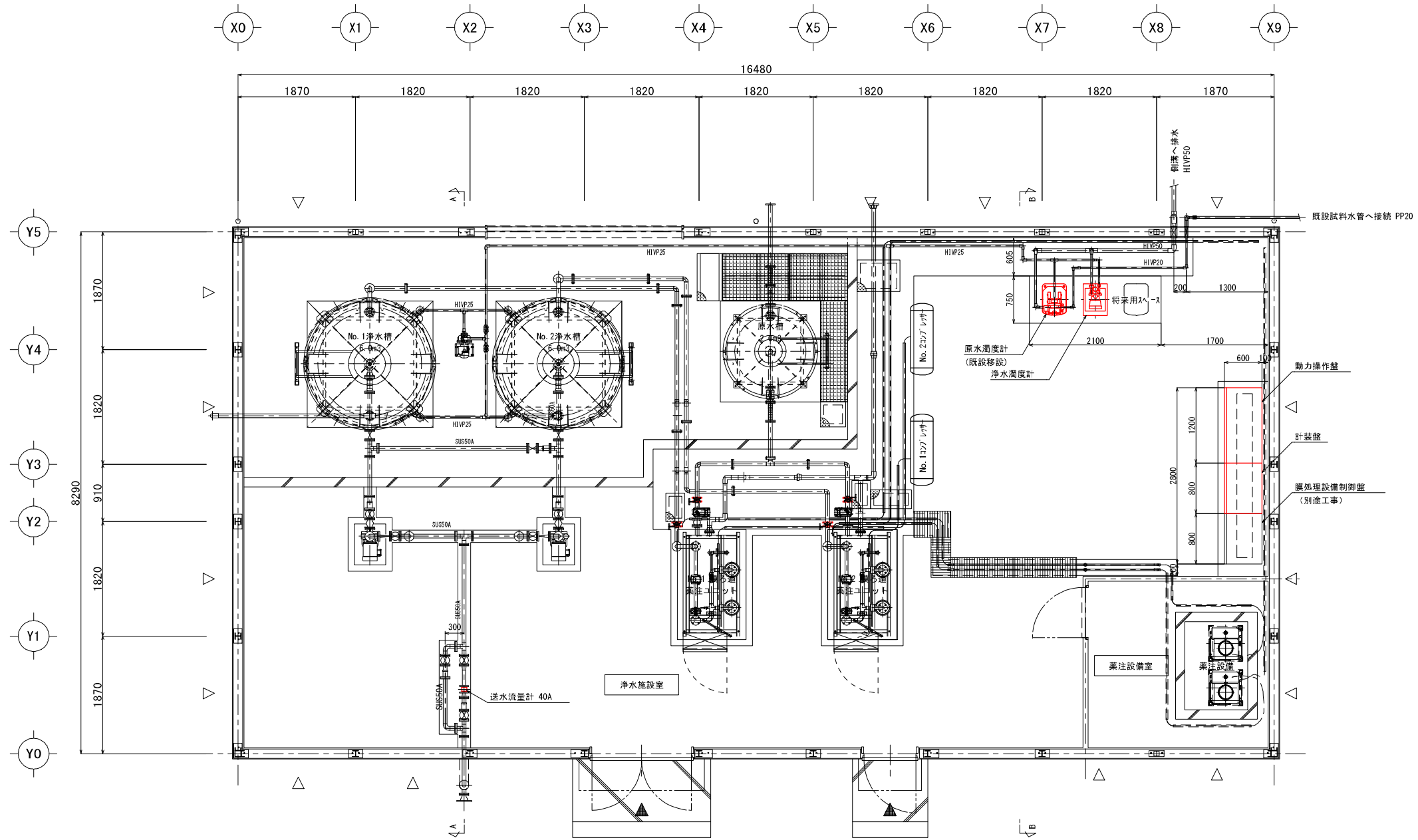


装柱参考図
S=Free

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	場内配線図	
縮尺	S=1:100	図面番号 E-02
事業者	九戸村	

浄水棟機器据付平面図

S=1:40

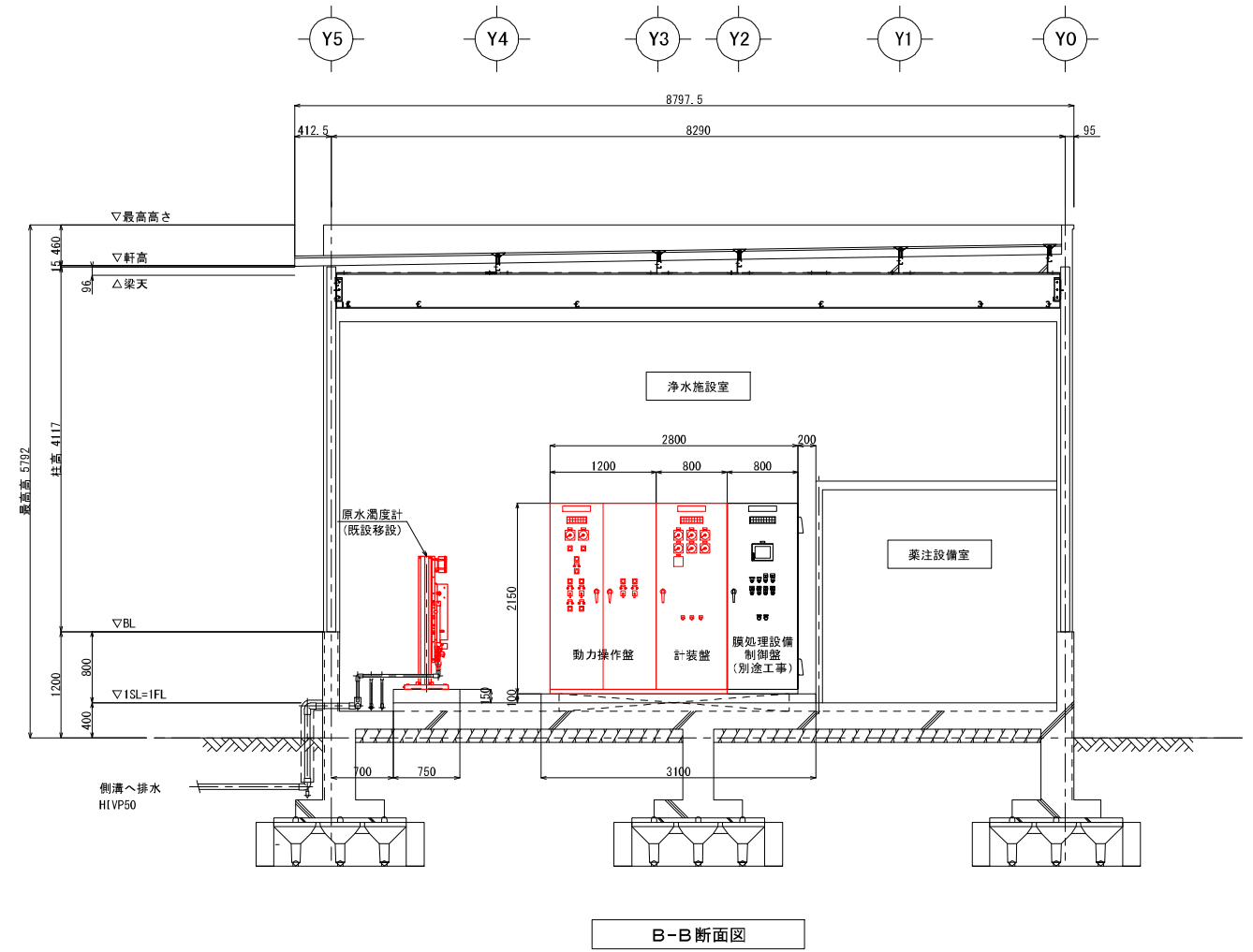
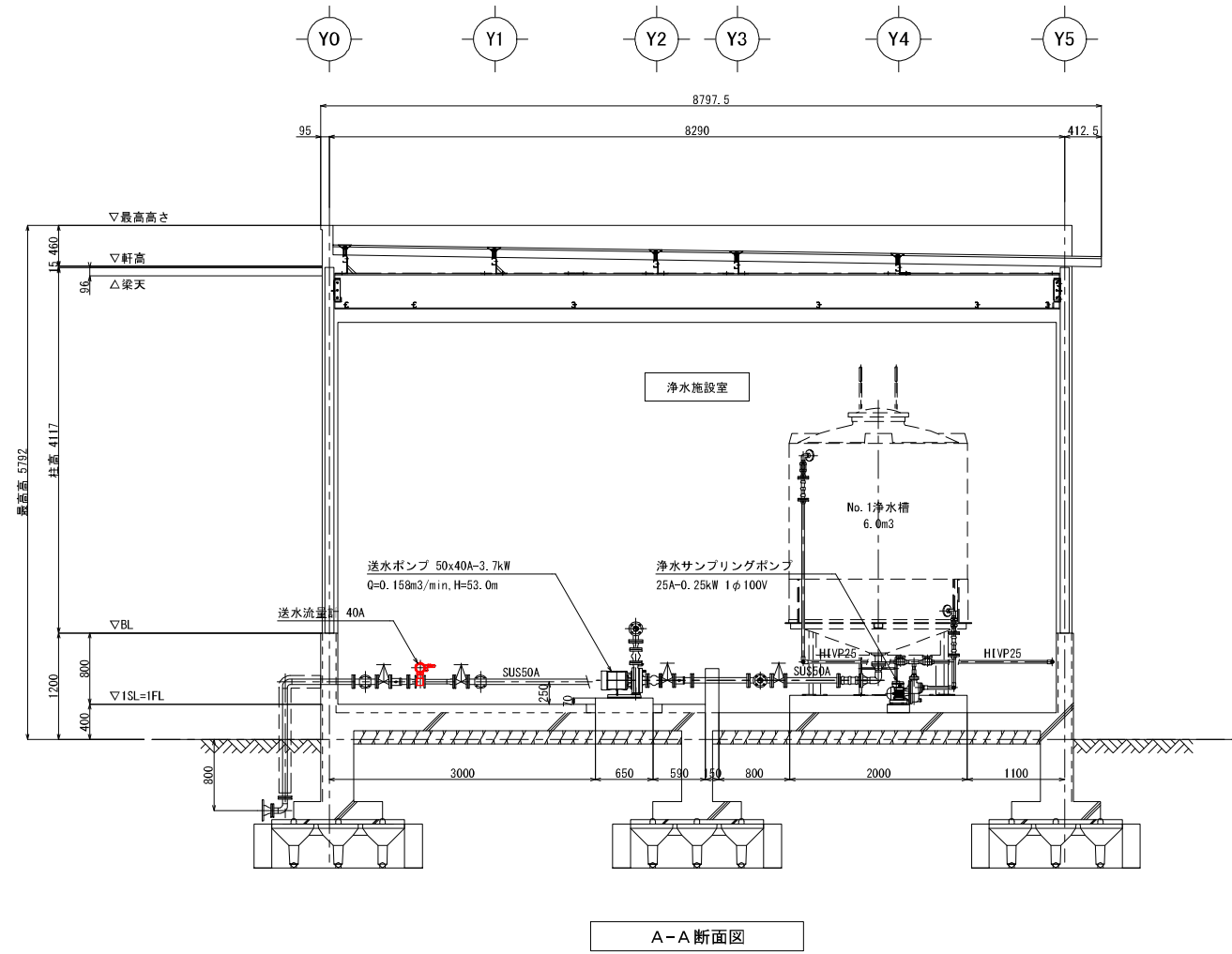


平面図

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	浄水棟機器据付平面図		
縮尺	S=1:40	図面番号	E-03
事業者	九戸村		

浄水棟機器据付断面図

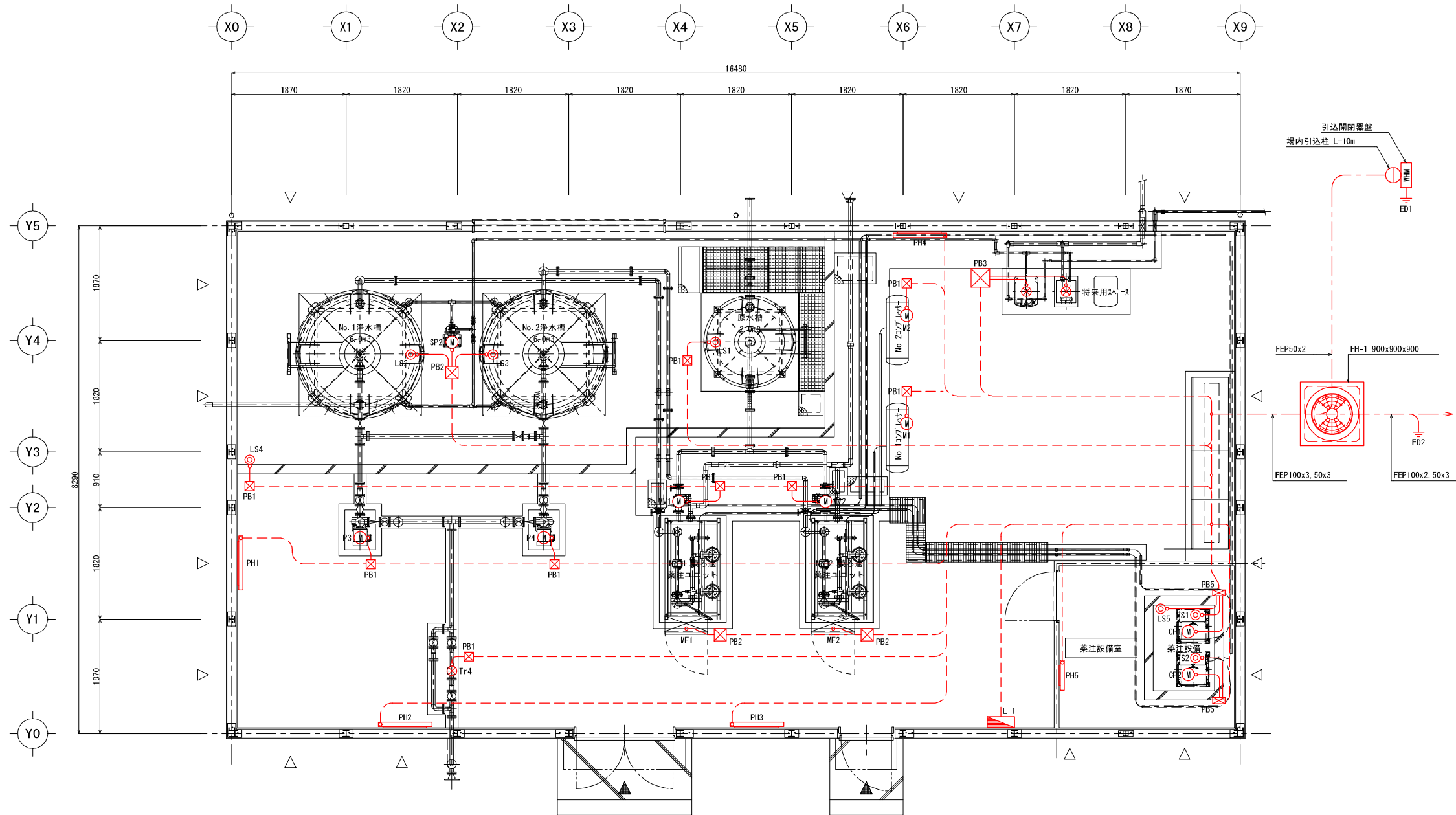
S=1:40



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	浄水棟機器据付断面図		
縮尺	S=1:40	図面番号	E-04
事業者	九戸村		

浄水棟電気配線図

S=1:40

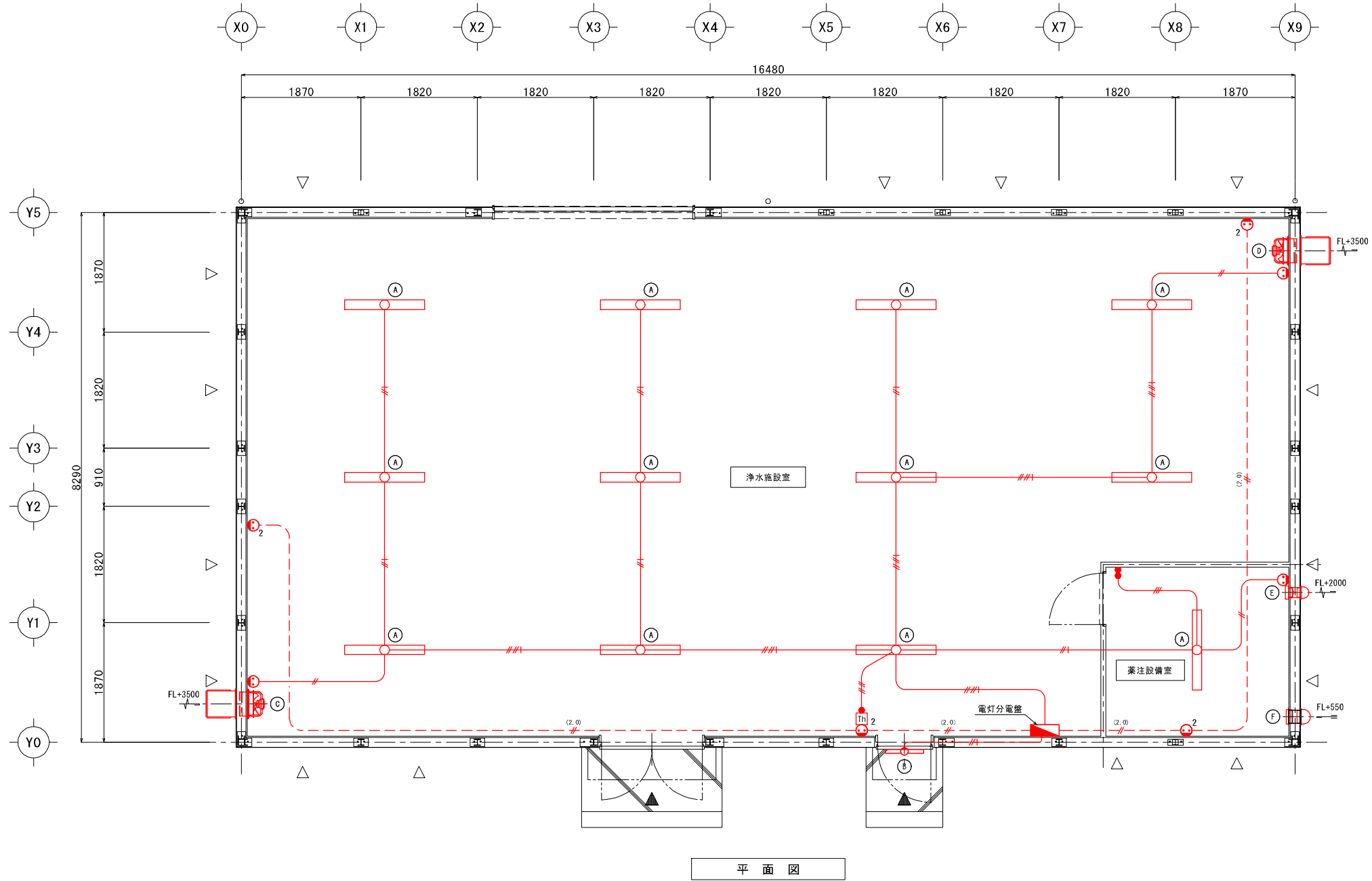


平面図

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	浄水棟電気配線図		
縮尺	S=1:40	図面番号	E-05
事業者	九戸村		

浄水棟照明配線図

S=1:40



平面図

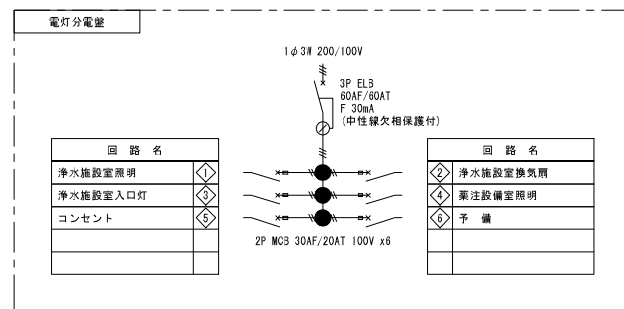
器具名称一覧

記号	記号名称	備考
A	LED富士型器具 LSSMP/3P-4-46	
B	LED付-30分防雨型 人キチ-EE付	
C	有圧換気扇 給気形 電動シャッター付	
D	φ35cm-150W 100V スフィス製約20°-加付	
E	有圧換気扇 排気形 電動シャッター付	
F	φ35cm-150W 100V スフィス製約20°-加付	
Th	n/27付 150用 100V 電気シャッター付	
	n/27付 200用 スフィス製約20°-加付	
	n/27付 200用 スフィス製約20°-加付	
	温度スイッチ (型込形)	

注記)
 1. 特記なき電線は、1V1.6mmとする。
 2. 特記なき電線管は、FF22とする。

照明器具表

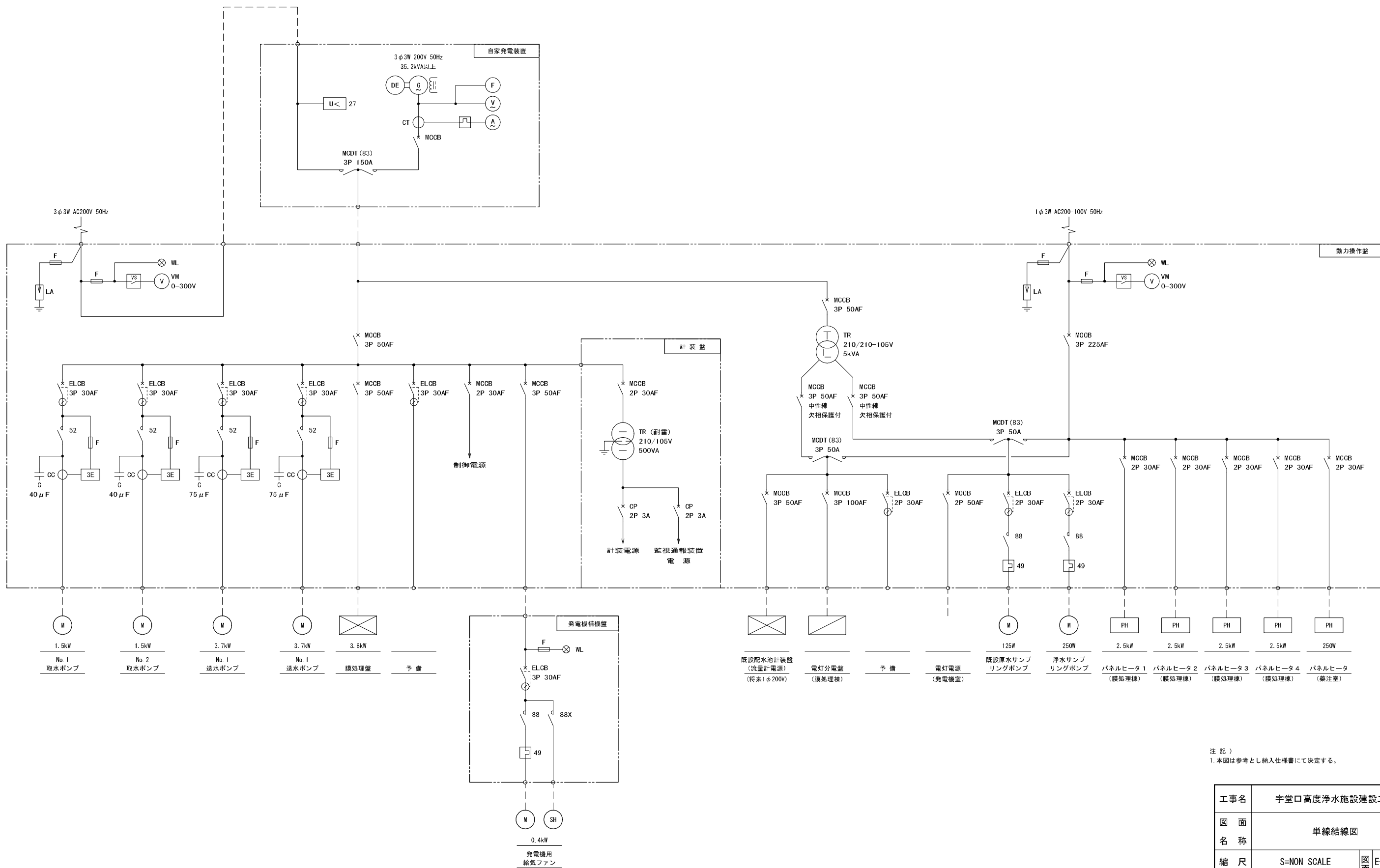
A	B
LED富士型器具 公共形式: LSSMP/3P-4-46	LED付-30分防雨型
一般付、5200lm/27 消費電力32.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体: スフィス(高反射白色粉体塗装) 防雨型: 防雨型付(約20°-加付)付	LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと(熱線)付・EE付付 (ON/OFF型) 器具光束1470lm、消費電力14.9W、電圧100~242V 本体: スフィス、加付-約20°-加付 設置付型、保護等級: IP23 IP23防雨型、純白色 (5000K)、Ra83 電源装置はタイプ-側に内蔵



工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	浄水棟照明配線図	
縮尺	S=1:40	図面番号 E-06
事業者	九戸村	

単線結線図

S=NON SCALE

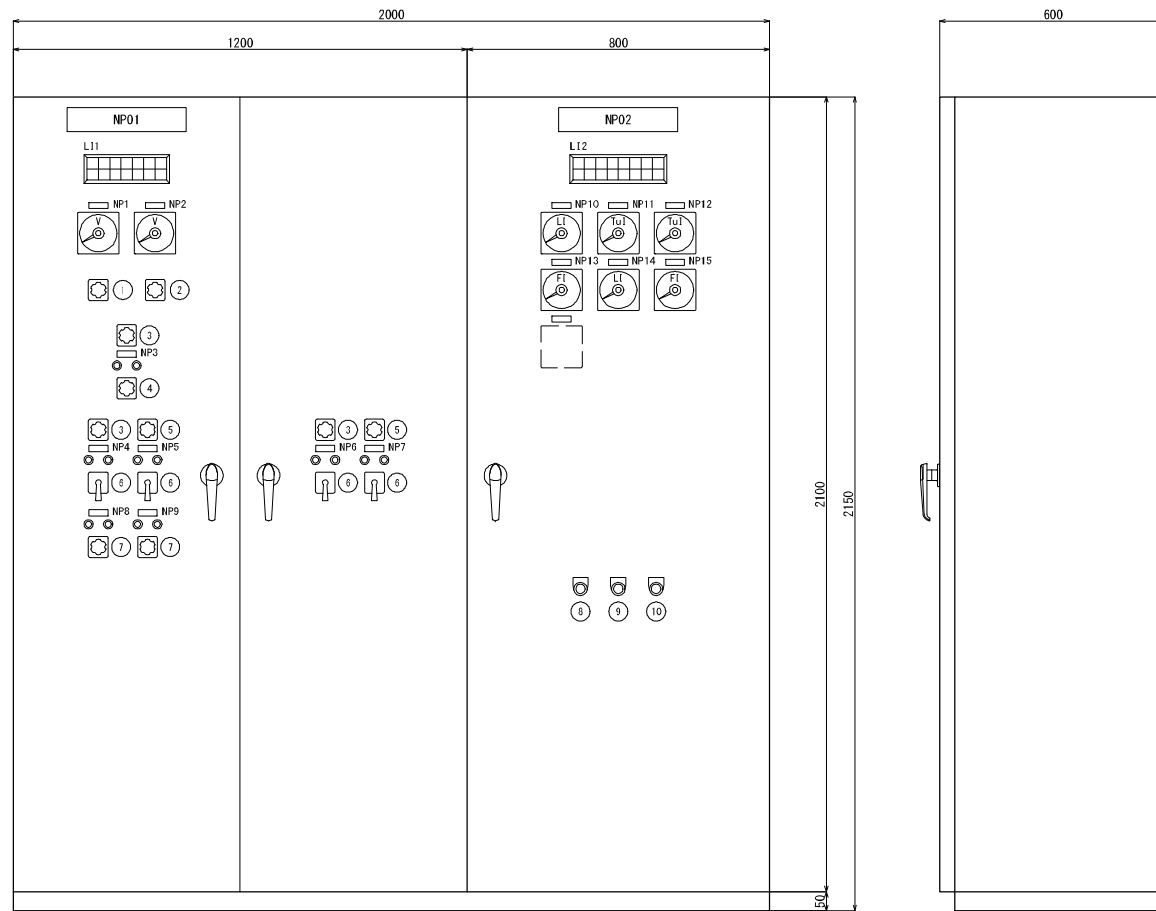


注記)
1. 本図は参考とし納入仕様書にて決定する。

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	単線結線図	
縮尺	S=NON SCALE	図面番号 E-07
事業者	九戸村	

盤外形図

S=NON SCALE

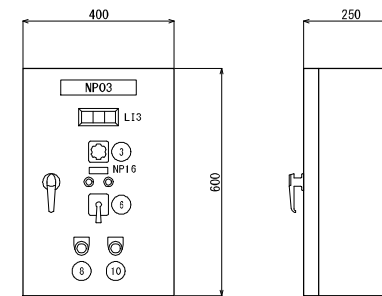


動力操作盤

計装盤

正面

側面



発電機補機盤

正面

側面

ネームプレート

記号	記入文字
NP01	動力操作盤
NP02	計装盤
NP1	動力電圧
NP2	電灯電圧
NP3	非常用発電機
NP4	No. 1取水ポンプ
NP5	No. 2取水ポンプ
NP6	No. 1送水ポンプ
NP7	No. 2送水ポンプ
NP8	原水サンプリングポンプ
NP9	浄水サンプリングポンプ
NP10	取水井水位
NP11	原水濁度
NP12	浄水濁度
NP13	送水流量
NP14	配水池水位
NP15	配水流量

マークプレート

記号	記入文字
①	切替開閉器 切 R-S S-T I-R 切
②	切替開閉器 切 R-N N-T I-R 切
③	切替開閉器 手動 自動
④	切替開閉器 買電 自家発
⑤	切替開閉器 No. 1 交互 No. 2
⑥	操作開閉器 停止 運転
⑦	切替開閉器 停止 運転
⑧	押釦開閉器 警報停止
⑨	押釦開閉器 表示復帰
⑩	押釦開閉器 ランプテスト

L11

異常発	電力電源	No. 1 取水ポンプ 故障	No. 1 送水ポンプ 故障	原水 サンプリングポンプ 故障	給気ファン 故障	(予備)
	電灯電源	No. 2 取水ポンプ 故障	No. 2 送水ポンプ 故障	浄水 サンプリングポンプ 故障	(予備)	(予備)

L12

(予備)	原水槽 高水位	No. 1 浄水槽 高水位	No. 2 浄水槽 高水位	原水濁度 高	配水池 高水位	(予備)	(予備)
取水井 低水位	原水槽 低水位	No. 1 浄水槽 低水位	No. 2 浄水槽 低水位	浄水濁度 高	配水池 低水位	(予備)	(予備)

ネームプレート/マークプレート

記号	記入文字
NP03	発電機補機盤
NP16	給気ファン
③	切替開閉器 手動 自動
⑥	操作開閉器 停止 運転
⑧	押釦開閉器 警報停止
⑩	押釦開閉器 ランプテスト

L13

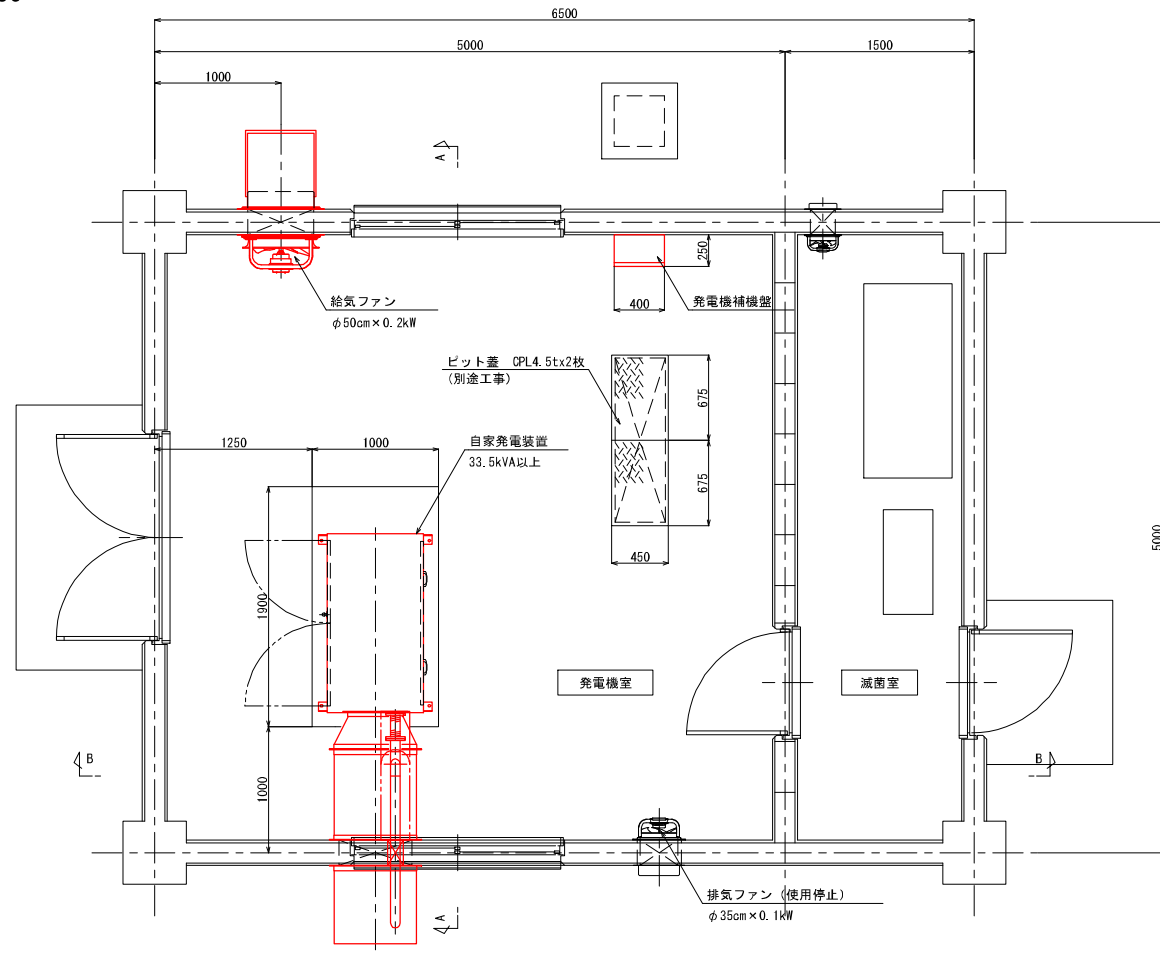
電源	給気ファン 故障	(予備)
----	----------	------

注記
1. 本図は参考とし納入仕様書にて決定する。

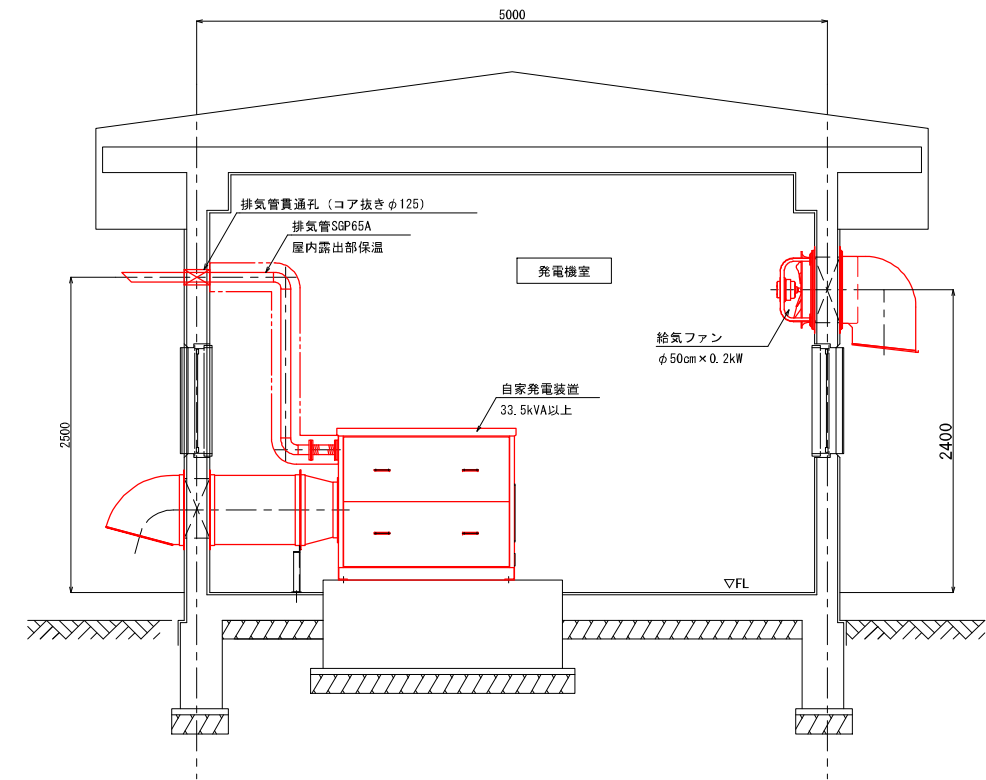
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	盤外形図		
縮尺	S=1:10	図面番号	E-08
事業者	九戸村		

発電機室据付図

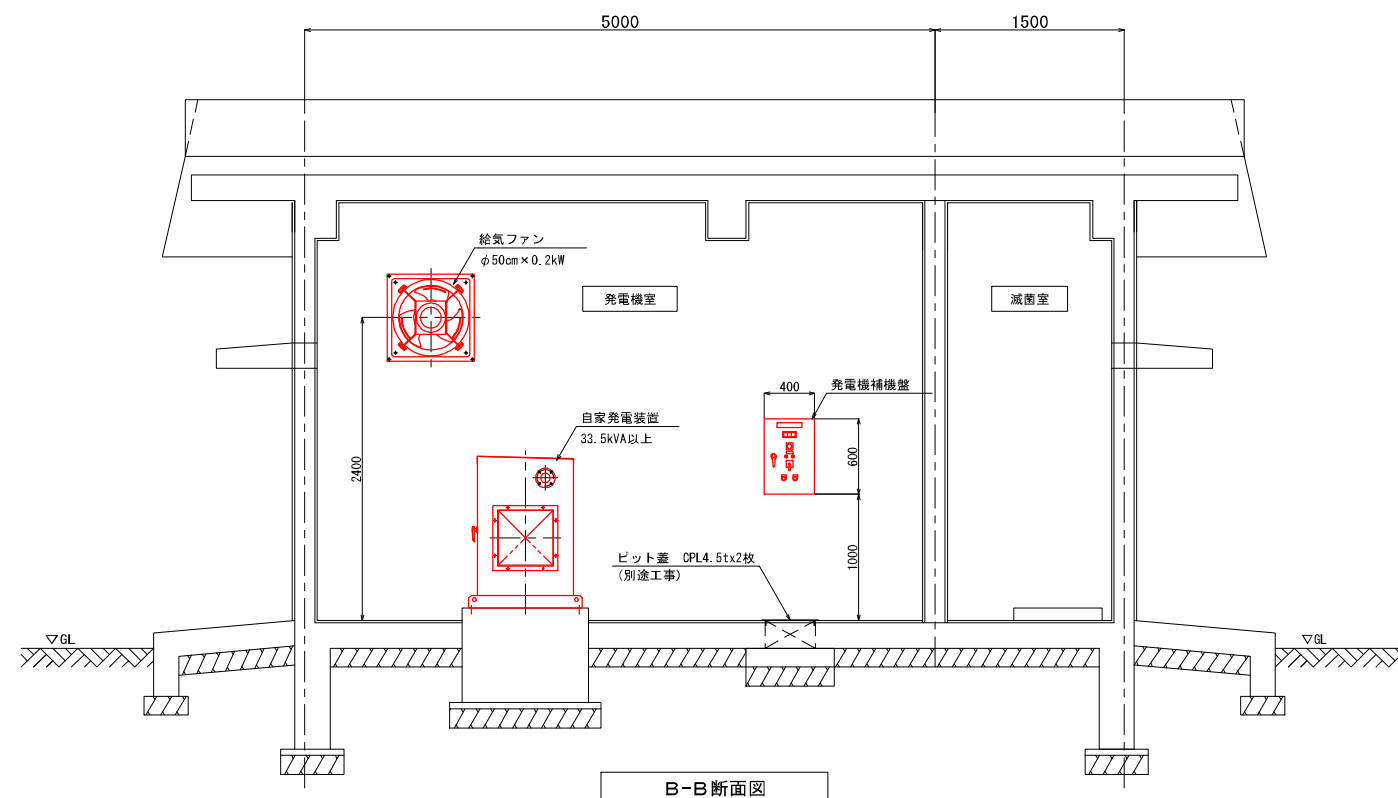
S=1:30



平面図



A-A断面図

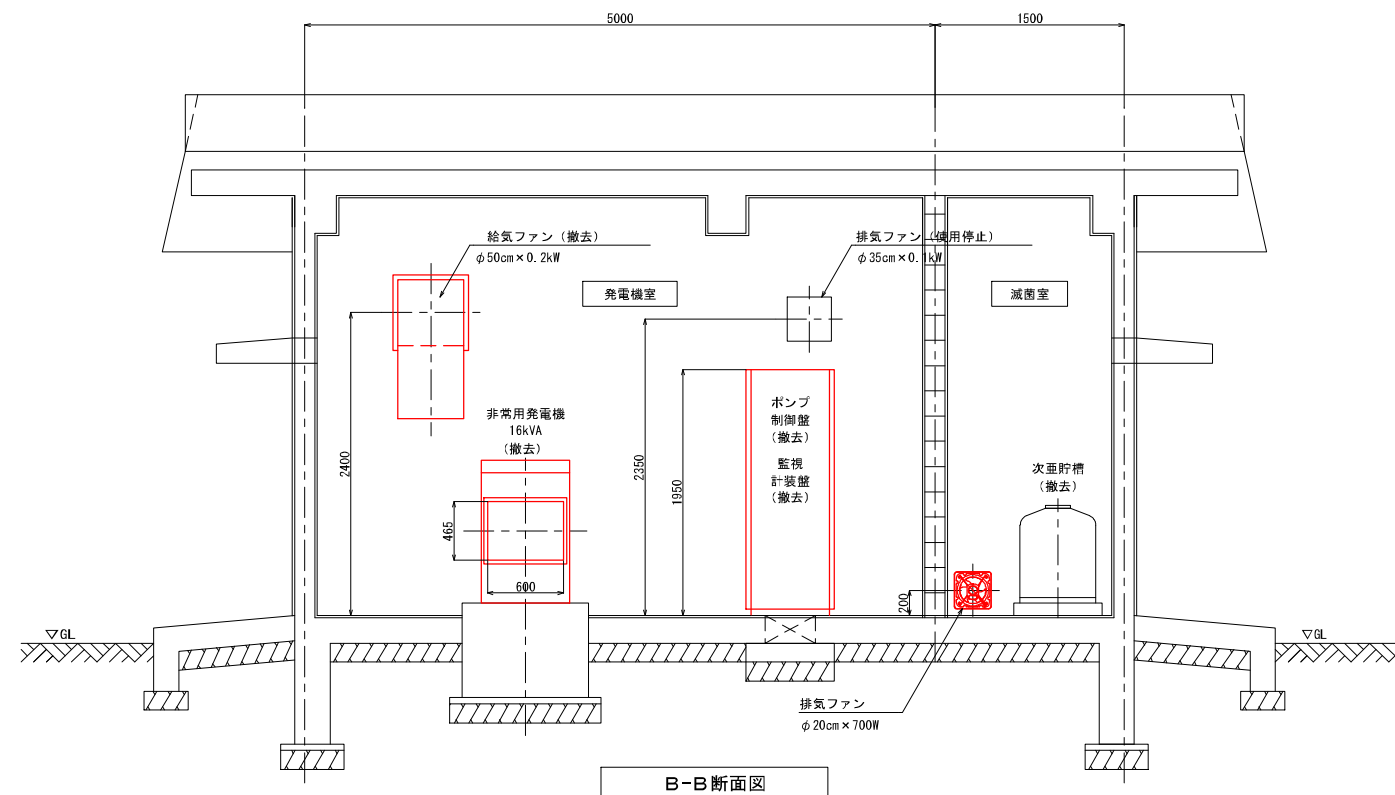
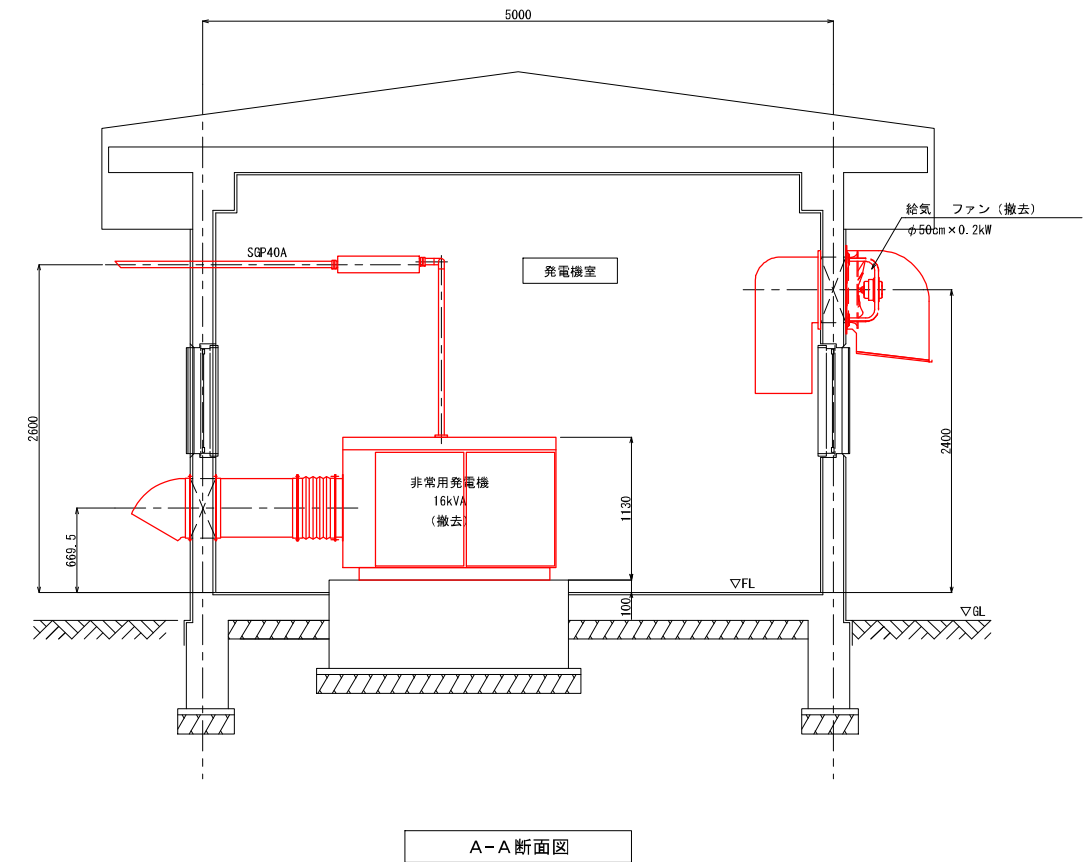
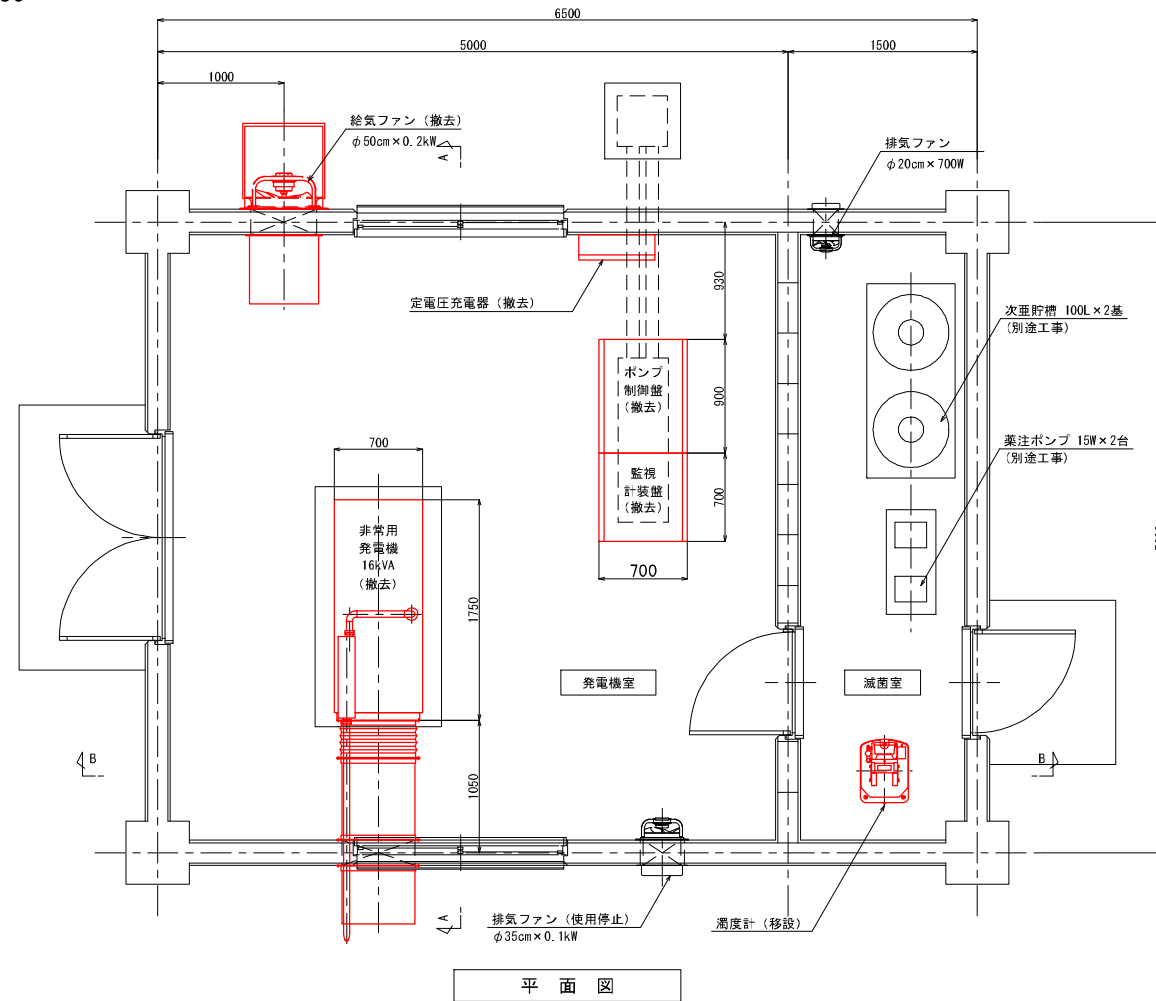


B-B断面図

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	発電機室据付図	
縮尺	S=1:30	図面番号 E-09
事業者	九戸村	

発電機室撤去図

S=1:30

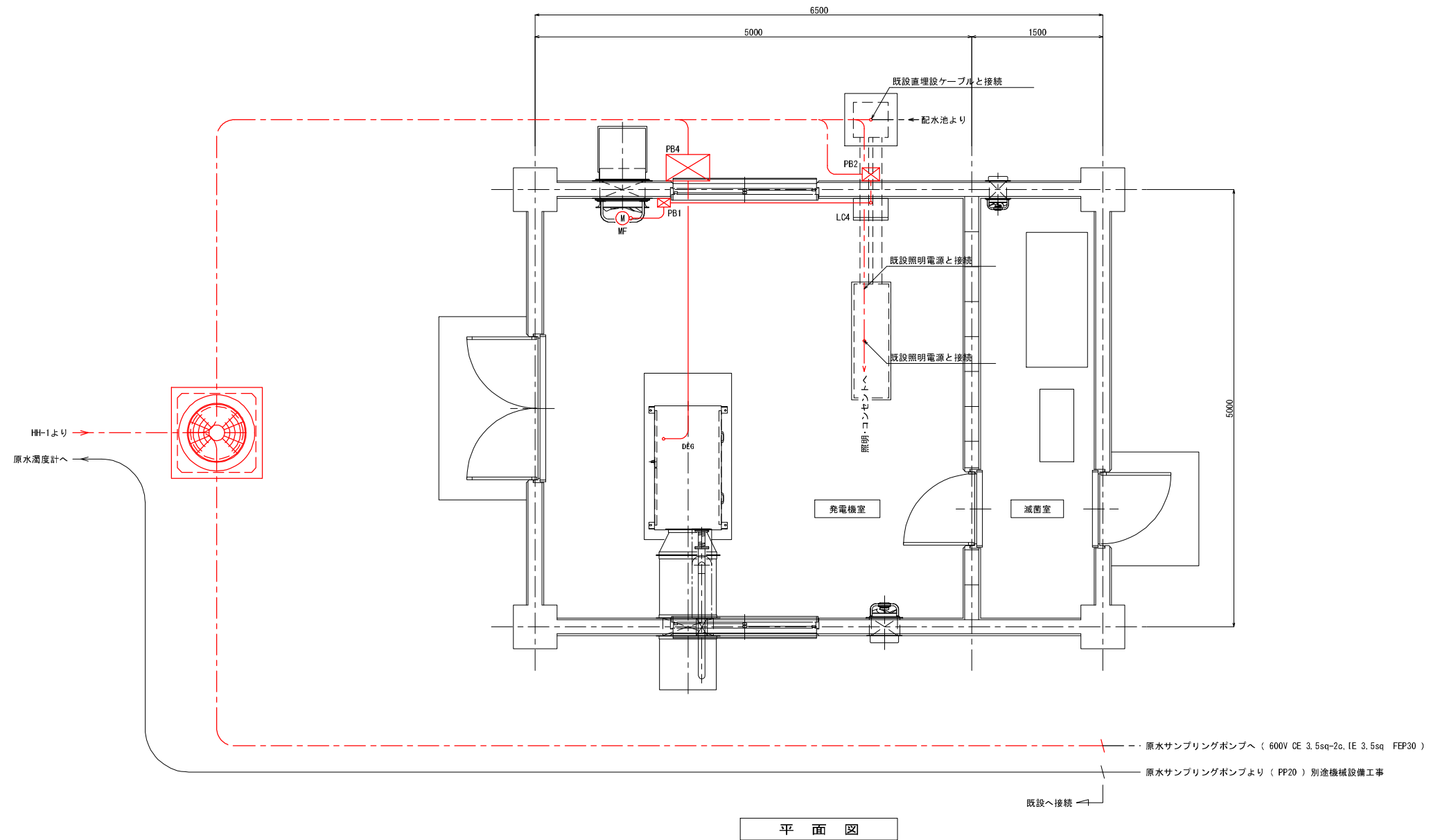


注記)
1. 温度計は、浄水施設棟へ移設設置とする。

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	発電機室撤去図		
縮尺	S=1:30	図面番号	E-10
事業者	九戸村		

発電機室電気配線図

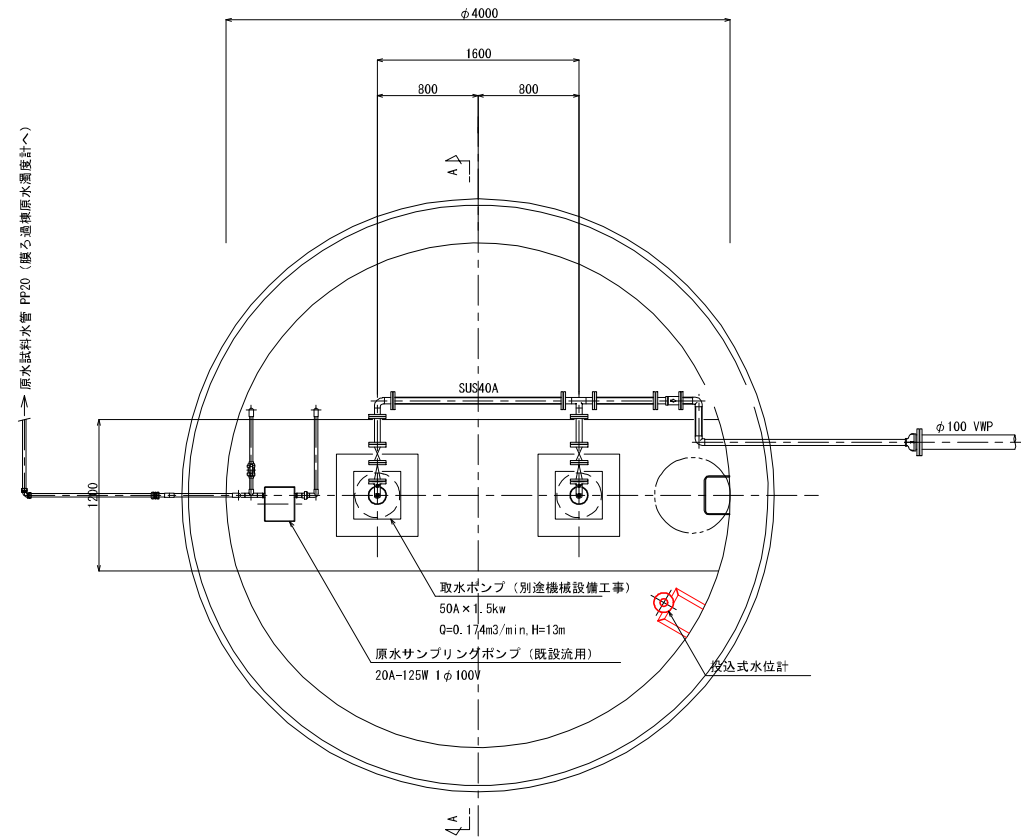
S=1:30



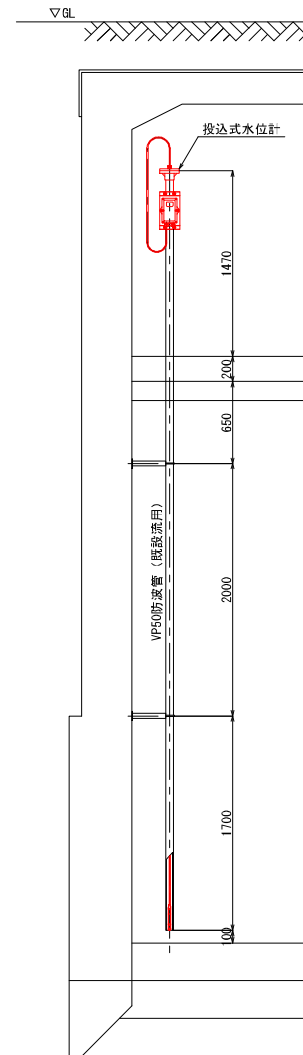
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	発電機室電気配線図	
縮尺	S=1:30	図面番号 E-11
事業者	九戸村	

ポンプ井据付図

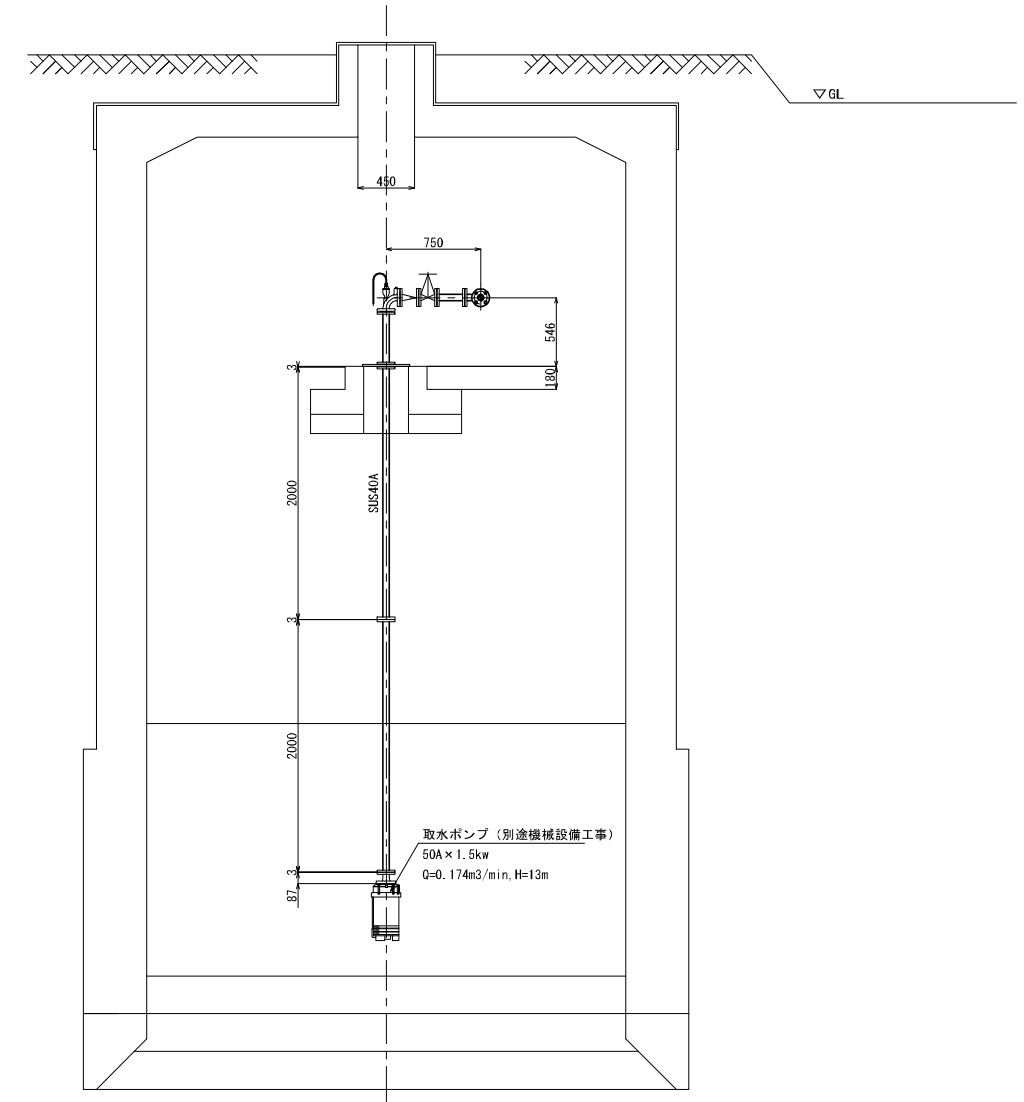
S=1:30



平面図



断面図

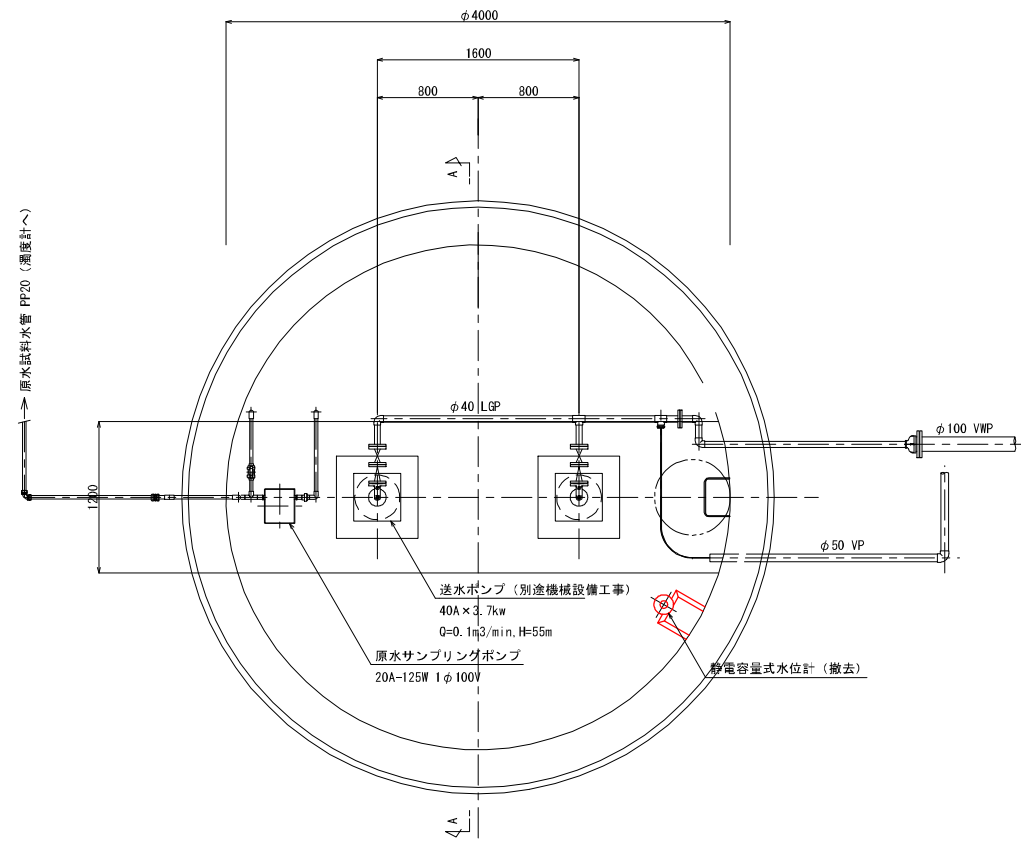


A-A断面図

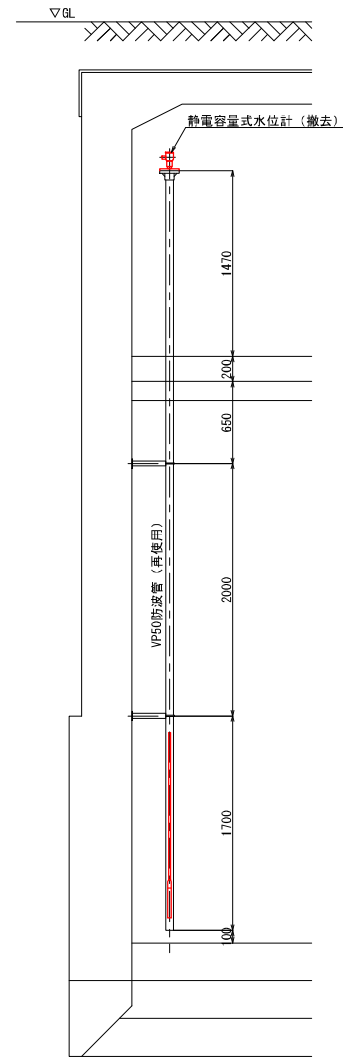
工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事	
図面名称	ポンプ井据付図	
縮尺	S=1:30	図面番号 E-12
事業者	九戸村	

ポンプ井撤去図

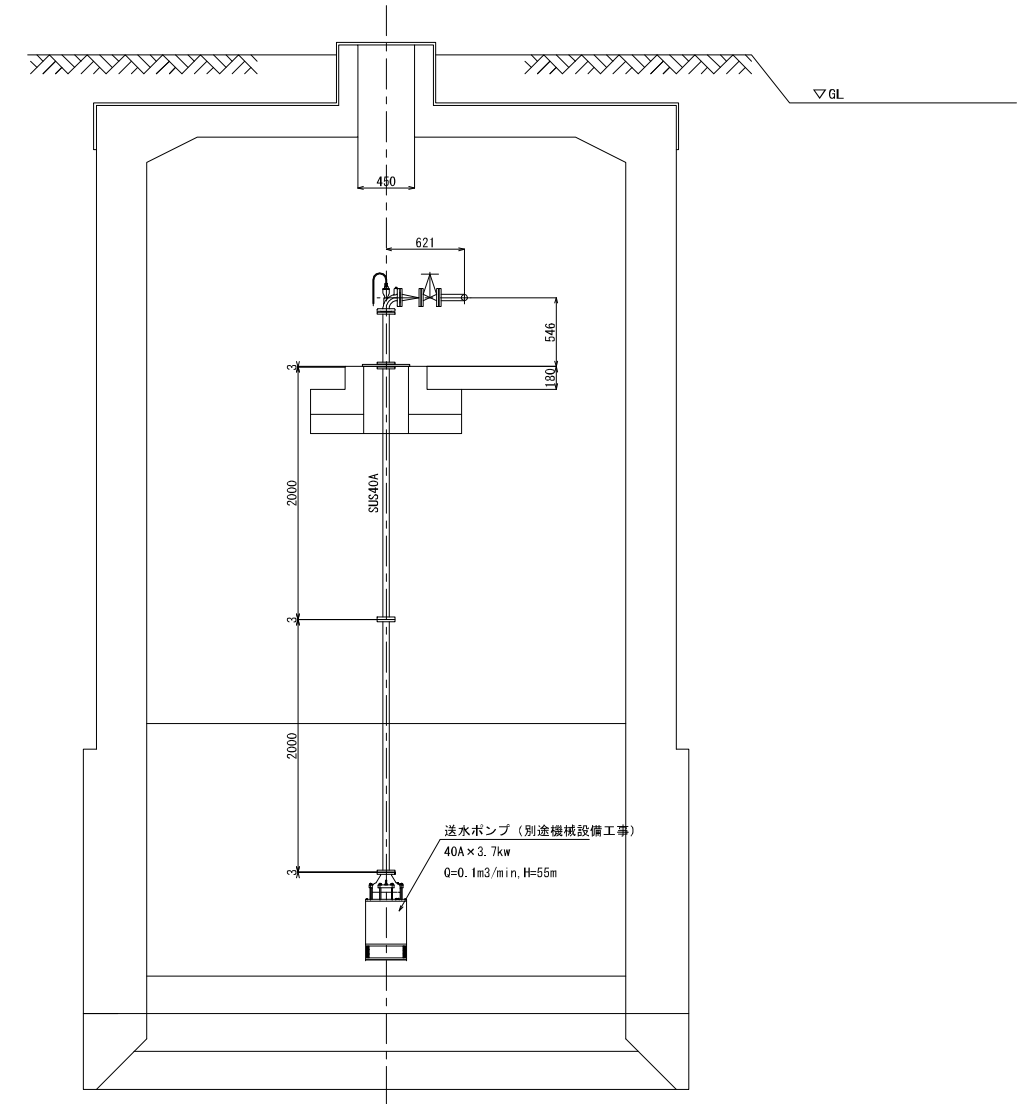
S=1:30



平面図



断面図

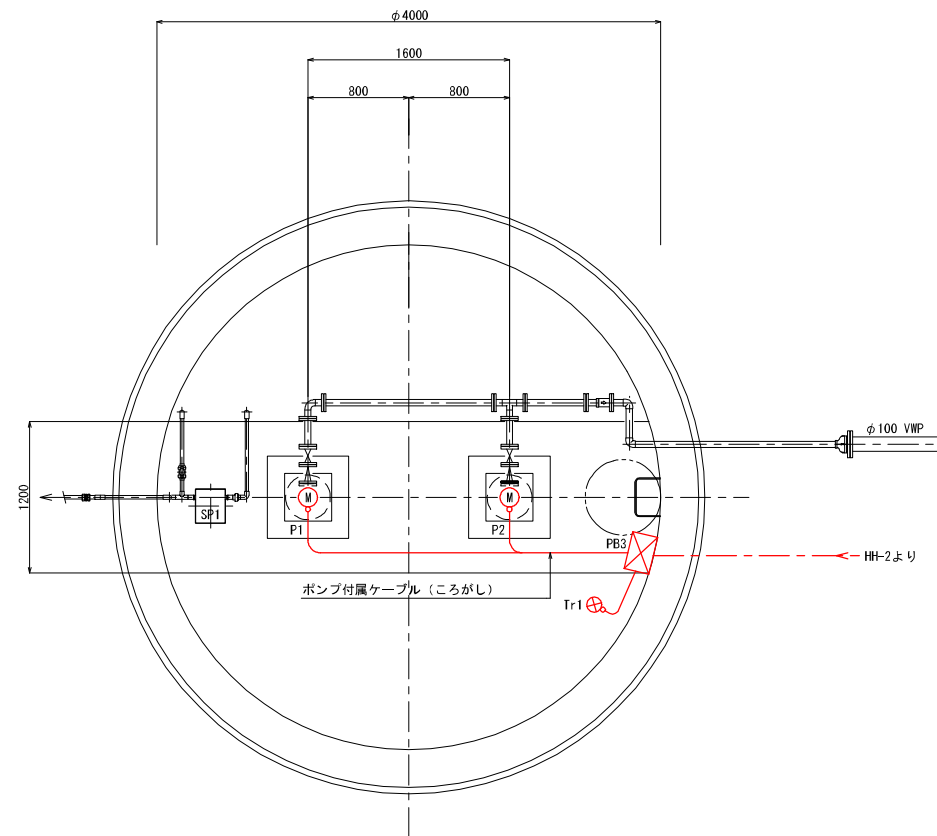


A-A断面図

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	ポンプ井撤去図		
縮尺	S=1:30	図面番号	E-13
事業者	九戸村		

ポンプ井電気配線図

S=1:30



平面図

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	ポンプ井電気配線図		
縮尺	S=1:30	図面番号	E-14
事業者	九戸村		

ケーブル配線表

発 点	着 点	ケ ー ブ ル 仕 様	接地線	地中管	埋設管	露出管	可とう管	備 考	
—	3φ引込点	WHM	引込開閉器盤	600V CE 38sq-3c		G54	50mm		
—	1φ引込点	"	"	600V CE 60sq-3c		G54	50mm		
WHM	引込開閉器盤	LC1	動力操作盤	600V CE 38sq-3c	FEP50	G54	50mm		
"	"	"	"	600V CE 60sq-3c	FEP50	G54	50mm		
"	"	ED1	D種接地1			VE16			
LC1	動力操作盤	ED2	D種接地2						
"	"	DEG	自家発電装置	600V CE 38sq-3c	8sq	FEP50	G54	50mm	ｺﾞﾗﾝｸﾞφ75
DEG	自家発電装置	LC1	動力操作盤	600V CE 60sq-3c	FEP50	G54	50mm	ｺﾞﾗﾝｸﾞφ75	
"	"	"	"	CEE 2sq-10c	FEP30	G28	30mm	ｺﾞﾗﾝｸﾞφ50	
LC1	動力操作盤	LC4	発電機補機盤	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq	FEP30	G28	ｺﾞﾗﾝｸﾞφ50	
"	"	"	"	CEE 1.25sq-2c	FEP30	G28			
"	"	—	発電機室照明電源	600V CE 8sq-2c	3.5sq	FEP50		ｺﾞﾗﾝｸﾞφ75	
LC2	計装盤	HH	既設直埋設ケーブル	600V CE 3.5sq-2c					
LC4	発電機補機盤	WF	発電機用給気ファン	600V CE 2sq-3c x2	2sq	G36	38mm		
LC1	動力操作盤	P1	No.1取水ポンプ	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq	FEP50		ｺﾞﾗﾝｸﾞφ75	
"	"	P2	No.2取水ポンプ	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq				
"	"	SP1	原水サンプリングポンプ	600V CE 2sq-3c(既設へ接続)	FEP30				
LC2	計装盤	Tr1	取水井水位計	CEE-S 1.25sq-3c	FEP30		17mm	ｺﾞﾗﾝｸﾞφ50	
"	"	HH	既設直埋設ケーブル	CEE-S 2sq-4c	FEP30			ｺﾞﾗﾝｸﾞφ50	
LC3	膜処理設備制御盤	MF1	No.1膜処理ユニット	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq	PF28	30mm		
"	"	"	"	CEE 1.25sq-8c		PF28	30mm		
"	"	MF2	No.2膜処理ユニット	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq	PF28	30mm		
"	"	"	"	CEE 1.25sq-8c		PF28	30mm		
"	"	M1	No.1コンプレッサー	600V CE 2sq-3c	2sq	PF22	17mm		
"	"	M2	No.2コンプレッサー	600V CE 2sq-3c	2sq	PF22	17mm		
"	"	MV1	No.1原水弁	CEE 1.25sq-8c	2sq	PF28	17mmx2		
"	"	MV2	No.2原水弁	CEE 1.25sq-8c	2sq	PF28	17mmx2		
"	"	CP1	No.1次亜注入ポンプ	VCT 0.75sq-3c、VCTF 0.75sq-4c		PF28			
"	"	FS1	No.1薬液槽レベルスイッチ	VCTF 0.75sq-3c		PF28			
"	"	LS5	薬品防液検知レベルスイッチ	2P投込電極付属ケーブル					
"	"	QP2	No.2次亜注入ポンプ	VCT 0.75sq-3c、VCTF 0.75sq-4c		PF28			
"	"	FS2	No.2薬液槽レベルスイッチ	VCTF 0.75sq-3c		PF28			
"	"	LS1	原水槽レベルスイッチ	CEE 1.25sq-5c		PF22	G16	17mm	
"	"	LS2	No.1浄水槽レベルスイッチ	CEE 1.25sq-5c		PF22	G16	17mm	
"	"	LS3	No.2浄水槽レベルスイッチ	CEE 1.25sq-5c		PF22	G16	17mm	
"	"	LS4	水槽防液検知レベルスイッチ	2P投込電極付属ケーブル		PF16			
LC1	動力操作盤	SP2	浄水サンプリングポンプ	600V CE 2sq-2c	2sq	PF22	G16	17mm	
"	"	P3	No.1送水ポンプ	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq	PF28	30mm		
"	"	P4	No.2送水ポンプ	600V CE 3.5sq-3c	3.5sq	PF28	30mm		
"	"	PH1	ﾊﾞｯﾃﾘｰ-1(浄水施設室)	600V CE 3.5sq-2c	3.5sq	PF28			
"	"	PH2	ﾊﾞｯﾃﾘｰ-2(浄水施設室)	600V CE 3.5sq-2c	3.5sq	PF28			
"	"	PH3	ﾊﾞｯﾃﾘｰ-3(浄水施設室)	600V CE 3.5sq-2c	3.5sq	PF28			
"	"	PH4	ﾊﾞｯﾃﾘｰ-4(浄水施設室)	600V CE 3.5sq-2c	3.5sq	PF28			
"	"	PH5	ﾊﾞｯﾃﾘｰ-5(薬注設備室)	600V CE 2sq-2c	2sq	PF22			
"	"	L-1	照明分電盤	600V CE 8sq-3c	3.5sq	PF28x2			
LC2	計装盤	Tr2	原水濁度計	600V CE 2sq-2c	2sq	PF22	17mm		
"	"	"	"	CEE-S 1.25sq-2c		PF16	17mm		
"	"	Tr3	浄水濁度計	600V CE 2sq-2c	2sq	PF22	17mm		
"	"	"	"	CEE-S 1.25sq-2c		PF16	17mm		
"	"	Tr4	送水流量計	CEE-S 1.25sq-3c		PF16	17mm		
LC1	動力操作盤	HH-1	ハンドホール1		FEP100x3				
"	"	"	"		FEP50x3				
HH-1	ハンドホール1	HH-2	ハンドホール2		FEP100x2				
"	"	"	"		FEP50x3				

FB1: ブルボックス 150x150x100 (SUS・WP)
 FB2: ブルボックス 200x200x150 (SUS・WP)
 FB3: ブルボックス 300x300x200 (SUS・WP)
 FB4: ブルボックス 500x500x300 (SUS・WP)
 FB5: ブルボックス 200x200x100 (塩ビ・WP)

工事名	宇堂口高度浄水施設建設工事		
図面名称	ケーブル配線表		
縮尺	S=NON SCALE	図面番号	E-15
事業者	九戸村		